

第21回

ものづくり・デザインコンペティション

# 学生フォーミュラ 日本大会 2023



2023 Formula SAE Japan  
Formula SAE® Series

2022年 総合優秀賞/ICV総合優秀賞  
京都工芸繊維大学チーム



2022年 EV総合優秀賞  
静岡理科大学チーム



# 2023 8/28<sub>月</sub> ~ 9/2<sub>土</sub>

大会公式サイト



クルマ+ものづくりに熱中する学生たち、  
ここに集結！！

会場

静岡県  
小笠山総合運動公園



主催

JSAA 公益社団法人 自動車技術会







# CONTENTS

<p><b>文部科学大臣祝辞/会長挨拶</b>..... 1          Congratulatory Message/President's Message</p> <p><b>大会概要</b>..... 2          Outline of Events</p> <p><b>スケジュール</b>..... 3          Schedule of Events</p> <p><b>動的イベントコース概要</b>..... 4~5          Dynamic Events</p> <p><b>表彰</b>..... 6          Awards</p> <p><b>前回大会成績</b>..... 7          Formula SAE Japan 2022 Overall and Awards</p> <p><b>大会ヒストリー</b>..... 8~9          History of Competition</p>	<p><b>1 主催・後援・協賛・委員会組織</b>..... 10          Organizer/Support/Committee Members</p> <p><b>2 大会スタッフ一覧</b>..... 11          Competition Staffs</p> <p><b>3 登録チーム</b>..... 12          Registered Teams</p> <p><b>4 参加チーム</b>..... 13~51          Team Information</p> <p><b>6 大会スポンサー一覧</b>..... 112          Sponsors</p>
--	--





# スポンサー企業一覧

SSクラススポンサー 1社

# TOYOTA

Sクラススポンサー 8社

**NISSAN**  
MOTOR CORPORATION

**HONDA**



**PROTERIAL**



Aクラススポンサー 27社

**KOMATSU**

 **BOSCH**

**TAMADIC**  
Change creation into power

**HITACHI**  
Inspire the Next  
Hitachi Astemo

 **MathWorks®**

**AISIN**

**enable**  
株式会社 アネブル

**ISUZU**

**HKS**

**KANA**  
片山チエン株式会社

**KYB**

**Kawasaki**  
Let the Good Times Roll

**KOYAMA**  
古山精機株式会社

**SAGInoMIYA**

 **DAIHATSU**

**DENSO**  
Crafting the Core

**TOSHIBA**

**Moty's®**  
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY



**NISSAN**  
AUTOMOTIVE  
TECHNOLOGY

MOTION & CONTROL™  
**NSK**



パーソル クロステクノロジー

**Panasonic**  
AUTOMOTIVE

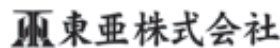
 **prime planet**  
energy & solutions

**HTFT**  
Honda Techno Fort

 **YAMAHA**

**ROHM**  
SEMICONDUCTOR

Bクラススポンサー 66社



Cクラススポンサー 57社



# 文部科学大臣祝辞/会長挨拶

Congratulatory Message/President's Message

## 第21回 学生フォーミュラ日本大会 2023 開催を祝して

第21回学生フォーミュラ日本大会2023の開催を、心からお喜び申し上げます。

近年、デジタル化をはじめとして社会環境が大きく変化する中、Society 5.0の実現に向けた取組を加速化させ、脱炭素社会や地方創生等の社会課題の解決を通じて持続可能な社会を実現するため、新たな価値を生み出す創造性を有して活躍できるイノベーションを担う人材を育成する必要があります。

そのための重要な鍵の一つは、大学・高等専門学校における優れた工学系人材の育成です。本年6月に閣議決定された教育振興基本計画や昨年5月の教育未来創造会議第一次提言においても、我が国の成長や社会の発展に寄与し得る高度専門人材育成のため、女子学生を含む理工系分野を専攻する学生の割合を増加させることや、文理の枠を超えた学修環境を整備することの重要性が指摘されており、工学系をはじめとする理工系人材に対する期待は近年一層高まっています。

こうした中で、本大会は、学生のものづくりの総合力を育成するため、自動車の走行性能や製作コストのほか、自ら設計した車をPRするためのデザイン・プレゼンテーション能力を競うなど、これからの我が国を支える実践的な技術者の育成に資する極めて有意義な大会であると考えております。学生の皆様にとっては、レーシングカーの企画・設計・製作を通じて、ものづくりの素晴らしさ・面白さを実感するとともに、メンバーとコミュニケーションを取りながら課題を設定し、解決していくことの大切さや、マネジメントやリーダーシップを学ぶ実践的な機会となるでしょう。それは、日頃学んでいる工学等の知識を超えた高いレベルへの挑戦であり、今後、技術者として社会で活躍するための大きな励みになるものと考えます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加可能チームが国内のチームに限定されていましたが、21回目を迎える本大会では、4年ぶりに海外のチームも参加することが可能となったと伺っております。また、2023年6月1日時点でICVクラス、EVクラス合わせて、海外チーム10チームを含む77チームの参加登録となっており、このことは、本大会が国内外から広く認識され、そして高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

最後になりますが、本大会に出場される各チームの皆様、指導教員や学校関係の皆様のご健闘を祈念するとともに、公益社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。



文部科学大臣

永岡 桂子

## 第21回 学生フォーミュラ日本大会 2023 を迎えて Welcome to 2023 Formula SAE Japan

今年21回目大会を4年振りに海外からのエントリーを含む77チームで迎えることができ、大変嬉しく思います。

本大会は、クルマというものづくりを通じたひとつの競技会として、これまで20年の歴史を紡いできました。今や日本を含む18か国で開催される学生フォーミュラですが、祖とする米国Formula SAE®に準拠するルールは、クルマづくりの総合プロセスを、車検ならびに8項目からなる静的・動的審査を千点満点で多角的に評価する世界各国でほぼ同一のものであり、国や地域を越えた学生の交流ネットワークを広げる素地となっております。

サイエンスが社会変革に直結する時代に入っている今、ここ10年の科学技術の変化のスピードは驚くものであり、クルマづくりを取り巻く環境も既存の枠組みでは太刀打ちができないものとなっています。例えば今年は、ICVクラス54チームのみならず、EVクラスが23チームに増えました。このEVクラスの参加増に伴い、今年は大会全体日程を昨年までより1日長くしております。

また、この3年の日々は、本大会のオンラインでの開催方法を生み出す一方で、これまで紡いできた知恵や技の伝承を受け継ぐことの難しさを学生の皆さんが経験する苦難の連続であったと感じています。

学生の皆さん、成功への道は険しいものです。机上で習ったことがそのまま通用するわけでも、早いクルマであれば勝てるわけでも、チームメンバーといつも上手くいくわけでもありません。そして、苦勞した分が報われるわけでもありません。

でも、それでいいのです。失敗からどう学ぶかを理解し、行動することが大切だと考えています。あなたが諦めなければ、不可能はありません。チャレンジし学び続けること、これこそが皆さんがこれから描く夢の原動力となると信じています。皆さん一人ひとりの熱い思いが実る舞台にしていきますので、ご期待下さい。

最後に、今年も静岡県、掛川市、袋井市をはじめとするご協力頂いた地域の方、参加チーム、ご後援、ボランティアの皆様、すべての関係者の方に深謝申し上げます。今後とも、人が学び/育ち/つながりを持つ場である、学生フォーミュラ活動への変わらぬご支援を宜しくお願い致します。



公益社団法人自動車技術会  
会長 大津啓司



## 大会趣旨

主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民で支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する。

## 大会基本方針

- 学生に、学会として、ものづくりの機会を提供することにより、
- 1) 学生の自主的なものづくりの総合力を育成する。
  - 2) 学校教育と連携する実践的な学び場としての教育的価値を高めていくこととする。

## 大会運営指針

- 1) 安全確保を最優先とした、ものづくり検証の場とする。
- 2) 産学官民連携による運営とする。
- 3) 個人・法人の広範なボランティアによる運営とする。
- 4) 公益事業として運営する。
- 5) 企業の枠を超えた技術者の交流に資するため、学生フォーミュラ参加者のネットワークを構築する。

## 開催日程

2023年8月21日(月)～25日(金)/オンライン開催(静的審査/非公開)

2023年8月28日(月)～9月2日(土)/小笠山総合運動公園・静岡県(車検・動的審査)

詳細情報は大会公式サイト(右QRコード)にてご確認ください。

## 審査概要 Outline of Events

種目 Category	概要 Outline	配点 Point	
車検 Tech. Inspection	【技術検査】 ルールに定められた車両の安全・設計要件の適合性確認、【チルト】 車両 45 度傾斜で燃料漏れ確認、ドライバー乗車し車両 60 度傾斜で転覆しないことの確認、【騒音 (ICV クラスのみ)】 所定の条件で排気音レベル確認 (110dB以下)、【ブレーキ】 4 輪ブレーキ (4 輪ロック) を確認・検査、【レイン (EV クラスのみ)】 絶縁がされているかを確認。	-	
静的審査 Static Events	コストと製造 Cost and Manufacturing	コスト計算は、生産活動を行うにあたり考慮しなければならない重要な要素です。学生は年産 1000 台を仮定したコストテーブルに基づき事前提出書類を提出し、コストの妥当性を審査します。また、リアルケースシナリオでは指定した部品の製造工程などの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価します。	100
	プレゼンテーション Presentation	学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。『市場要求に合った車両の製造・販売を含むビジネスプランを会社役員へ納得させる』という仮想のシチュエーションで行います。	75
	デザイン (設計) Design	チームからの事前提出書類と車両をもとに、設計の適切さ、革新性、加工性、整備性、組立性などを口頭試問により審査します。	150
動的審査 Dynamic Events	アクセラレーション Acceleration	0-75m 加速性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	100
	スキッドパッド Skid-pad	8 の字コースによるコーナリング性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	75
	オートクロス Autocross	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる約 800m の複合コースを 1 周走行します。各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し、タイムを競います。	125
	エンデュランス Endurance	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる周回コースを約 20km 走行します。各チーム 2 名のドライバーが中間点で交代して走行し、走行性能、耐久性など車の全体性能と信頼性を競います。	275
	効率 Efficiency	エンデュランス走行時の燃料・電力消費量を評価します。	100
その他 Others	車重計測、騒音・排ガス測定 [ICV (ガソリン) クラスのみ] を実施します。	-	
合計 Total Points		1,000	

## 一 競技目的および車両の設計要件・安全要件 一

Formula SAE<sup>®</sup> (英文) に準拠

### 競技目的

- Formula SAE<sup>®</sup> は各チームが小型フォーミュラスタイルの車両を構想、設計、製作、開発を行い競技に挑戦するものである。
- Formula SAE<sup>®</sup> はコース外とコース上でのタイムの両方のパフォーマンスを求める工学的技術の教育競技である。各競技は、チームの創造性と工学的技術力を実証し、世界中のチームとの比較の機会をチームに提供する。
- チームは試作車両を設計、製作、テスト、そして実証するベンチャー企業として働いていると仮定する。

### 一般要件

- 車両は、タイヤがカウルで覆われていない、オープンコックピットのフォーミュラスタイルの 4 輪車両とする。
- ホイールベースは 1,525mm 以上とする。トレッドは、フロントまたはリアの大きい方に対して 75%より小さくしてはならない。ホイールは 8 インチ以上とする。
- 拘束システム (5 点、6 点又は 7 点式シートベルト)、保護用具 (ヘルメット、スーツ、手袋など)、視認性、ヘッドレスト、ドライバーの脱出時間 (5 秒以内)、転覆安定性、防火壁、消火器等について詳細を規定する。

### ICV (ガソリン車)

- エンジンは 4 サイクルで排気量が 710cc 以下でなければならない。オリジナル設計の過給器の装着は可とする。リストリクター (吸気流量制限装置) の最大直径は 20mm とする。
- 排気音量は、排気口から水平面 45 度、50cm の位置において測定。所定の回転数で 110dB 以下でなければならない。
- 燃料タンクは、メインフープとタイヤを結ぶ面の内側に装備すること。

### EV (電気自動車)

- 最大公称作動電圧は 600VDC とする。
- バッテリーからの次第電力は、100ms を超えて連続的に 80kW より多く使わないこと。もしくは 500ms の移動平均値が 80kW を超えないこと。
- 回生は許されるが、時速 5km を超える車速で作動すること。



# スケジュール

Schedule of Events

## 学生フォーミュラ日本大会2023

### <主な審査スケジュール>

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	実施場所
8/28 (月) Day1					Pit Open チーム受付				EV車検			Pit Close			P10駐車場 P11駐車場
8/29 (火) Day2				Pit Open チーム受付					車検						スタジアム P10駐車場 P11駐車場
8/30 (水) Day3				Pit Open 車検					EV車検						P10駐車場 P11駐車場 P10駐車場
8/31 (木) Day4				Pit Open 車検					EV車検						P10駐車場 P11駐車場 P9駐車場 P10駐車場
9/1 (金) Day5				Pit Open 再車検					EV再車検						P10駐車場 P11駐車場 P9駐車場 P10駐車場
9/2 (土) Day6				Pit Open エンデュランス ブラクティス					エンデュランス ブラクティス						P9駐車場 P10駐車場 P10駐車場

※Day1(8/28)の来場可はEV国内12チームと海外10チームと準備関係スタッフのみです。

※大会期間中の車両ならびにバッテリーの持ち出しは禁止です。



### 【注意事項】

- ▲ 指定の観覧エリア以外からの動的審査およびブラクティスの観覧はできません。(指定バス保持者を除く)
- ▲ ドライバーの運転に影響を与えるため、走行中の車両へのフラッシュ撮影は禁止です。
- ▲ 会場内は、指定場所以外すべて禁煙です。喫煙は指定の喫煙所をお願いします。
- ▲ ゴミは各自お持ち帰りください。
- ▲ 熱中症対策をしてください。なお体調を悪くした方は、早めに救護所までお申し出ください。大会期間中、救護所に医師、看護師が待機しています。
- ▲ 大会会場付近には、スズメバチ、ヘビが生息しています。見かけたら近寄らず、すぐに大会本部に連絡してください。  
万が一、刺されたり、噛まれたりした場合は、近くにいるスタッフに声を掛けるか、大会本部にお申し出ください。
- ▲ 大会会場内ではスタッフの指示に従ってください。

### 【免責事項】

- ▲ 大会参加に際し生じた事故、損害については、主催者、後援および協賛スポンサー企業は一切の責任を負わないものとします。
- ▲ 主催者は、事前の予告なくイベントの開催を中止することがあります。

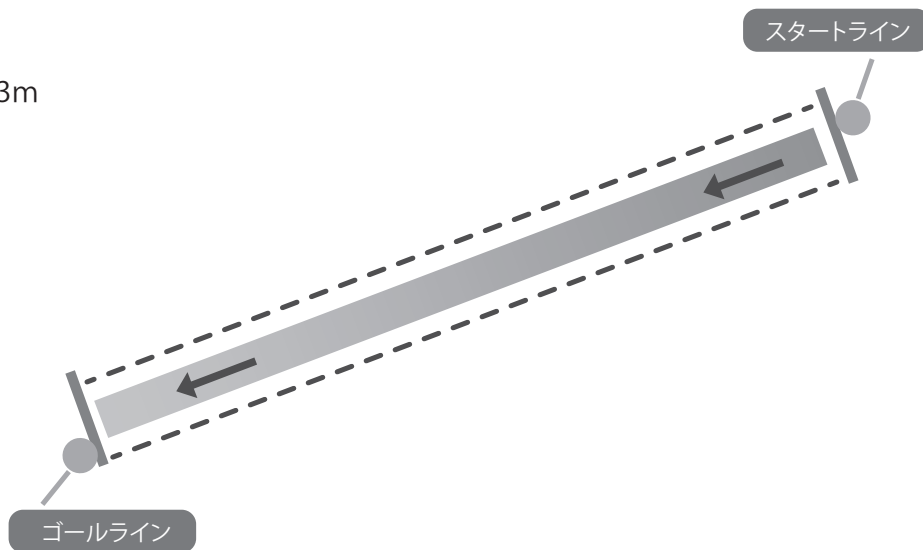
# 動的イベントコース概要

Dynamic Events

## アクセラレーション<Acceleration>

### コース概要

- 直線75m
- コース幅 3m

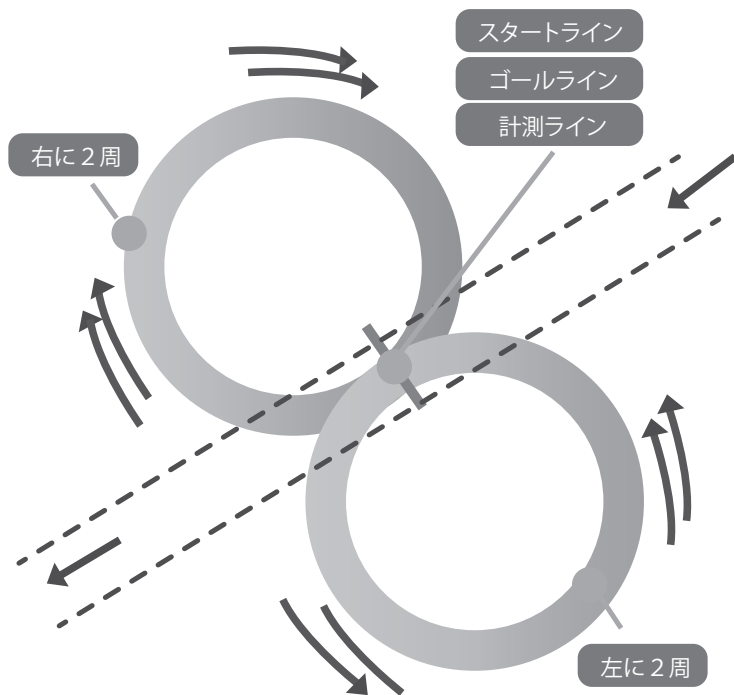


- ★直線0-75mの加速タイムを競う。
- ★上位チームのタイムは4秒台前半。
- ★スタート時のタイヤの空転を抑え、あとは動力性能の勝負となる。

## スキッドパッド<Skid-pad>

### コース概要

- 8の字コース(右2周・左2周)
- コース幅 3m



- ★左旋回と右旋回の周回タイムの平均を競う。
- ★上位チームのタイムは5秒を切る。
- ★パイロンペナルティーは、各0.25秒のペナルティとなり、車両の旋回性能が大切となる。

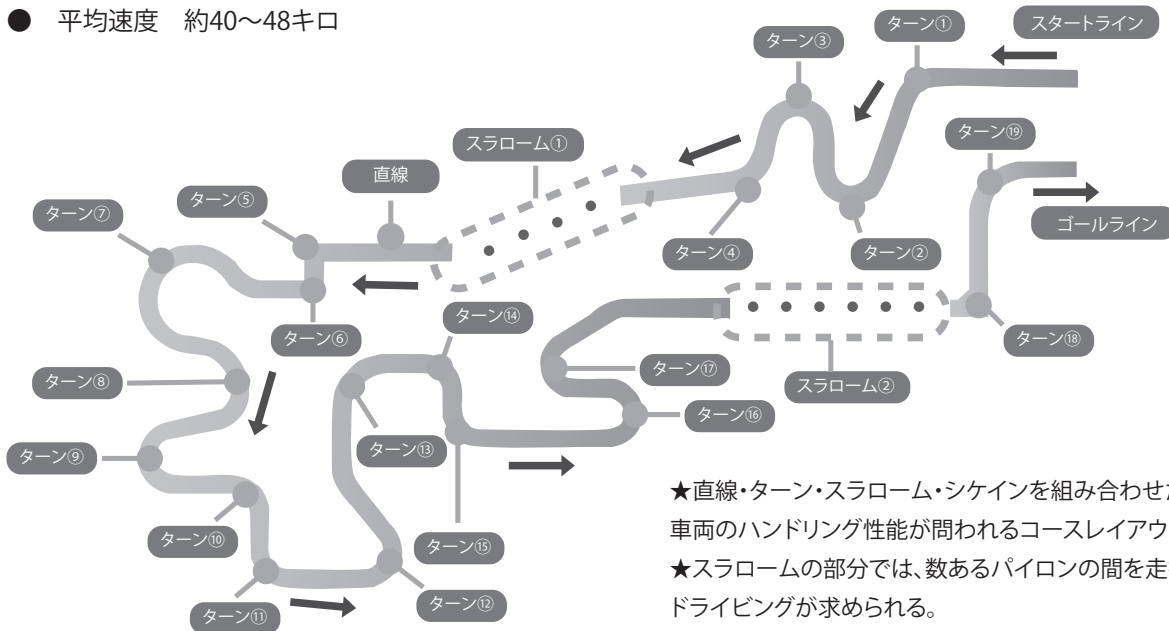


# オートクロス<Autocross>

※こちらは2019年大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

## コース概要

- 1周約800mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約40~48キロ



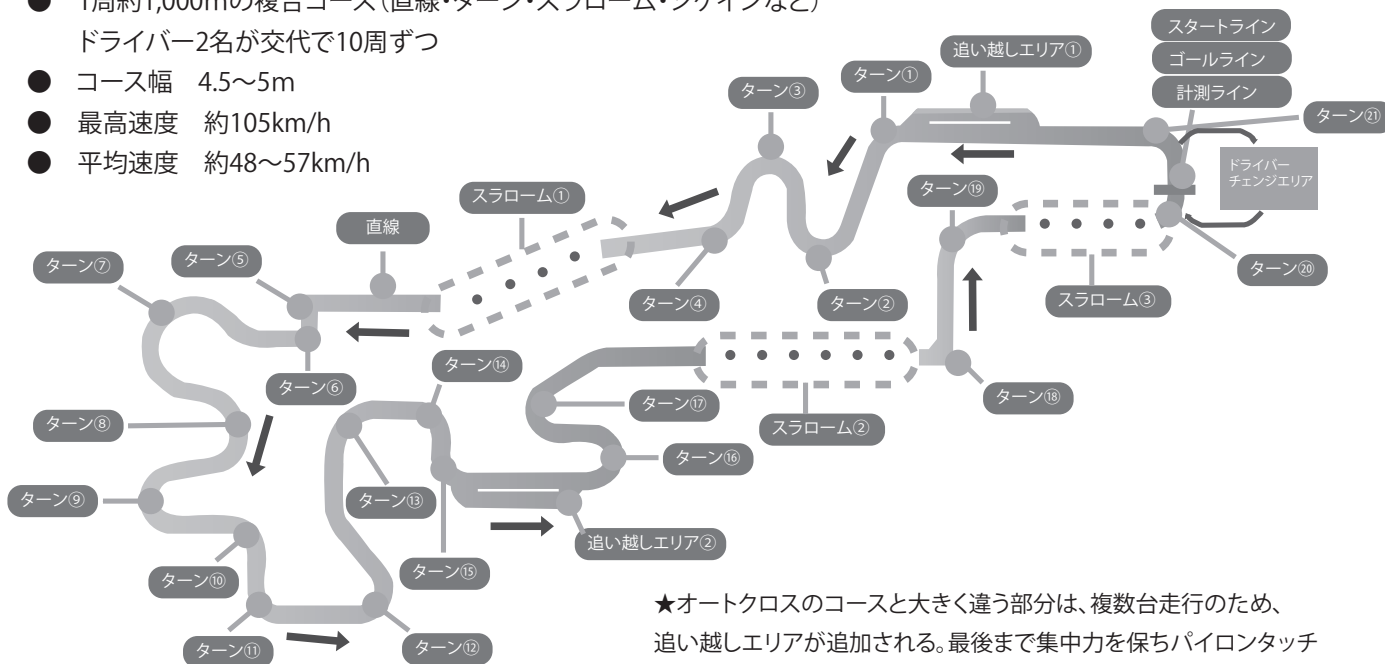
★直線・ターン・スラローム・シケインを組み合わせた約800mのコースで、車両のハンドリング性能が問われるコースレイアウトとなる。  
 ★スラロームの部分では、数あるパイロン間を走行するため慎重なドライビングが求められる。

# エンデュランス<Endurance>

※こちらは2019年大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

## コース概要

- 1周約1,000mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)  
ドライバー2名が交代で10周ずつ
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約48~57km/h



★オートクロスのコースと大きく違う部分は、複数台走行のため、追い越しエリアが追加される。最後まで集中力を保ちパイロンタッチペナルティーをいかに最少に抑えるかが審査の鍵を握る。

★周回コースを約20キロ走行する。2名のドライバーが中間地点で交代となる。交代の際は、必ずICV車はエンジンを止め、EV車ならばトラクティブシステムを停止させて交代を行う。車両の熱上昇による再スタートには注意が必要だ。

# 表彰

Awards

分類	表彰名	賞の概要	表彰枠	副賞	提供
総合表彰	経済産業大臣賞	全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム	1位	—	経済産業省
	国土交通大臣賞	全ての審査に参加し、EVクラスに於いて総合得点が最も高いチーム	1位	—	国土交通省
	静岡県知事賞	静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム	1位	賞品	静岡県
	掛川市長賞	動的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	掛川市
	袋井市長賞	静的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	袋井市
	日本自動車工業会会長賞	全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム（書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと）	—	総額 70万円 メダル及び賞金 （メダルを除く総額を受賞チーム分割）	日本自動車工業会
	日本自動車部品工業会会長賞	エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム	1位	1位5万円	日本自動車部品工業会
	総合優秀賞	全ての審査に参加し、総合得点が上位の3チーム	1～3位	1位8万円、2位5万円、3位2万円	小野測器
	ICV総合優秀賞	全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が最も高いチーム	1位	1位5万円 副賞	自動車技術会
	EV総合優秀賞	全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が最も高いチーム	1位	1位5万円 副賞	静岡県 自動車技術会
種目別表彰	コスト賞	コスト・製造審査の得点が最も高いチーム	1～3位	(各賞) 1位5万円 2位3万円 3位2万円	NOK
	デザイン賞	デザイン審査の得点が最も高いチーム	1～3位		東京アールアンドデー
	プレゼンテーション賞	プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム	1～3位		自動車技術会
	加速性能賞	アクセラレーション（加速性能）審査の得点が最も高いチーム	1～3位		住友ゴム工業
	スキッドパッド賞	スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム	1～3位		自動車技術会
	オートクロス賞	オートクロス審査の得点が最も高いチーム	1～3位		自動車技術会
	耐久走行賞	エンデュランス（耐久走行）審査の得点が最も高いチーム	1～3位		自動車技術会
	省エネ賞	消費効率審査の得点が最も高いチーム	1～3位		日本ミシュランタイヤ
特別表彰	ルーキー賞	日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム	ICV/ EV 各1位	賞品	大会実行委員会
	スポーツマンシップ賞	スポーツマンシップ・マネージメント・安全等の評価が高いチーム	若干数	賞品	大会実行委員会
	ジャンプアップ賞	全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム	1位	賞品	袋井商工会議所
	ベスト車検賞	車検書類（SES）合格評価の最も高いチームのうち、総合得点の最も高いチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	アネブル
	最軽量化賞	エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム	ICV1位 EV1位	(ICV/EV各クラス) 1位5万円	深井製作所
	CAE特別賞	CAE技術を効果的に活用し効率よく優れたデザインを実現したチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	アルテアエンジニアリング
	ベスト三面図賞	設計行為の集大成である“図面”を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	自動車技術会
	ベストラップ賞	エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	自動車技術会
	ベストコンポジット賞	軽量化、強度／剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	東レ・カーボンマジック
	エルゴノミクス賞	レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム	1～3位	1位3万円、2位2万円、3位1万円	ブリッド
	MathWorks賞	MATLAB や Simulink などの MathWorks 製品を用いて、車両（部品）モデルを作り、効果的に実車開発を行ったチーム	1～3位	1位5万円、2位3万円、3位2万円	MathWorks



# 第20回 学生フォーミュラ日本大会2022 大会成績

Formula SAE Japan 2022 Overall and Awards

## ■ 総合成績

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 京都大学
- 3位 日本自動車大学校
- 4位 千葉大学
- 5位 日本工業大学
- 6位 富山大学
- 7位 工学院大学
- 8位 名城大学
- 9位 茨城大学
- 10位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- 11位 埼玉大学
- 12位 東京農工大学
- 13位 静岡理科大学 EV
- 14位 山陽小野田市立山口東京理科大学
- 15位 岐阜大学
- 16位 山梨大学
- 17位 トヨタ東京自動車大学校 EV
- 18位 帝京大学
- 19位 日本大学理工学部
- 20位 同志社大学
- 21位 九州工業大学
- 22位 久留米工業大学
- 23位 東京大学
- 24位 神戸大学
- 25位 新潟大学
- 26位 大阪大学
- 27位 早稲田大学
- 28位 トヨタ名古屋自動車大学校
- 29位 名古屋大学 EV
- 30位 大阪工業大学
- 31位 東京都立大学
- 32位 北海道大学
- 33位 名古屋工業大学
- 34位 ホンダテクニカルカレッジ関西
- 35位 東京理科大学
- 36位 日本大学生産工学部
- 37位 福井大学
- 38位 東海大学
- 39位 静岡大学 EV
- 40位 芝浦工業大学
- 41位 東京都市大学
- 42位 立命館大学
- 43位 神奈川工科大学 EV
- 44位 日産京都自動車大学校 EV
- 45位 豊橋技術科学大学 EV
- 46位 福井工業大学
- 47位 九州大学
- 48位 群馬大学
- 49位 神奈川大学 EV
- 50位 北九州市立大学
- 51位 近畿大学
- 52位 愛知工業大学 EV
- 53位 岡山大学
- 54位 金沢工業大学
- 55位 鳥取大学
- 56位 東北大学 EV
- 57位 西日本工業大学
- 58位 広島工業大学
- 59位 明星大学
- 60位 ものづくり大学 EV
- 61位 上智大学/青山学院大学 EV
- 62位 東京工科大学 EV
- 63位 国士舘大学

## ■ 総合表彰

### ● 経済産業大臣賞

全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム  
京都工芸繊維大学

### ● 国土交通大臣賞

全ての審査に参加し、EVクラスに於いて総合得点が最も高いチーム  
静岡理科大学 EV

### ● 静岡県知事賞

静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が最も高いチーム

日本工業大学

### ● 掛川市長賞

動的審査の得点が最も高いチーム

京都工芸繊維大学

### ● 袋井市長賞

静的審査の得点が最も高いチーム

京都工芸繊維大学

### ● 日本自動車工業会会長賞

全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム(書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティが無いこと)

(Car#順)

京都大学、千葉大学、新潟大学、日本自動車大学校、茨城大学、九州工業大学、埼玉大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、帝京大学、工学院大学、日本工業大学、富山大学、ホンダテクニカルカレッジ関東、東京都立大学、静岡理科大学 EV、トヨタ東京自動車大学校 EV  
計 16 チーム

### ● 日本自動車部品工業会会長賞

エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム

京都工芸繊維大学

### ● ICV 総合優秀賞

全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が最も高いチーム

京都工芸繊維大学

### ● EV 総合優秀賞

全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が最も高いチーム

静岡理科大学 EV

## ■ 種目別表彰

### ● デザイン賞

デザイン(設計)の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 大阪大学
- 3位 名古屋大学 EV

### ● コスト賞

コスト・製造審査の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 京都大学
- 3位 神戸大学

### ● プレゼンテーション賞

プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 岐阜大学
- 3位 大阪大学

### ● 加速性能賞

アクセラレーション(加速性能)審査の得点が最も高いチーム

- 1位 千葉大学
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 日本自動車大学校

### ● スキッドパッド賞

スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 名城大学
- 3位 千葉大学

### ● オートクロス賞

オートクロス審査の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 名城大学
- 3位 岐阜大学

### ● 耐久走行賞

エンデュランス(耐久走行)審査の得点が最も高いチーム

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 京都大学
- 3位 名城大学

### ● 省エネ賞

消費効率審査の得点が最も高いチーム

- 1位 静岡理科大学 EV
- 2位 トヨタ東京自動車大学校 EV
- 3位 日本工業大学

## ■ 特別表彰

### ● スポーツマンシップ賞

スポーツマンシップ・マネジメント・安全等の評価が高いチーム

日産京都自動車大学校

### ● ルーキー賞

日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム

- ICV1位 該当なし
- EV1位 静岡大学 EV

### ● ジャンプアップ賞

全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム

京都工芸繊維大学

### ● 最軽量化賞

エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム

- ICV1位 大阪工業大学
- EV1位 静岡理科大学 EV

### ● CAE 特別賞

CAE技術を効果的に活用し効率よく優れたデザインを実現したチーム

- 1位 京都大学
- 2位 名古屋大学 EV
- 3位 同志社大学

### ● ベスト三面図賞

設計行為の集大成である“三面図”を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム

- 1位 豊橋技術科学大学 EV
- 2位 京都大学
- 3位 大阪大学

### ● ベストエアロ賞

オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとして最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム

- 1位 京都大学
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 東京農工大学

### ● ベストコンポジット賞

軽量化、強度/剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム

- 1位 大阪大学
- 2位 京都大学
- 3位 豊橋技術科学大学 EV

### ● エルゴノミクス賞

レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム

- 1位 京都大学
- 2位 茨城大学
- 3位 京都工芸繊維大学

### ● ベスト車検賞

車検書類(SES)合格評価の最も高いチームのうち、総合得点の最も高いチーム

- 1位 九州工業大学
- 2位 東京大学
- 3位 名古屋工業大学

# 大会ヒストリー

History of Competition



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント

## 大会開催の経緯

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会に「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、1998年4月に5大学1高専の合同チームによる「Challenge! NIPPON」チームが発足し、2000年5月のFormula SAE® ※1へアジアから初参戦し、参加104チーム中28位の成績で新人賞を受賞した。

国内では、日本大会開催に向けたトライアルイベントが、2001年9月23・24日にツインリンクもてぎで開催された。

2003年3月10・11日、ツインリンクもてぎにて関東支部主催の試走会が開催され8チームの参加と見学参加に訪れた大学を含め24大学、総勢約400名による盛大なものとなった。そして、2003年9月、「第1回全日本学生フォーミュラ大会」が開催された。

### ※1 Formula SAE®

Formula SAE® は1981年から「ものづくりによる実践的な学生教育プログラム」としてアメリカでスタートしました。学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技です。第1回大会では僅か6チームで開催されましたが、現在、Formula SAE シリーズとして世界8カ国で10大会が開催されています。日本も2012年にシリーズへ加入し、2013年より正式にシリーズ大会として位置づけられます。

大会実績	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第1回大会 2003/9/10-12 富士スピードウェイ	17 約1,200名	上智大学	国士舘大学	東京大学	☆産学官、メディアなど各方面から賛辞をいただき、今後の発展を大いに期待される ☆NHK「おはよう日本」で会場から生中継 ☆FISITA (国際自動車技術会連盟) が後援になり、FISITA賞を設定
第2回大会 2004/8/30-9/2 ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3) 約1,500名	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国士舘大学	☆経済産業大臣賞が設定される。大会プログラムに文部科学省メッセージを掲載 ☆海外チーム3校(米、英、韓)の受け入れに成功し、今後の国際化への基礎固めができた
第3回大会 2005/9/6-9 富士スピードウェイ	41 (うち海外1) 約1,800名	金沢大学	神奈川工科大学	国士舘大学	☆参加チームの急増(四国、九州から初参加) ☆読売新聞が大会の様子を1面で紹介
第4回大会 2006/9/13-16 エコパ	50 (うち海外4) 約2,000名	上智大学	名古屋大学	University of Michigan-Ann Arbor	☆静岡県知事賞が設定される ☆第1回 FISITA Formula SAE World Cupをエコパで開催(学生フォーミュラ初の国際大会)
第5回大会 2007/9/12-15 エコパ	59 (うち海外4) 約3,000名	上智大学	国士舘大学	金沢大学	☆上智大学2連覇 ☆北海道、東北から初参加 ☆参加者の急増(地元向け企画、物産展設置) ☆上智大学 副賞(レノボ賞)として北京オリンピック長野聖火リレーを走る
第6回大会 2008/9/10-13 エコパ	77 (うち海外15) 約3,000名	上智大学	東京大学	金沢大学	☆国土交通大臣賞が設定される ☆上智大学3連覇(オーストラリア大会でも3位入賞) ☆海外参加チームの急増(インド、イラン、スリランカ、タイ、中国から初参加) ☆事前提出書類による書類選考を実施(本大会参加66チーム)
第7回大会 2009/9/9-12 エコパ	80 (うち海外12) 約3,205名	東京大学	上智大学	横浜国立大学	☆東京大学初優勝 ☆専門学校チームの増加(6チームのうち初参加3チーム) ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行
第8回大会 2010/9/7-11 エコパ	85 (うち海外10) 約3,169名	大阪大学	上智大学	横浜国立大学	☆本大会参加出場枠を75チームまで拡大 ☆シェークダウン証明書提出を義務化 ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行、模擬車検実施
第9回大会 2011/9/5-9 エコパ	87 (うち海外14) のべ約9,593	上智大学	横浜国立大学	大阪大学	☆掛川市、袋井市が後援となる ☆2011全日本学生フォーミュラEVデモ大会併催(模擬車検、静的模擬審査、動的デモ走行実施)
第10回大会 2012/9/3-7 エコパ	82 (うち海外13) のべ約10,222名	京都工芸繊維大学	大阪大学	同志社大学	☆京都工芸繊維大学初優勝。上位3チームを関西勢が占める ☆2012全日本学生フォーミュラEVプレ大会開催 ☆静岡県主催イベント「まるごとしずおか」併催
第11回大会 2013/9/3-7 エコパ	86 (うち海外12) のべ約12,871名	京都大学	大阪大学	同志社大学	☆京都大学初優勝 ☆EVクラス設定(EV本大会開催) ☆土曜日開催(エンデュランスファイナル、公開プレゼン実施)
第12回大会 2014/9/2-6 エコパ	96 (うち海外21) のべ約14,564名	名古屋大学	京都大学	同志社大学	☆名古屋大学初優勝 ☆大会の発展に寄与された元スタッフに運営功績感謝状を贈呈
第13回大会 2015/9/1-5 エコパ	90 (うち海外15) のべ約15,193名	Graz University of Technology	京都工芸繊維大学	名古屋工業大学	☆11年ぶりの海外チーム優勝 ☆エコバスタジアムをピットとして活用



大会実績	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第14回大会 2016/9/6-10 エコパ	106 (うち海外31) のべ約18,071名	京都工芸 繊維大学	横浜国立大学	名古屋工業 大学	☆4年ぶり2度目の京都工芸繊維大学優勝。総合スコア2位の横浜国立大学との差は僅か「1ポイント未満」 ☆岩手連合チーム、参加2年目にしてEVクラス初優勝
第15回大会 2017/9/5-9 エコパ	98 (うち海外24) のべ約18,832名	京都工芸 繊維大学	芝浦工業大学	名古屋工業 大学	☆京都工芸繊維大学が連覇優勝。2位芝浦工業大学を総合60ポイント以上引き離す。 ☆EVクラスでは名古屋大学が総合成績でも第4位となりEVチームの過去最高の総合成績となる。
第16回大会 2018/9/4-8 エコパ	98 (うち海外24) のべ約17,605名	大阪大学	京都工芸 繊維大学	名古屋大学 EV	☆台風21号の影響による不安定な天候でスケジュールを大幅変更。 ☆レインコンディションの耐久走行を経て、大阪大学が8年ぶり2度目の総合優勝。 ☆EVクラスでは名古屋大学がクラス優勝を連覇。総合成績も3位と前年を上回り、EVチームとしても過去最高成績となる。
第17回大会 2019/8/27-31 エコパ	98 (うち海外27) のべ約16,332名	名古屋工業 大学	横浜国立大学	名古屋大学 EV	☆名古屋工業大学が、悲願の総合優勝。 ☆EVクラスでは名古屋大学EVが3連覇を達成。
第18回大会 2020/9/8-12 中止	—	—	—	—	—
第19回大会 オンライン開催 (静的審査のみ)	56 (国内チームのみ) のべ約1,211名	神戸大学	大阪大学	京都大学	
第20回大会 ハイブリッド開催 2022/9/6-10 車検・動的審査 (エコパ) 静的審査 (オンライン)	63 (国内チームのみ) のべ約8,945名	京都工芸 繊維大学	京都大学	日本自動車 大学校	☆3年ぶりの現地開催を実施。(コロナ禍により来場制限を設ける) ☆京都工芸繊維大学が2位以下に大差をつけての総合優勝。(913.57ポイント) ☆EVクラスでは7年ぶりに静岡理工科大学が優勝。

# 主催・後援・協賛・委員会組織

Organizer/Support/Committee Members

主催	公益社団法人自動車技術会
後援	文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川商工会議所、袋井商工会議所、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、TBS、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡エフエム放送 (K-mix)、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、日刊自動車新聞社
協賛	産業技術総合研究所、交通安全環境研究所、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会

## ■ 学生フォーミュラ会議

議長	豊増 俊一	日産自動車
副議長	松園 義明	本田技研工業
	東 雄一	自動車技術会
委員	石倉 幸司	ダイハツ工業
	板倉 範顕	日本自動車車体工業会
	一政 都志夫	いすゞ自動車
	大下 政司	日本自動車部品工業会
	大杉 祥司	カワサキモータース
	大畑 光一	日野自動車
	小熊 光晴	産業技術総合研究所
	加古 慈	トヨタ自動車
	小松 賢二	ヤマハ発動機
	近藤 圭一郎	早稲田大学
	竹内 克彦	デンソー
	筒井 洋	アイシン
	野木 利治	日立 Astemo
	藤貫 哲郎	SUBARU
	本田 康裕	国土舘大学
	山岸 重雄	スズキ
	山本 寿英	マツダ
	渡邊 計彦	三菱自動車工業

## ■ 学生フォーミュラ日本大会 2023 実行委員会

委員長	大和田 優	日産自動車
副委員長	今元 康太郎	トヨタ自動車
	砂子 直人	ホンダ・レーシング
委員	荒川 英俊	スズキ
	狩野 芳郎	神奈川工科大学
	亀井 宏貴	三菱自動車工業
	河原 智	トヨタ自動車
	西城 雄二	ヤマハ発動機
	齋藤 拓也	ヴァレオジャパン
	鈴木 健	日産オートモーティブテクノロジー
	辻 夏央	デンソー
	土屋 高志	福井工業大学
	中澤 広高	本田技研工業
	平城 眞太郎	静岡大学
	福田 充宏	静岡大学
	本田 康裕	国土舘大学
	増田 貴彦	日立 Astemo
	増田 好洋	ゼスト
	山本 一哉	本田技研工業

## ■ 学生フォーミュラ日本大会 ルール委員会

委員長	辻 夏央	デンソー
副委員長	水谷 泰哲	トヨタ自動車
委員	今元 康太郎	トヨタ自動車
	大和田 優	日産自動車
	亀井 宏貴	三菱自動車工業
	河原 智	トヨタ自動車
	齋藤 拓也	ヴァレオジャパン
	鈴木 健	日産オートモーティブテクノロジー
	砂子 直人	ホンダ・レーシング
	土屋 高志	福井工業大学
	中澤 広高	本田技研工業
	中辻 万平	ボランティア
	福田 充宏	静岡大学
	増田 貴彦	日立 Astemo

(2023年7月15日時点)

# 大会スタッフ一覧

Competition Staffs

## ■ 大会実行組織

★大和田優(日産自動車), 狩野芳郎(神奈川工科大学), 今元康太郎(トヨタ自動車), 玉正忠嗣(日産自動車), 中福辰禎(トヨタ自動車), 土屋高志(福井工業大学), 福田充宏(静岡大学), 高橋泰史(アイシン), 古川泰至(デンソー), 平城真太郎(静岡大学), 結城昭宏(ポランティア), 鈴木光裕(ポランティア), 村上泰仁(ポランティア), 櫻原一雄(本田技術研究所), 田辺豊治(ホンダ・レーシング), 塚田能成(本田技術研究所), 名田悟(ホンダ・レーシング), 芳賀剛志(本田技術工業), 松園義明(本田技術工業), 山本一哉(本田技術工業), 林裕人(ポランティア), 山野賢志(日産自動車), 小田木卓也(アネプル), 竹下大貴(dSPACE Japan), 堀部将広(dSPACE Japan), 岡田沙織(アネプル), 井上楨平(トヨタ自動車), 植村佳南(デンソー), 久下直也(本田技術工業), 蘭和希(デンソー), 田中崇剛(デンソー), 谷澤伸治(アイシン), 月村雄太(デンソー), 橋本優(トヨタ自動車), 藤原裕典(アイシン), 前川高大(本田技術工業), 笠島直紀(マイスタークラブ), 佐山満(マイスタークラブ), 澤田敏彦(マイスタークラブ), 芝崎寿之(マイスタークラブ), 土井清行(マイスタークラブ), 中野武(マイスタークラブ), 宮田卓英(マイスタークラブ), 山本敏文(マイスタークラブ), 会田哲夫(富山大学), 伊藤勝(アイシン), 小木曾美香(アイシン), 尾崎博匡(アイシン), 川上優斗(アイシン), 後藤伸太郎(東海国立大学機構統括技術センター), 近藤広隆(アイシン), 坂本正実(大阪産業大学), 鳥居正裕(アイシン), 中根直志(アイシン), 中谷颯汰(アイシン), 花村勇哉(スズキ), 原田知幸(アイシン), 森修一(拓殖大学), 雨宮悟(いすゞ自動車), 関英範(いすゞ自動車), 田辺天(いすゞ自動車), 亀井宏貴(三菱自動車工業), 辻夏央(デンソー), 新井建佑(日本発条), 李京恩(本田技術工業), 井口雄介(本田技術工業), 井崎正隆(いすゞ自動車), 石井悠太(日産自動車), 石田修平(日産自動車), 今井太一(ポランティア), 大谷俊介(本田技術工業), 城井一芳(スズキ), 工藤健太(ヤマハ発動機), 酒井裕幸(本田技術工業), 佐藤晃大(スズキ), 永井翔一郎(本田技術工業), 鈴木寛人(本田技術工業), 高田勇輝(スズキ), 野口航平(スズキ), 花里文宏(マツダ), 中辻万平(ポランティア), 恩田祐輔(ポランティア), Dharma Pranata(ヤマハ発動機), アッシュレー・ペーカー(トヨタテクニカルディベロップメント), 石飛貴大(ヤマハ発動機), 栗原昌子(トヨタテクニカルディベロップメント), 桑原初枝(トヨタ自動車), 小南菜月(トヨタテクニカルディベロップメント), 坂本美佐子(SUBARU テクノ), 鈴木理捺(トヨタテクニカルディベロップメント), 渡邊奈緒(SUBARU テクノ), 渡邊史奈(トヨタテクニカルディベロップメント)

★は実行委員長

## ■ 審査

### 《静的審査》

増田真彦(日立Astemo), 石田倫章(デンソー), 伊藤浩(本田技術工業), 大岩浩幸(日立Astemo), 佐藤陽(デンソー), 塩倉聡(本田技術研究所), 社本薫(ファンクションベイ), 谷川利晴(住友ゴム工業), 林崎司(トヨタ車体), 福本泰己(日産自動車), 松澤由樹(日産車体), 今西えみ(ダイハツ工業), 加藤誠(スズキ), 神谷吉則(いすゞ自動車), 小柳友徳(マツダ), 高橋敦彦(本田技術工業), 照内宏雄(日立Astemo), 中出千秋(YEP. s), 福田圭弘(豊田自動織機), 渡辺浩(SUBARU), 王シン朋(日産自動車), 齋藤拓也(ヴァレオジャパン), 天澤天二郎(童夢), 飯島福信(MathWorks Japan), 石塚祐也(本田技術工業), 岩室匡祐(いすゞ自動車), 太田最実(日産自動車), 大守美潮(カワサキモーターズ), 落合亮(日産自動車), 小野昌朗(東京アールアンドデー), 影山邦衛(ポランティア), 加藤貴大(三菱自動車工業), 倉地星也(日産自動車), 後藤睦明(デンソー), 小林吾一(SUBARU), 小堀晃(マツダ), 小牧佳弘(いすゞ自動車), 齋藤秀輝(本田技術工業), 佐藤俊明(トヨタ自動車), 清水悠介(ポランティア), 白波瀬徹(童夢), 菅務(スズキ), 関諒介(本田技術工業), 瀬口大貴(日産自動車), 田尾光規(日産自動車), 竹元勝和(童夢), 田谷要(日産自動車), 田淵堅大(トヨタ自動車), 塚本将弘(トヨタ自動車), 手塚悟(ポランティア), 永井紳一郎(トヨタ自動車), 中尾海斗(トヨタ自動車), 中田陽介(ダイハツ工業), 中村錠治(デンソー), 中村卓哉(東レ・カーボンマジック), 中山将(童夢), 丹羽隆彦(トヨタ自動車), 野口大悟(トヨタ自動車), 島山英隆(東京アールアンドデー), 服部誠司(トヨタ自動車), 福田喜宣(東京アールアンドデー), ペロージエトロ(アルテアエンジニアリング), 松波意知(日野自動車), 水野茂洋(トヨタ自動車), 宮尾里奈(スズキ), 宮坂宏(ポランティア), 宮崎智博(本田技術工業), 宮脇直斗(トヨタ自動車), 山内誠(東京アールアンドデー), 吉井将(日野自動車), 吉野暁大(日産自動車), 鈴木健(日産オートモーティブテクノロジー), 荒川英俊(スズキ), 生原尚季(ポランティア), 射延恭二(ポランティア), 浦西陽太(ダイハツ工業), 大村雅洋(アイシン), 荻谷頭(本田技術工業), 古賀文(ヤマハ発動機), 佐々木寛文(ピークルエナジージャパン), 澁江佑介(ポランティア), 関電達(SUBARU), 竹内悠記(マツダ), 田中崇剛(デンソー), 多村祥(日産オートモーティブテクノロジー), 都築義幸(アドヴィックス), 戸田宗敬(ポランティア), 中原雄二(本田技術研究所), 萩原翔(日産自動車), 藤井達也(本田技術研究所), 松本悠司(いすゞ自動車), 水谷奈津希(三菱自動車工業), 宮澤哲裕(アイシン), 諸岡裕文(小松製作所), 柳田謙一(トヨタ自動車), 矢野幸子(トヨタ自動車), 山本浩敬(日産自動車), 吉田末古都(アドヴィックス), 吉留大智(日産オートモーティブテクノロジー)

### 《技術審査》

砂子直人(ホンダ・レーシング), 有馬直人(スズキ), 古賀諒摩(トヨタ自動車), 清水俊成(いすゞ自動車), 千葉康智(ポランティア), 手塚浩行(ホンダ・レーシング), 西英之(マツダ), 原園泰信(ヤマハ発動機), 本田篤(ポランティア), 松浦孝成(ポランティア), 松本保志(日野自動車), 水谷泰哲(トヨタ自動車), 三宅博(アネプル), 新井陽介(日産自動車), 荒牧耀(ヤマハ発動機), 奥野俊(マツダ), 奥村祥宣(いすゞ自動車), 落合亮(日産自動車), 尾和徹彦(三菱自動車工業), 加島優生(マツダE&T), 唐國祥宏(いすゞ自動車), 黒澤達夫(マイスタークラブ), 郷田末雄(マイスタークラブ), 古城裕嗣(マイスタークラブ), 小峰剛人(日産自動車), 齋藤佑育(日産自動車), 佐竹央基(カワサキモーターズ), 清水祐磨(マツダE&T), 鈴木勉(トヨタ自動車), 曾山晨登(トヨタ自動車), 高瀬文太(SUBARU), 津田貴史(いすゞ自動車), 永野朱実(アネプル), 野島佑太(三菱自動車工業), 野崎柊吾(日産自動車), 平池歩(日産オートモーティブテクノロジー), 福岡忠将(ダイハツ工業), 前嶋隼真(アネプル), 牧田竜汰(本田技術工業), 松原龍希(トヨタ自動車), 南貴士(トヨタ自動車), 村越弘昌(マイスタークラブ), 藁科章太郎(トヨタ自動車), 天野勝弘(静岡理科大学), 岡安功太郎(SUBARU テクノ), 石毛優弦(横浜ゴム), 鹿内佳人(静岡理科大学), 杉崎裕俊(ダイハツ工業), 関谷直樹(日本大学), 岡部顕史(日本大学), 狩野康行(小野測器), 野口竜之介(小野測器), 遠藤花恵(小野測器), 中村友香(小野測器), 中野敬一(堀場製作所), 青木大地(堀場製作所), 石川達夫(堀場製作所), 石川大毅(堀場製作所), 青木琢也(本田技術工業), 秋元健太(本田技術工業), 荒井亮祐(トヨタ自動車), 久島一真(トヨタ自動車), 坂崎凌(本田技術工業), 坂本雄祐(トヨタ自動車), 新森森(本田技術研究所), 関口昌邦(マイスタークラブ), 高山博之(マイスタークラブ), 時安優和(本田技術研究所), 廣瀬史也(本田技術工業), 山田滋(マイスタークラブ), 伊藤浩(本田技術工業), 清水雄貴(本田技術工業), 祐川浩之(本田技術工業), 鈴木保(本田技術工業), 須藤由紀子(本田技術工業), 高橋敦彦(本田技術工業), 田中明子(本田技術工業), 田中真二(本田技術工業)

### 《動的審査》

中澤広高(本田技術工業), 茨木浩二(デンソー), 水野友博(トヨタ自動車), 明瀬慎太郎(トヨタ自動車), 荒木建人(三菱自動車工業), 池本隼徒(本田技術工業), 石井侑希(アネプル), 石野敦(アネプル), 犬塚康介(本田技術工業), 浦瀧彰吾(トヨタ自動車), 岡田一馬(ヨロズ), 落合洗矢(マツダ), 小山田陸久(日産オートモーティブテクノロジー), 加藤和郁(日立Astemo), 川口拓真(SUBARU), 木下滉貴(マツダE&T), 近都真弘(ジャトコ), 久保田悠介(カワサキモーターズ), 郡上允(プレス工業), 小林拓弥(ホンダテクノフォート), 小森賢二(本田技術研究所), 小森慎也(トヨタ自動車), 佐伯正義(ジャトコ), 佐藤圭(トヨタ自動車), 澤野太一(ジャトコエンジニアリング), 清水飛鳥(SUBARU), 沈程(ジャトコエンジニアリング), 杉田尚隆(ジャトコ), 高木康靖(オートテックニックジャパン), 高橋貴大(日野自動車), 高橋幸寛(ホンダテクノフォート), 高橋隼人(日野自動車), 竹田曜(マツダ), 坪井光一(トヨタ自動車), 当麻曙音(日産自動車), 富田剛史(本田技術工業), 戸谷瑠一(トヨタ自動車東日本), 中北崇文(トヨタ自動車), 中根一(トヨタ自動車), 中橋圭太(SUBARU), 中原雄二(本田技術研究所), 新居見紘(マツダ), 沼田大輝(日産自動車), 野々村元寿(三菱自動車工業), 野村昌孝(トヨタ自動車), 長谷田弘到(TOYO TIRE), 林直輝(ホンダテクノフォート), 平井優守(デンソー), 中根寛史(本田技術工業), 深田佳帆里(日産自動車), 深谷好芳(本田技術工業), 船山和樹(トヨタ自動車東日本), 星隈博允(マツダE&T), 松本和也(日立Astemo), 松本陵佑(日産自動車), 丸山僚也(カワサキモーターズ), 三橋晃子(本田技術工業), 南亮丞(ダイハツ工業), 村上和也(ダイハツ工業), 茂木優一(日産オートモーティブテクノロジー), 森永侑樹(三菱自動車工業), 山岸憲一郎(オートテックニックジャパン), 山下雄也(トヨタ自動車), 山脇拓麻(トヨタ自動車), 吉田優(TOYO TIRE), 岩田真(トヨタ自動車), 後藤嘉美(トヨタ自動車), 清水良祐(ヤマハ発動機), 西城雄二(ヤマハ発動機), 青柳謙二(ヤマハ発動機), 石川公章(日産車体), 石村速馬(日産車体), 今泉利隆(トヨタ車体), 上田泰市(ヤマハ発動機), 江守秀斗(ヤマハ発動機), 太田優也(マツダ), 林大輔(ヤマハ発動機), 荒川英俊(スズキ), 種田和弘(スズキ), 大栗拓実(スズキ), 岡秀樹(ポランティア), 齋藤覇流(神奈川工科大学), 新村磨石(スズキ), 野田智哉(スズキ), 松瀬光輝(dSPACE Japan), 増田好洋(ゼスト), 秋山慎也(ゼスト), 鶴田康仁(ゼスト), 渡辺裕夫(ゼスト), 小澤司(ゼスト), 兼松丈夫(ゼスト), 織田慎一(ゼスト), 山本和正(ゼスト), 小木曾浩之(ゼスト), 児島祐子(ゼスト), 伊藤昭雄(ゼスト), 前川弘孝(ゼスト), 松下和樹(ゼスト)

### 《EV》

河原智(トヨタ自動車), 朝倉優(本田技術研究所), 古市哲也(三菱自動車工業), 青木啓太(クボタ), 井上雅文(カワサキモーターズ), 大滝亮太(ヤマハ発動機), 小野寺哲也(日立Astemo), 加藤雅子(小松製作所), 久米晋矢(アイシン), 小山修朋(日産自動車), 齋藤秀和(本田技術研究所), 佐藤靖之(アイシン), 島崎達哉(日立Astemo), 白井和成(デンソー), 田中幸宏(SUBARU), 田淵光(マツダ), 月村雄太(デンソー), 中西利明(ポランティア), 中村克己(ポランティア), 福田大輝(小松製作所), 松浦英彦(小松製作所), 三村康輔(ダイハツ工業), 室田直哉(スズキ), 山岡祐也(マツダ), 石田竜太(トヨタ自動車), 花澤明(本田技術工業), 竹田修太(SUBARU), 富野裕太(トヨタ自動車), 佐伯一(三菱自動車工業), 堀居直幸(三菱自動車工業), 張海鵬(日産自動車), 井上景介(日産自動車), 沢里翔太(日産自動車), ソンユンヒ(日産自動車), 林英範(日産自動車)

(2023年7月現在)



# 登録チーム

Registered Teams

登録チーム (77 チーム) 内訳 ICV : 54 チーム

EV : 23 チーム

(2023年6月1日時点)

Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country
<b>ICV (ガソリンエンジン) クラス</b> ICV class					
1	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	日本 Japan	28	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	日本 Japan
2	京都大学 Kyoto University	日本 Japan	29	東京理科大学 Tokyo University of Science	日本 Japan
3	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	日本 Japan	30	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	日本 Japan
4	千葉大学 Chiba University	日本 Japan	32	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	日本 Japan
5	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	日本 Japan	33	東京都市大学 Tokyo City University	日本 Japan
6	富山大学 University of Toyama	日本 Japan	34	立命館大学 Ritsumeikan University	日本 Japan
7	工学院大学 Kogakuin University	日本 Japan	35	福井工業大学 Fukui University of Technology	日本 Japan
8	名城大学 Meijo University	日本 Japan	36	群馬大学 Gunma University	日本 Japan
9	茨城大学 Ibaraki University	日本 Japan	37	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	日本 Japan
10	ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kanto	日本 Japan	38	近畿大学 Kindai University	日本 Japan
11	埼玉大学 Saitama University	日本 Japan	39	岡山大学 Okayama University	日本 Japan
12	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	日本 Japan	40	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	日本 Japan
13	山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-Onoda City University	日本 Japan	41	鳥取大学 Tottori University	日本 Japan
14	岐阜大学 Gifu University	日本 Japan	42	西日本工業大学 Nishinippon Institute of Technology	日本 Japan
15	帝京大学 Teikyo University	日本 Japan	43	広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology	日本 Japan
16	日本大学理工学部 Nihon University College of science of technology	日本 Japan	44	明星大学 Meisei University	日本 Japan
17	同志社大学 Doshisha University	日本 Japan	46	湘南工科大学 Shonan Institute of Technology	日本 Japan
18	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	日本 Japan	47	大阪公立大学 Osaka Metropolitan University	日本 Japan
19	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	日本 Japan	48	崇城大学 Sojo University	日本 Japan
20	神戸大学 Kobe University	日本 Japan	49	東北学院大学 Tohoku Gakuin University	日本 Japan
21	新潟大学 Niigata University	日本 Japan	50	金沢大学 Kanazawa University	日本 Japan
22	大阪大学 Osaka University	日本 Japan	51	Prince of Songkhla University	Thailand
23	早稲田大学 Waseda University	日本 Japan	52	Khulna University of Engineering & Technology	Bangladesh
24	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya	日本 Japan	53	Harbin Institute of Technology at Weihai	China
25	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	日本 Japan	54	Universitas Negeri Yogyakarta	Indonesia
26	東京都立大学 Tokyo Metropolitan University	日本 Japan	56	Universitas Sebelas Maret	Indonesia
27	北海道大学 Hokkaido University	日本 Japan	57	Kasetsart University	Thailand

Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country
<b>EV クラス</b> EV class					
E1	静岡理工科大学 EV Shizuoka Institute of Science and TechnologyEV	日本 Japan	E12	東北大学 EV Tohoku UniversityEV	日本 Japan
E2	山梨大学 EV University of YamanashiEV	日本 Japan	E13	ものづくり大学 EV Institute of TechnologistsEV	日本 Japan
E3	東京大学 EV The University of TokyoEV	日本 Japan	E14	上智大学 / 青山学院大学 EV Sophia University/Aoyama Gakuin University	日本 Japan
E4	名古屋大学 EV Nagoya UniversityEV	日本 Japan	E15	東京工科大学 EV Tokyo University of TechnologyEV	日本 Japan
E5	名古屋工業大学 EV Nagoya Institute of TechnologyEV	日本 Japan	E16	静岡工科大学自動車大学校 EV Shizuoka Professional College of Automobile TechnologyEV	日本 Japan
E6	福井大学 EV University of FukuiEV	日本 Japan	E18	一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV National Institute of Technology, Ichinoseki College/Iwate UniversityEV	日本 Japan
E7	静岡大学 EV Shizuoka UniversityEV	日本 Japan	E19	横浜国立大学 EV Yokohama National UniversityEV	日本 Japan
E8	神奈川工科大学 EV Kanagawa institute of technologyEV	日本 Japan	E20	旭川工業高等専門学校 EV National Institute of Technology, Asahikawa CollegeEV	日本 Japan
E9	日産京都自動車大学校 EV Nissan Automobile Technical College KyotoEV	日本 Japan	E21	Institut Teknologi Sepuluh NopemberEV	Indonesia
E10	豊橋技術科学大学 EV Toyohashi University of TechnologyEV	日本 Japan	E22	Tongji UniversityEV	China
E11	愛知工業大学 EV Aichi Institute of TechnologyEV	日本 Japan	E26	National Cheng Kung UniversityEV	Taiwan
			E29	National Taiwan University of Science and TechnologyEV	Taiwan

# チーム紹介

Team Information

注) |CP|チームキャプテン |FA|ファカルティアドバイザー |MBR|チームメンバー ※このデータは6/1現在のものです。

1

## Kyoto Institute of Technology

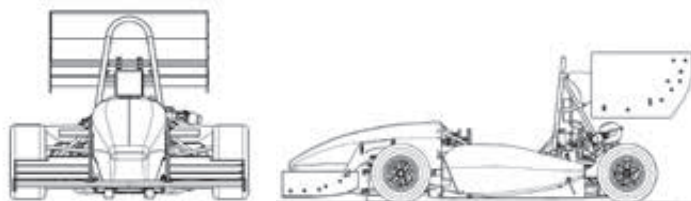
Grandelfino

### メンバー

|CP| 佐々木淳

|FA| 射場大輔

|MBR| 西村勇輝, 大西健太郎, 辻畑大暉, 向井直, 井澤翔悟, 日比野嵩平, 吉村和真, 片岡海都, 川島斐遂, 杉本淳哉, 安田幸樹, 山本大雅, 帆足和真, 渡辺有翔, 藤原輝人, 長谷川拓登, 阪上昂汰, 長谷川みなほ, 山本和輝, 吉田健悟, 原諒嘉, 福島広太郎, 前田航図, 土橋拓馬, 西村奈々芳, 森本武寛, 山崎楓真, 佐藤広都, 保谷拓輝, 齋藤明佳梨, 島田桜輔, 中村怜和, 加地一葉, 玉井流冴, 近藤あかね, 高橋泰樹, 高橋諒多, 後藤菜花, 吉田創, 三宅仁, 田中翔真, 栗山樹, 池乗咲汰, 橋遼太郎, 井尾光希, 久保舜哉, 保坂祥馬, 水谷泰己, 吉松もも, 石原匠馬, 細田光星, 岡本健太, 来代勝胤, 松本孝輝, 松尾直樹, 藤田寿



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> blue	<b>ENGINE</b> YAMAHA MT-07
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 688 cc
<b>MATERIAL</b> steel	<b>MAX POWER</b> 54.4 kW (74 ps) /8250 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3174 mm/1465 mm/1158 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 71.6 Nm (7.3 kgf) /5850 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1750 mm/1250 mm/1250 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> NA
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 209 kg/86 kg/123 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.8 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18x6.0-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> Magnesium, 22.0 mm offset, Forging OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Team Original (Rr) 2 outboard Team Original
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Carbon Arm Dry Sump

### 車の特徴とチームの抱負

タイム分析で課題が見られた低速コーナーに注力し、低重心、軽量化、低回転域でのフラットなトルクを目指して設計しました。連覇に向けてチーム一丸となり勝利に向けて頑張ります！

### スポンサー

ヤマハ発動機, スズキ, HILLTOP, エクセディ, 丹後機械工業協同組合, タンゴ技研, ダッソー・システムズ, 東レ・カーボンマジック, 琵琶湖スポーツランド, 日双工業, 積水化成工業, 岐阜ギヤー工業, 日昌製作所, ミタテ工房, ZEAL by TS-SUMIYAMA, 常盤, オーテック鈴鹿, ノリタケカンパニーリミテド, サイマコーポレーション, HPCシステムズ, ボルテックス, 岩井木型製作所, プロジェクト・ミュー, 橋本コーポレーション, KW JAPAN, キノクニエンタープライズ, 日本精工株式会社, ミネベアミツミ, 輝インターナショナル, ハイレックスコーポレーション, オーゼットジャパン, 大和歯車製作, 木内計測, 住友電装, ジョーエーティ, サンキン, SGLカーボンジャパン, プラス・プラステックス, 国美コマース, Mentor Graphics Japan, 深井製作所, Star5, 石原ラジエーター工業所, 上野鉄工, 協和工業, ストーブリ, 日立アステモ, 株式会社IDA, J, THK, 京都帝産, 共英メソナ, 速水矯正歯科, トータルテクニカルソリューションズ株式会社, フォワード・エンジニアリング・ジャパン株式会社, AVO/MoTeC JAPAN, NUTEC Japan, 日本ポリマー産業, 鎌宮製作所, 木下商店, RPV, ソフトウェアクレイドル, CAST, ウィット, サウス・コ・ジャパン, 京都ホールセンター, プラスミュー, ホーベック, 富士精機, 松本金属工業, 日本モレックス, オキソオーエスジー, FCデザイン, Siemens PLM Software, タマディック, アナログデバイス, オートパックスセブン, 丸紅情報システムズ, アドヴィックス, DMM.com, UCHIDA, VSN, K's Garage, アルテエンジニアリング, アルティウムジャパン, アンシス・ジャパン, サイバネットシステム, 日東電工, イグス, ニコル・レーシング・ジャパン, テクノギルド, プレニー技研, ダイヘン, 日本ヴァイアグレイド, ITW PP&F Japan, ウミヒラ, ヘンケルジャパン, KAKIE Racing TEAM, 近畿レンタカーサービス, KIKエンジニアリング, JFEスチール, アルテック, PHOENIX's POWER京都店, SHORAI JAPAN, TAKATA, ニフコ, 松田精工, PROSHOP NAKAGAWA

2

## Kyoto University

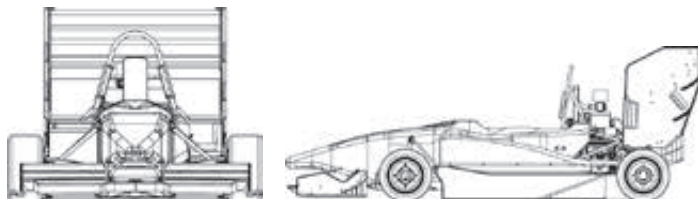
Kyoto University Formula Project KART

### メンバー

|CP| 加藤雅大

|FA| 山路伊和夫

|MBR| 山下鴻, 徐梓鈞, 藤川高嘉, 尾崎凌明, 津田修一朗, 小山光, 羅桓, 長濱龍矢, 平野功太, 仙波廉大, 南里馨太郎, 内山智皓, 平井庸詞, 茂悠斗, 小池遼太, 川本凌太郎, 中原悠輝, 富樫明寛, 劉奕麟



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Blue	<b>ENGINE</b> Kawasaki ER650
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> carbon monocoque and steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 649 cc
<b>MATERIAL</b> Carbon prepreg	<b>MAX POWER</b> 45 kW (62 ps) /8500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3105 mm/1527 mm/1158 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 59 Nm (6.0 kgf) /6500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1780 mm/1320 mm/1320 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 210 kg/94.5 kg/115.5 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.2 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Shaft Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch Douglas Wheel	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Brake (Rr) 2 outboard Brake
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Electronically controlled throttle Seamless transmission

### 車の特徴とチームの抱負

シームレストランスミッションと電子制御スロットルの搭載、新たなモノコックで運動性能の大幅な向上を図り、チーム一丸となって優勝を目標に頑張ります。

### スポンサー

DMG森精機, 川崎重工業, オキソ, ハイシンテクノベルク, イケヤフォーミュラ, ミタテ工房, 東レ・カーボンマジック, bryka, 大昭和精機, 東名技研, ジェイテクト, 井尾製作所, 山岸本舗, 浅野歯車製作所, サンガード, 戸田レーシング, プラスミュー, ソリッドワークス・ジャパン, IPG Automotive, レゾニック・ジャパン, DMM, ヤマナ, テックサーフ, 日本インジュレーション, NEO Smonocolle, 三木ブーリ, 池田金属工業, 日本軽金属, カフィール, 住友電装, 住友電気工業, 住友電工ハードメタル, 日本アイケミカル, KDK chemical, リコー・ジャパン, ウミヒラ, ウェルドワン, 日本精工, 医療法人啓信会グループ, デンソー, THK, 琵琶湖スポーツランド, 名阪スポーツランド, アイシン精機, 日本精機, 中部化研工業, アドヴィックス, ミスミ, ワークスベル, タイヤボックスエボルヴ, IDAJ, 田中製作所, 日立Astemo, ストーブリ, スガツネ工業, 橋本螺子, 山洋電気, ウィット, ニッコー, シーカ・ジャパン, 中央発條, ケムトレンドジャパン, 廣部機型製作所, 岩井木型製作所, NOK, ATS, 東日製作所, 三和メック, フェーチャーテクノロジー, ネット, 松本金属工業, 開明伸銅, 旭化成建材, 昭和飛行機, イグス, GAT, 長岡特殊電線, 三陽, 大和ラヂエーター工業, エイ・ピー・ジェイ, IHI, アルテエンジニアリング, 速水矯正歯科, 東京測器研究所, 丸忠木型製作所, 日本トムソン, 大宗産業, ソダ工業, NKN, 大同DMソリューション, 神戸製鋼, 日本ハネウェル, ホーベック, 京都トヨタ自動車, MathWorks, TANAX, キノクニエンタープライズ, BASE, ダイハツ, マツダ奨励会, 協栄産業, 応用科学研究所, ダウ化工, 京橋ブリッジサンライズ, CAST, サンテスト, キャタラー, テクノソリューションズ, 京機会, 京都大学機械工作室

# チーム紹介

Team Information

3

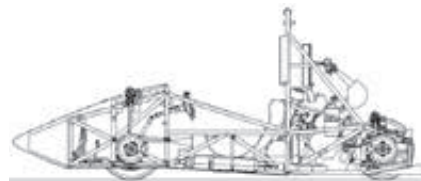
## Nihon Automobile College

Formula Factory NATS

### メンバー

| CP | 泰樂颯一郎  
| FA | 矢部光範, 金井亮忠, 門野寛, 和氣幹樹  
| MBR | 與喜元太基, 天川谷颯太, 木下真志, 蓑原文太, 宮田賢志, 青柳晴葵, 板垣琢己, 岩淵碧, 尾崎智哉, 金賀星樹, 川分太朗, 倉田直弥, 崎山椋太, 佐久間宇宙, 佐藤寛郎, 佐藤由都, 佐野稜太, 塩谷優仁, 末武祐己, 田中健士郎, 谷口稜, CHENHAN, 中塩祐貴, 前田和輝, 前田佑真, 宮澤彪吾, 淀邦壮, 河野賢次郎, 竹村寛成, 丸尾優心, 今関涼介

Japan



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Turquoise Blue	<b>ENGINE</b> M409E YAMAHA MT-07
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 688 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 49.5 kW (67.3 ps) / 8535 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2670 mm / 1483 mm / 1140 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 55.4 Nm (5.4 kgf) / 7050 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1650 mm / 1270 mm / 1266 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 223.0 kg / 92.5 kg / 130.5 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.2 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0 x 7.5-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> Drexler Motorsport LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Wilwood calipers (Rr) 2 outboard Wilwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Electric Shifter

### 車の特徴とチームの抱負

FFN-12のコンセプトは「SWEET ~心を奪う走り~」とし、高い走行性能と安定感のある走りを両立したマシンを開発しました。昨年の総合3位という過去最高成績を獲得した勢に乗って、今年こそ悲願の総合優勝を目指します。

### スポンサー

AVO/MoTeC JAPAN, EMCcore, アールエイ商会, アールエーシー, アイ・アール・エス, 石井工業, ウエストレーシングカース, オーヴァーレーシングプロジェクト, オーセットジャパン, キノクニエンタープライズ, 京葉バンド, コーロード, サウスコ・ジャパン, サム・ジャパン, スズキ, センサー・テクノロジーズジャパン, HEXAGON Manufacturing Intelligence JAPAN, ダブリュ・エフ・エヌ, ティエムシー, CN ホールディングス, 日産自動車, ハヤシレピック, 日立 Astemo, 深井製作所, プロトラッド, 堀口エンジニアリング, 本田技研工業, マックメカニクスツールズ, 矢崎総業, ヤマハ発動機, 和光ケミカル

4

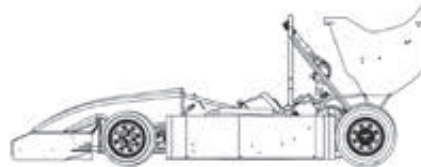
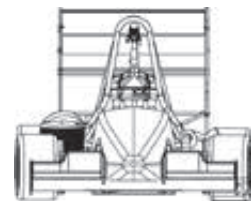
## Chiba University

Chiba University Formula Project

### メンバー

| CP | 堀田伊吹  
| FA | 森吉泰生, 土屋高志, 河村洋平  
| MBR | 安田裕貴, 石田咲葵, 横溝乃羽, 黒澤秀太, 中村陽平, 伊藤克真, 笹目優樹, 大川晃, 菅野真之, 青木勝輝, 鈴木達英, 高見大樹, 永田真人, 加藤泰成, 瀬戸川隼人, 宮田丈一郎, 荒井瑞穂, 長谷川敦史, 松谷康士朗, 松崎直登, 秋山宙輝

Japan



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> black/blue	<b>ENGINE</b> YAMAHA YZF-R6
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 600 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 57.1 kW / 12000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3140 mm / 1441 mm / 1195 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 55.8 Nm / 8600 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1800 mm / 1200 mm / 1200 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Natural
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 205 kg / 80 kg / 125 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.1 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A- Arm, Pull rod (Rr) Double unequal length A- Arm, Pull rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18.0/6.0-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch 8J Braid	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) Aluminum, fai 25.4, Opposing 4 piston, NISSIN (Rr) Aluminum, fai 25.4, Opposing 4 piston, NISSIN
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

### 車の特徴とチームの抱負

2023年度車両「CF23」では、「韧+Functional」という車両コンセプトを打ち立て、セッティング幅の広い車両を目指して設計を行い、吸気やデフギア、スタビライザーに大きく手を加えました。

### スポンサー

ヤマハ発動機, ボノス, レブニック・ジャパン, 旭化成建材, アンシス・ジャパン, 丸忠木型製作所, 株式会社玉津浦木型製作所, 池田金属工業株式会社, エヌ・エム・ビー販売, HPCシステムズ, エムエスアイコンピュータージャパン, 石川インキ, マレリ, エルバ, キノクニエンタープライズ, 日下製作所, 京葉自動車教習所, デンソー, 斉藤プレス, 東日製作所, トヨタレンタリース千葉, ノウム, ハイレックスコーポレーション, 深井製作所, 富士精密, ミスミ, メタルワークス, ユタカ技研, 佐々木工業, ワークスベル, 協和工業, 京葉バンド, ZAN, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 千葉トヨペット, 東北ラヂエータ, 中村機材, 梶哲商店, 日立Astemo, 日本精工, 日本製紙クレシア, 日野自動車, ビルドダメージ, 三菱マテリアル, 葵不動産, プラスミュー, 茂原ツインサーキット, マーレジャパン, 日本軽金属, ティエムシー, ロベテックス, エイチワン, 勝又自動車, テイン, プロト, 江沼チエン製作所, 和光ケミカル, アネプル



## Nippon Institute of Technology

Formula Friends of N.I.T.

### ●メンバー

| CP | 丸山大和  
| FA | 中野道王, 安原鋭幸, 桑原拓也  
| MBR | 川島史也, 片山航志, 高梨諒介, 春田響, 丸田隼斗, 岩澤道哉, 岡部修羽, 篠原滉佑, 曾根佑紀, 西川侑希, 柳澤秀太, 渡引健斗, 飯村祐人, 関口湧斗, 高柳慧匠, 西村平万, 森家隆斗, 秋山和哉, 作間朋輝



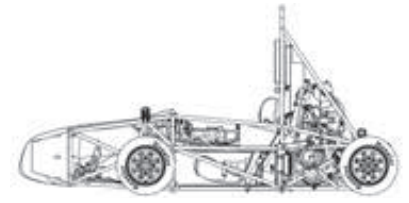
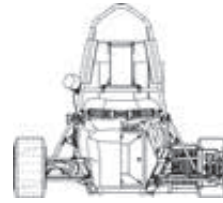
### ●車の特徴とチームの抱負

今年は更なる軽量化に向け、ドライバーのアップライト姿勢化によるフレームの短縮や、パドルシフト化に挑戦しました。

マシンのカラーは存在感のあるピンク色で大会に臨みます。

### ●スポンサー

日本工業大学, 日本工業大学工友会, 本田技研工業, ジュニアモーターパーククイック羽生, はらっぱーく宮代, 日信工業, ソリッドワークスジャパン, MoTec, 富士精密, 和光ケミカル, NTN, キノクニエンタープライズ, 須藤秀一, エフ・シー・シー, シルクマスター, 協永産業, 栄鋼管, プラスミュー, アイ・アール・エス, 忍機工, 甘楽一男, 大島オート, アールケー・ジャパン, オーテック鈴鹿, トヨタレンタリース春日部東口駅前店, プラスプラスックス, モトリバティ, HBM, 石川インキ, IDAJ, トウヨーネジ, 日光溶材, ゼロ, ミスミ, 市光工業, ヘンケルジャパン, エヌ・エム・ビー販売, 沢井建材店, ヒーハイス精工, 小金井精機製作所, 新報国マテリアル, 久保修一, ビーエムシー, 山崎技研工業, RAC, 石原金属化工, 興研, スクーテックジャパン, APCエアロスベシャルティ, グローバル, VSN, ウエストレーシングカーズ, BRAID, 三協ラジエーター, FCデザイン, サウスコ・ジャパン, エスユーエス, 深井製作所, 王子機械, デンソー, 鷲宮製作所, 情報技研



### Technical Specs

**BODY COLOR**  
pink

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
CFRP

**OVRALL L/W/H**  
2645 mm/1470 mm/1322 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1560 mm/1250 mm/1250 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
203 kg/101 kg/102 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
16×7.5-10 R20 Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
10 inch BRAID

**ENGINE**  
PC44E HONDA CB500F

**DISPLACEMENT**  
471 cc

**MAX POWER**  
kW (47 ps)/8500 rpm

**TORQUE DESIGN**  
Nm (4.3 kgf)/7000 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Naturally

**FUEL TANK VOLUME**  
2.8 L

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
F.C.C TRAC

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 outboard Nissin calipers  
(Rr) 2 outboard Nissin calipers

**UNIQUE FEATURES**  
Paddle Shift System, Quick Shifter, The Pink Car

## University of Toyama

Toyama university formula project

### ●メンバー

| CP | 山際真二郎  
| FA | 会田哲夫  
| MBR | 高橋一真, 吉田恭二, 吉澤徹汰, 水島悠陽, 中西康介, 早川悟宇, 本田貴彬, 鈴木青月, 石崎美羽, 太田雅紀, 佐渡悠太, 小久保三四郎, 大島淳市, 村田昭人, 上野圭喬, 川村聡希, 裕裕心, 宮本柊蔵, 多田拓真, 藪田麻緒, 細見知広, 保坂信太郎, 田村凌大, 栗田泰暉, 松本瑞希, 中村快利, 齋藤大輔, 不破翔平

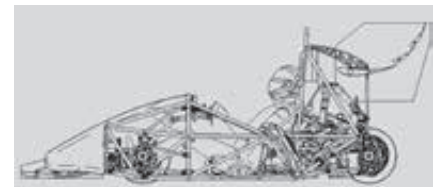
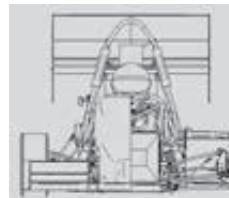


### ●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「飛燕改」です。昨年度マシンの性能をさらに引き上げるため、フレーム全長の短縮・パドルシフトの搭載等の改良を加え、空飛ぶ燕が如く大会コースを疾走します。

### ●スポンサー

IOX-AROSA, MINI TOYAMA, アネブルAPG, イグス, ウエストレーシングカーズ, エヌアイシ・オートテック, おわらサーキット, サカサ産業, スズキ, スチロ化学工業, ソリッドワークス・ジャパン, ニコルレーシング, ビューテック化工, ビューテック, ファインネクス, ホンダ技研工業, EFi Technologic, TAN-EL-SYA, ティーエムシー, アール・エス・アール, エフ・シー・シー, キノクニエンタープライズ, ギム・ジャパン, スカイ, デンソー, ナカニシ, ニフコ, パーチャルメカニクス, ビューマ, ワークスベル, 岡島バيب製作所, 深井製作所, 石金精機, 不二越, 富士精密工業, 協和工業, 大成, 中村機械, 田中精密, 日立Astemo, 富山鋼機, 緒方ラジエーター工業所, 浪速鉄鋼, 住友電装, BBSジャパン, 丸紅情報システムズ, WALLLESS, CAST, エンケイ, プロト, 太平洋精工, デイトナ, プラスミュー, 倉谷アルミ工作所, テーシートヤマ, 三恵工業, LINK JAPAN, リバン・イシカワ, 中発販売



### Technical Specs

**BODY COLOR**  
Yellow

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
CFRP

**OVRALL L/W/H**  
2991 mm/1423 mm/1168 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1650 mm/1250 mm/1250 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
212 kg/91 kg/121 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated spring/damper.  
(Rr) Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring/damper.

**TYRES (Fr/Rr)**  
16.0×6.0-1.0 LC0 Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
10 inch ENKEI SF-01

**ENGINE**  
HONDA/PC40E

**DISPLACEMENT**  
599 cc

**MAX POWER**  
45.26 kW (61.54 ps)/9140 rpm

**TORQUE DESIGN**  
47.98 Nm (4.89 kgf)/7410 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Natural Aspiration

**FUEL TANK VOLUME**  
5.7 L

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
LSD

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 outboard Nissin calipers  
(Rr) 2 outboard Nissin calipers

**UNIQUE FEATURES**  
Yellow machine color

# チーム紹介

Team Information

7

## Kogakuin University

Kogakuin Racing Team

### メンバー

| CP | 山邊浩

| FA | 山本崇史

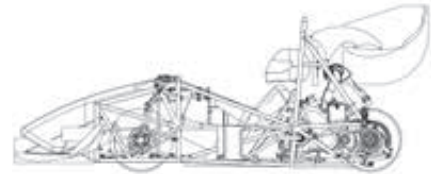
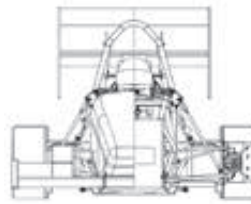
| MBR | 木村竜輔, 高島悠里, 磯村佳直, 細野凌以, 藤原智瑛, 永澤慶太, 天津舞美, 大野凌, 佐々木航, 佐藤浩輔, 伊藤雅晃, 井澤拓己, 吉田健人, 阪本豊, 嶋本成彬, 伊澤佑晟, 鈴木裕人, 帯津親覇, 加藤悠大, 笠原弘輝, 宮原大翔, 鈴木暖都, 小夫家章斗, 矢崎綺洞, 寺坂樹大, 宮田知弥, 小島辰之進, 長野力己, 野尻光, 松本悠暉, 森田智紀, 井上七海, 齊藤祐一, 片岡亮太, 芹澤輝

### 車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトは「パワフル・キビキビ」。今年度車両「KRT23」では2年ぶりのフルモデルチェンジを施し更なる「パワフル・キビキビ」を追い求めた。今大会では総合3位を目指し、将来的な総合優勝への足掛けとしたい。

### スポンサー

工学院大学, 本田技研工業, HKS, ソリッドワークス, 深井製作所, 協和工業, 武州工業, ハイレックスコーポレーション, フォモジャパン, IDAJ, 三協ラジエーター, NOK, ミノルインターナショナル, ニコル・レーシング, HILLTOP エイティエス, ケーヒン, 江沼チエン製作所, ザム・ジャパン, 富士精密, THK, アネブル, ディクセル, 日本発条, 協産産業, エステーリンク, 日研製作所, オートデスク, イグス, ティン, スリーベークス技研, 五十嵐プレイヤー, 兼古製作所, 古寺製作所, 松井精密工業, マルト長谷川工作所, 須佐製作所, トップ工業, カナエ, ジーエイテックラフト, ANAテック, ソーシオ, ホンダテクノフォート, トータルテクニカルソリューションズ, 三陽, アウティスタ, 日立アステモ, キノクニ, レヴクラフト, STF, 住友電装, タイヤフィッター



### Technical Specs

#### BODY COLOR

Blue/Black/Yellow

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

Fiber-glass

#### OVRALL L/W/H

2300 mm/1506 mm/1190 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1625 mm/1300 mm/1250 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

220 kg/105.6 kg/114.4 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

#### TYRES (Fr/Rr)

18.0/7.5-10 R20B Hoosier

#### WHEELS (Fr/Rr)

10 inch BRAID

#### ENGINE

PC40E HONDA

#### DISPLACEMENT

599 cc

#### MAX POWER

58.9 kW (80.1 ps) /9800 rpm

#### TORQUE DESIGN

58.8 Nm (6.0 kgf) /9000 rpm

#### INDUCTION TYPE

Naturally

#### FUEL TANK VOLUME

5.5 L

#### DRIVE TYPE

Chain Drive

#### DIFFERTIAL

DREXLER ADJUSTABLE LSD FS2016

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 4 pods NISSIN CALIPER  
(Rr) 4 pods NISSIN CALIPER

#### UNIQUE FEATURES

Shorten Exhaust System

8

## Meijo University

Meijo Racing Team

### メンバー

| CP | 窪田健人

| FA | 早藤英俊

| MBR | 藤岡遼多, 片倉敬介, 河合颯希, 津原佳弥, 三好統也, 本山功基, 八木大樹, 与語大登, 高口大将, 岡田詩子, 木村初輝, 長谷侑貴, 岡田祐, 山中秀馬, 花村寛哉, 樋口夕汰, 中野陽太, 高木輝哉, 野村亮太, 有馬正喜, 中山友希, 高橋潤成, 齋藤啓, 宮本魁真, 茨木北翔, 川上凌馬, 長尾真洸, 柴田晃希

### 車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「コーナリングスピードの追及」です。昨年の動的種目で好成績を残した車両をベースにさらなる低重心化・低慣性化を実現し大会での総合優勝を目指します。

### スポンサー

ヤマハ発動機, ヴェテック, 積水化学工業, 天木鉄工, 和光ケミカル, オキソ, 三五, D.I.D, レーザテック, ジーエス・ユアサコーポレーション, サカイオーベックス, 住友電装, ソリッドワークスジャパン, ネクスト, レインボースポーツカートコース, 協和工業, 深井製作所, ハイタップ, ソフトブレイン, ウイングオート, トータルテクニカルソリューションズ, ユニオン電商, 幸田サーキットYRP桐山, センサータ・テクノロジーズジャパン, 名古屋メッキ工業, キノクニエンタープライズ, 日本ユピカ, The MathWorks Inc., 日本特殊工業, アーク, 川本鋼材, シンボリ, ハイレックスコーポレーション, ホワイトハウス, 愛三工業, 神戸製鋼所, 日伸, ティン, 岡島パイプ製作所, イグス, HKS, 大同工業, IDAJ, ニワカソフト, RevCraft, FCデザイン, KMR Racing, カーリアバ, 山口製作所, 日本精工, 名城鉄鋼, 吉井資工業



### Technical Specs

#### BODY COLOR

Blue

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

Fiber-Glass

#### OVRALL L/W/H

2970 mm/1500 mm/1100 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1600 mm/1300 mm/1280 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

170 kg/76.5 kg/93.5 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

#### TYRES (Fr/Rr)

10 inch Hoosier 16.0×7.5-10 LC-0

#### WHEELS (Fr/Rr)

10 inch BRAID Light Alloy

#### ENGINE

YAMAHA YZ450F

#### DISPLACEMENT

498 cc

#### MAX POWER

48.2 ps/9200 rpm

#### TORQUE DESIGN

45.1 Nm/5700 rpm

#### INDUCTION TYPE

Naturally

#### FUEL TANK VOLUME

3.8 L

#### DRIVE TYPE

Chain Drive

#### DIFFERTIAL

LSD

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard Willwood calipers  
(Rr) 2 outboard Nissin calipers

#### UNIQUE FEATURES

2 [ply] GFRP Body

## Ibaraki University

Ibaraki University Racing

### ●メンバー

| CP | 大盛克紀

| FA | 西野創一郎

| MBR | 金野凌,丸川大智,梅津太一,萬波馨,木村得明,笹原大希,吉浦龍,小松祥大,勝部駿,柴田紗里奈,松信浦主,小川奏明,河野心,中郷稔,相馬直哉,角田智,関矢和久,笹本涼帆,高木一成,安澤朋香,米澤優人,中島岳人,海野允芳,濱田陸奥樹,渡邊大輔

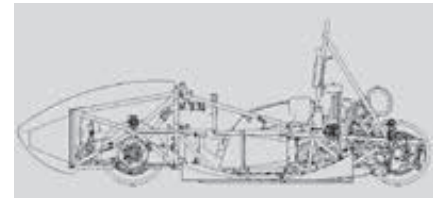
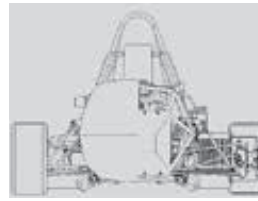


### ●車の特徴とチームの抱負

2023年度車両「IUR19」のマシンコンセプトは「正統進化」としました。3年振りに製作・走行することができた、前年度車両「IUR18」のよいところを引継ぎつつ改良を重ねることで、さらなるポテンシャルアップを目指します。

### ●スポンサー

IDAJ,愛和精密製作所,旭化成建材,アネブル,アルテアエンジニアリング,イグス,石川インキ,茨城トヨタ自動車,今橋製作所,岩手製作所,HPI,HPCシステムズ,エイチワン,NEテック,エヌ・エム・ビー販売,NOK,FCデザイン,江沼ゼン製作所,AVO/MoTeC JAPAN,オーエスジー,大川精線工業,大竹製作所,オートランドテクノ,岡島パイプ製作所,KW AUTOMOTIVE JAPAN,加倉井総業,川金産業,菊地歯車,キノクニエンタープライズ,CAST,協和工業,工機ホールディングス,光南工業,小峰製作所,サイバネットシステム,サウスコ・ジャパン,幸手スプリング,サムシングコーポレーション,三桜工業,三和精機,三和ニードルベアリング,シートレド,JWAY,JSP,重松製作所,ショウエイ,常陽不動産,常陽モーターズ,新栄製作所,新電元工業,スズキ,スズキ工業,住友電装,関根鉄工所,スクーテックジャパン,セメダイン,センサータ・テクノロジーズジャパン,セントラルグラスファイバー,清和製作所,相鏡,ソリッドワークス・ジャパン,ダイジ,ツインリンクもてぎ,ツジ電子,鶴町製作所,THK,テイクアート,東京アールアンドデー,東京測器研究所,東日製作所,東プレ,東北ラヂエーター,東洋電装,トタル・プリカンツ・ジャパン,富田製作所,トムス,トヨウラ,トヨタレンタリース常陸多賀店,日鉄めっき銅管,日鉄銅管,ニフコ,日本圧着端子製造,日本自動車研究所,日本製紙クレシア,日本ユビカ,ハイレックスコーポレーション,常陸木材,廣木精機製作所,深井製作所,フクダ,富士精密,ブライルジャパン,プラスミュー,プロスタッフ,プロテリアル,本田技研工業,マスワークス,MASSIVE,マブチモーター,丸八,三菱ケミカルアドバンストマテリアルズ,水戸工機,南高野医院,村田工業所,やまや木型製作所,UACJ,ユニキャスト,ユニークテープ,ヨシダ,吉田石油,薬谷製作所,天谷龍夫(Team AMG)様



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Red, White, Black	<b>ENGINE</b> LC4/KTM 690 Duke
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel Spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 690 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP, GFRP	<b>MAX POWER</b> 51 kW (69 ps) /8500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2621 mm/1451 mm/1047 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 59 Nm (6.0 kgf) /6000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1690 mm/1250 mm/1250 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 190 kg/91 kg/99 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Doubleb unequal length A-arm Push rod (Rr) Doubleb unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch Keizer Wheel	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (Rr) 1 inboard
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Drive by Wire

## Honda Technical Collage Kanto

H-TEC Formula Project

### ●メンバー

| CP | 榎田航汰

| FA | 塚越琢也

| MBR | 齋藤七海,山崎統哉,神貴宏,庄司早甫,武富直,高井萌恵理,高山舜平,横手豪人,佐伯瞭真,堀内千椰,今井泰貴,鷺圭輔,村田裕星,佐々木孔明,長井哲麻,萩原由侑,後藤大輝,島直樹,白井涼弥,川上朋弥,李俊偉,王義開,衛藤匠汰,吉川凌矢,小林璃音,浅井稜雅,眞砂咲千,生田弘樹,池田泰人,松本宗一郎

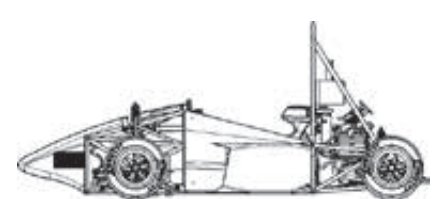
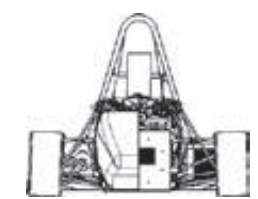


### ●車の特徴とチームの抱負

今年力を入れたのは、出力の向上です。軽量でコンパクトという今までの強みを活かしながら、「MoTeC」とパワートレイン系の新パーツ導入により、力強い走り上で上位に絡みます。

### ●スポンサー

本田技研工業,UCHIDA,ニッポンレンタカー北関東,フォーミュラランド・ラー飯能,SOLIZE Engineering,山王テック,ティン,ミスミグループ本社,イグス,アネブル,Witzenmann Japan,住友電装,OZレーシング,アールケージャパン,興和精機,キノクニエンタープライズ,協和工業,ファロージャパン,ザム ジャパン,ワークスベル,常盤,深井製作所,八千代工業,FCデザイン,石原ラヂエーター工業所,コンセントレーション ヒート アンド モーメンタム リミテッド,Solitary Design Studio.,IPG Automotive,Calspan,ポリプラ・エボニック,石井商会



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> cardinal red	<b>ENGINE</b> PE07E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 449.7 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-carbon	<b>MAX POWER</b> 34.43 kW (46.81 ps) /9680 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2657 mm/1280 mm/1122 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 38.67 Nm (3.95 kgf) /7710 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1700 mm/1200 mm/1200 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 190 kg/95 kg/95 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 3.2 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0×7.5-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard 4Pods Brake Calipers AP-Racing (Rr) 1 inboard 4Pods Brake Calipers AP-Racing
	<b>UNIQUE FEATURES</b> MoTeC Controls



# チーム紹介

Team Information

11

## Saitama University

Formula Project SU-spirited

### メンバー

| CP | 木村匠  
| FA | 姜東赫, 山田洋平, 成澤慶宜  
| MBR | 梶谷滉, 齋藤幹大, 中島広樹, 坂口達磨, 金子瑛, 横田智紀, 辻野泰成, 吉田周平, 向瀬圭恭, 高橋一颯, 細田啓輔, 小池慎之介, 石田翔海, 吉本翔人, 大谷貴亮, 山本雄貴, 吉澤真一郎, 関章伸, 西本琴羽

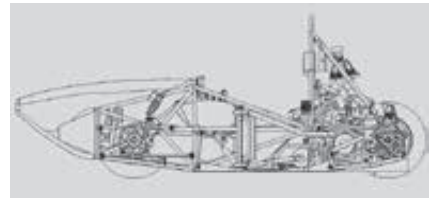
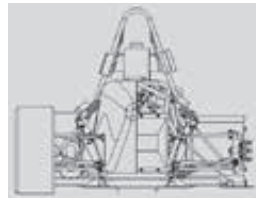


### 車の特徴とチームの抱負

このマシンSU-06は動力系における信頼性の向上を目指しました。また、空力性能も考え直し、ウイングレスで大きなダウンフォースを得ることを目指しました。総合8位以内を目指して頑張ります。

### スポンサー

ISAJ, 朝日ラバー, アネブル, アライヘルメット, アルテアエンジニアリング, イグス, 石川インキ, 井上鉄工所, 浦和花見, エイチワン, エッチ・ケー・エス, NOK, エフ・シー・シー, オーゼットジャパン, 大竹製作所, オリジン, GAMMA-TECHNOLOGIES, 協和工業, グループエム, ケイテック, ケー・エム・エス, 小金井精機製作所, サーキット秋ヶ瀬, 埼玉県経営者協会, さいたま商工会議所, サイタマトヨベツ, 埼玉プレーナー, 斎藤プレス, 鷺宮製作所, ザム・ジャパン, シーメンス, 七福金属, 島田製作所, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, タイヤ職人, THK, ティン, デサン, デジタルベリー, トヨタレンタリース埼玉, 日本信号, 日本精工, 日本ビストンリング, ハイレックスコーポレーション, 日立Astemo, 富士精密, 放電加工デンター, ボーライト, 本田技研工業, Math Works, マツ, ショウ, 丸紅情報システムズ, マレリ, ミスミ, 柳下技研, ヤハイ工販, RACracing, 和光ケミカル, 渡辺製作所



### Technical Specs

BODY COLOR	Gray & Green	ENGINE	PC-40E_HONDA
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	DISPLACEMENT	599 cc
MATERIAL	CFRP	MAX POWER	60.9 kW (ps) / 10000 rpm
OVRALL L/W/H	2920 mm / 1459 mm / 1109 mm	TORQUE DESIGN	61.6 Nm (kgf) / 8000 rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1744 mm / 1220 mm / 1220 mm	INDUCTION TYPE	Naturally
WEIGHT (Fr/Rr)	230 kg / 103.5 kg / 126.5 kg	FUEL TANK VOLUME	5.0 L
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE	Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)	20.0 / 7.5-13 R-20 Hoosier	DIFFERTIAL	LSD
WHEELS (Fr/Rr)	13 inch OZ Racing	BRAKE SYSTEM	(Fr) 2 outboard Brembo calipers (Rr) 2 outboard Brembo calipers
		UNIQUE FEATURES	

12

## Tokyo University of Agriculture and Technology

TUAT Formula

### メンバー

| CP | 今宏太  
| FA | ボンサトーンラクシンチャラーンサク, 藤波洋平  
| MBR | 川端健斗, 今野巧夢, 佐藤柊太, 鈴木智仁, 高倉俊, 玉山日向子, 林田友佑, 俣野壮太郎, 吉岡諒, 吉田紗和子, 吉田壮志, 岡野知大, 米原拓臣, 関虎太郎, 森優介, 天野亮太, 柏瀬拓弥, 山本智史, 野口文, 岡部凌也, 加甲一輝, 潮見咲保, 朝川晃聖, 川村吾心, 富岡優太, 西岡拓夢, 植野七海, 堀江岳



### 車の特徴とチームの抱負

前世代車両から基本的なパッケージングは踏襲しつつ、フレーム剛性向上やサスペンションジオメトリ改良、スタビライザーやパドルシフトの導入などに取り組んだ。10位以内 全種目完走 ノーマシントラブル 車検一発合格

### スポンサー

本田技研工業, IDAJ, IPG Automotive, イグス, イリス, NOK, エフ・シー・シー, FC デザイン, 尾久自動車学校, 加藤カム技研, 上島熱処理工業所, マレリ, キノクエインタープライズ, 協和工業, 呉製作所, クロスロード小山, 京葉バンド, コトラ, ザム・ジャパン, ジェイワン, 住友電装, 積水化成工業, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, 大同DMソリューション, タイヤフィッティングサービス, ティン, THK, DMM.com, デンソー三共, 東レ, 中井インターサーキット, 新潟精機, 日本自動車大学校, ニチリン, 日信工業, ニッポンレンタカーサービス, 日本製紙クレシア, 日本プレート精工, ハードロック工業, 配線コム, 深井製作所, 富士精密, プラスミュー, マイト工業, ミライエ, 都ステンレス工業, 矢崎総業, ユタカ技研, 隆盛工業, レイズ, 和光ケミカル, ワークスベル, 東京農工大学 機械システム工学科, 東京農工大学 機友会, OB・OG一同



### Technical Specs

BODY COLOR	N/A	ENGINE	PC40E HONDA
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	DISPLACEMENT	599 cc
MATERIAL	Fiber-glass	MAX POWER	38 kW (52 ps) / 8500 rpm
OVRALL L/W/H	3116 mm / 1419 mm / 1160 mm	TORQUE DESIGN	46 Nm (4.7 kgf) / 6400 rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1800 mm / 1200 mm / 1200 mm	INDUCTION TYPE	Naturally
WEIGHT (Fr/Rr)	240 kg / 96 kg / 144 kg	FUEL TANK VOLUME	6.4 L
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE	Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)	18.0 / 6.0-10 R25B Hoosier	DIFFERTIAL	F. C. C. TRAC
WHEELS (Fr/Rr)	10 inch Keizer	BRAKE SYSTEM	(Fr) 1 outboard Nissin calipers (Rr) 1 outboard Nissin calipers
		UNIQUE FEATURES	Aero Dvice, Paddle Shift, Long Wheel Base

## Sanyo-onoda City University

SOCU Formula



### メンバー

| CP | 矢谷一真

| FA | 貴島孝雄

| MBR | 奥美月, 辻田翔農, 橋口大河, 原田農生, 引野亜友夢, 松尾奏朗, 秋澤優至, 榎並尚哉, 岡田直樹, 高野智寛, 花木ひより, 吉田祥哉, 秋山友哉, 岩永圭司, 門航汰, 田島晃貴, 西本和希, 藤田稜空, 前田大吾, 古田晃暉, 室本航

### 車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトはドライバーの入力に対して素直に反応するリニアな操縦特性で、見た目も美しい魅力的な外観に注力しました。

また例年得点の振るわない静的審査での成績向上を目指して全力で取り組んできました。

### スポンサー

サンライズ, 和光ケミカル, 富士精密, 住友電装, ミネベア(NMB), 本田技研工業, ミスミ, ソリッドワークス・ジャパン, 寺田製作所, オートエクゼ, THK, 日立Astemo, キノクニエンタープライズ, エフ・シー・シー, ナチュラサーキット, 内田銅機, かさま工業, ホンダマイスタークラブ, 協和工業, HAL, ロードスタークラブオブジャパン, MZ Racing, 深井製作所, DID, デンソー, 津留自動車工業, 西日本自動車学校, 長州産業, 山口マツダ, HPS ヤマガタ, Road Star Four, 亜細亜製作所, Limit, ひびき精機, ミツ星ベルト, マイナビEdge, OPENCAGE Garage, MARCRUZE, サイバネットシステム, コトラ, red5 camp



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Orange & Black	<b>ENGINE</b> PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 600 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 50 kW (68 ps) / 11500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2609 mm / 1370 mm / 1065 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 41 Nm (4.2 kgf) / 10000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1625 mm / 1175 mm / 1175 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 211.3 kg / 95 kg / 116.3 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.4 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm Pull rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chane drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0×7.5-10 R20 Hoosier / 16.0×7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch Keizer / 10 inch Keizer	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 opposing piston Nissin calipers (Rr) 2 opposing piston Nissin calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Gifu University

Gifu University Formula Racing



### メンバー

| CP | 高木覚登

| FA | 菊地聡

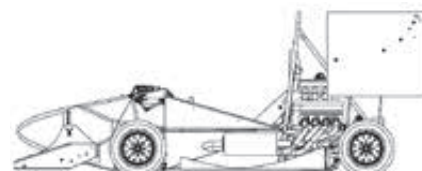
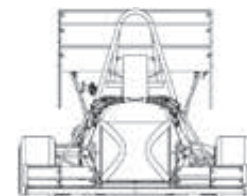
| MBR | 廣田一帆, 小堀貴俊, 安藤丈流, 近藤祐貴, 下山智也, 伊藤寛人, 明壁未侑, 柴田桂佑, 片上航瑠, 加藤宏明, 中野清太郎, 保土貴亮, 宮崎凌太, 森川晴仁, 石原色真, 掛川裕生, 河合紗々音, 川口航, 杉山友規, 中藤慧, 古川颯輝, 鶴航成, 林和希, 高村圭祐

### 車の特徴とチームの抱負

GFR022をベースに、信頼性の向上と軽量化、完成度向上を目指して設計を行いました。昨年は全種目完走を果たせなかったため、今年は全種目完走したうえで総合順位10位以内を目指します。

### スポンサー

アイキテック, アイシン, IDAJ, アサヒフォージ, アネブル, アルテアエンジニアリング, 石原ラジエータ工業所, 岩田製作所, ATP, エフ・シー・シー, オエティカジャパン, 大瀬化成, 大山エンジニアリング, 奥伊吹観光, 小熊製作所, 片野商会, 金子歯車工業, キノクニエンタープライズ, ギフ加藤製作所, 岐阜ギヤ工業, 岐阜車体工業, 岐阜プラスチック工業, 協永産業, 協和工業, グリットウェブ, 澤商, シーシーアイ, 柴田工業, 昭和, 榎葉鉄工所, 杉山, スズキ, スズビロフォークリフト, 住友電装, センサー・テクノロジー・ジャパン, ソリッドワークス・ジャパン, 大同DMソリューションズ, 太平洋工業, ダイワ, 高橋鉄工所, 塚原製作所, ツゲブラセス, DICマテリアル, T.M.D., 東日, トータルテクニカルソリューションズ, ドングルズ, ナベヤ, 鍋屋バイテック, ニッシンテクニクス, 日本エンジン, 日本精工, 日本トムソン, 日本発条, 日本3Dプリンター, 服部溶接鉄工所, 光製作所, 日立Astemo, フェスティカサーキット瑞浪, 深井製作所, フクダ精工, フジ化成工業, 富士精密, プラスミュー, ホリゾンタル, マキタ, 丸五, ミズタニバルブ, ミスミ, 三田洞自動車学校, 明成, 岐阜大学工学部機械工学科, 岐阜大学工学部高橋研究室, 岐阜大学工学部仲井研究室, 岐阜大学工学部上坂研究室, 岐阜大学工学部機械工場, GFR OBOG



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> GSX-R600 L9
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 44.0 kW / 9000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2960 mm / 1425 mm / 1175 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 54 Nm / 7000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1650 mm / 1200 mm / 1200 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally aspirated
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 230 kg / 108 kg / 122 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.9 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Shaft Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16×7.5-10 Hoosier R20	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C.
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10inch Braid TENRACE +FSAE	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Wilwood calipers (Rr) 2 outboard Wilwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>
	1. Launch contorol
	2. Paddle shifters
	3. Full set of aerodynamic package

# チーム紹介

Team Information

15

## Teikyo University

Teikyo Formula Project

### メンバー

| CP | 新添航大  
| FA | 小柳出敏弘, 篠内将景, 井上祥寿, 高野正則, 篠原誠  
| MBR | 佐々木翔, 荒井勇作, 新添翔大, 小嶋涉太, 加藤開, 高田健太郎, 津幡裕平, 松目幸人, 佐藤芽生, 神保洋輝, 下山優輝, 石橋和也, 片柳陸斗, 手塚輝, 阿部賢, 松村美成, 今泉勇輝, 飯澤尚基, 東海林秀斗, 亀山泰希



### 車の特徴とチームの抱負

今年のマシンコンセプトは「自由自在」です。軽量化と重量配分を見直すことでドライバーが自由自在に操ることができる車両を目指し製作していきます。

### スポンサー

帝京大学, 本田技研工業, 日立Astemo, ホンダテクノフォート, エッチ・ケー・エス, エイヴィエルジャパン, 和光ケミカル, サンコーインダストリー, 渡辺金属, アルテアエンジニアリング, IPG Automotive, 協和工業, 麻布成形, エフ・シー・シー, 住友電装, 日本トムソン, マクセル, ティン, 大同工業, 太平洋精工, デンソー, ザム・ジャパン, NOK, 丸紅情報システムズ, オクノグローバルテック, NOK, シンコウギヤ, 協永産業, デイトナ, デンソー, イグス, 東興ラヂエーター, キノクニエンタープライズ, 深井製作所, WELDTOOL, オーゼットジャパン, CanDoVISION, 宇佐美, オーエスジー, ファクトリーギア, ZAN, ハイレックスコーポレーション, ラストラダ販売, 太平洋精工, 溶接用品サンテック, スクーテック ジャパン, J-tec, 電興製作所, XYZプリンティングジャパン, サウスコ・ジャパン, FLASHFORGE3DPRINTER, APPLETREE, 宮精密, デュボンスタイロ, 日本精工, マスワークス, アネブル, 石川工業, 国美コマース, アイ・エス・エー, ミナミ技研



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> bule	<b>ENGINE</b> PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 600 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 46.3 kW (63 ps) /9300 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2890 mm/1590 mm/1303 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 49.033 Nm (5 kgf) /8800 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1650 mm/1350 mm/1350 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 230 kg/112.7 kg/117.3 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.6 L
<b>SUSPENSION TEIN</b> (Fr) Double wishbone suspension A-arm Push rod (Rr) Double wishbone suspension A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5×6.0-13 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> Direct connection differential
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 1 outboard Hitachi Astemo caliper (Rr) 1 outboard Hitachi Astemo caliper
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Paddleshift Handle made with a 3D printer A structure in which the front suspension is not visible from the outside

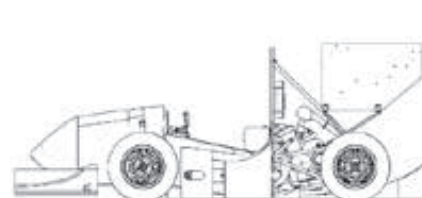
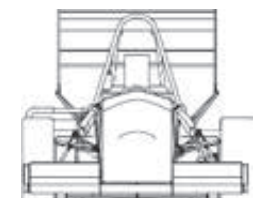
16

## College of Science and Technology, Nihon University

Engine Association

### メンバー

| CP | 森田晶博  
| FA | 星野倫彦  
| MBR | 大川原育未, 石原寛正, 佐藤風, 竹上創大, 宮下久典, 長谷川由太, 二木掌, 高橋宗吾, 金森翔太, 大石喜生, 大久保尚輝, 松村雄太, 三上夏輝, 坂本玄, 北村康晴, 堀田拓哉, 小林真由, 篠田悠太郎, 大山颯太, 荒井悠社, 福村乃菜, 高橋佳大, 川端健斗, 壺岐知寛, 松本郁実, 高橋俊, 沼里一輝, 増田雄大, 鈴木洗陽, 小林竜也, 添野航也, 中岡賢太郎, 小原鮎歩, 鯉沼和希, 片山太郎



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black & Blue	<b>ENGINE</b> YAMAHA YZF-R6 4 cylinder
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 61 ps/8020 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3057 mm/1420 mm/1160 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 56.5 Nm/7140 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1595 mm/1215 mm/1215 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 254 kg/122 kg/132 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> aspirated 5.6 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5×7.0-13 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C. TRAC LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZ Racing 20.5	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Brembo calipers (Rr) 2 outboard Brembo calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Full CFRP aero device



## Doshisha University

Doshisha University Formula Project

### ●メンバー

| CP | 三田村悠生

| FA | 大窪和也

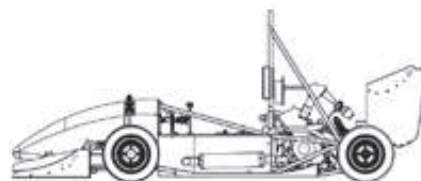
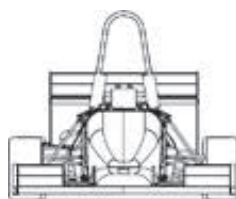
| MBR | 真山彩葉子,宮谷和伸,神谷健瑠,野口創太,坂川陽香,井上裕貴,椿大輝,佐藤隆気,福留健斗,巽恵美理,中村涼平,水野景介,岩下莉緒,原惇綺,神坂知明,坂拓実,大庭宗一郎,竹内康祐,池端千裕,池田諭哉,松本善行,横田成良,宮本恭輔,日吉太一

### ●車の特徴とチームの抱負

「旋回性能と加速性能の向上」をコンセプトに設計しました。第一回大会から参加し、今大会で21回目の挑戦となります。全種目完走を果たし、もう一度上位争いのできるチームへと振り返りたいと思います。

### ●スポンサー

a-factory, ANDARE, IDAJ, ITW パフォーマンスポリマーズ & フルイズ ジャパン, MathWorks, inc, NKN, THK, アンシス・ジャパン, イシダ製作所, 石原ラジエーター工業所, 市光工業, 上野鉄工, エイティーエス, エクセディ, 江沼チエン製作所, カワサキモータース, 鬼頭歯車, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 神戸製鋼所, ザム・ジャパン, サンスター技研, ジーエス・ユアサ テクノロジー, ジェイテクト, 住友電装, 3Dコネクション, 積水化成成品工業, ソリッドワークス・ジャパン, 大東ラジエーター工業所, 中金, デュボン・スタイロ, 日立astemo, 日双工業, 日本ヴァイグレイド, 日本発条, ヒロミツ製作所, 深井製作所, プロト, 堀場製作所, 丸三自動車商会, 丸紅情報システムズ, 明電エンジニアリング, 和光ケミカル



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> purple & green	<b>ENGINE</b> ZX636G Kawasaki
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 636 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 49.4 kW (ps)/9500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2977 mm/1515 mm/1241 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 57.3 Nm (kgf)/8000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1700 mm/1300 mm/1270 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 107.4 kg/128.6 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 3.95 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> ATS LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch BRAID	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Nissin caliper (Rr) 2 outboard Wilwood caliper
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Kyushu Institute of Technology

KIT-formula

### ●メンバー

| CP | 遠藤志琉

| FA | 河部徹

| MBR | 長下哲也, 富田夏輝, 小濱朱生, 下岡裕矢, 七浦大地, 檜山瑞樹, 日埜涼太, 青井海音, 大城亮介, 笠友介, 渡邊裕大, 岩見彩花, 小林輝, 田邊太一, 河野成通, 坂梨武尊, 岡樹希, 谷渡康大, 池田志優, 高熊海人, 曾我井天信, 野口聡馬, 渡邊航志, 岸本康太郎, 山元勇輝, 石松大知, 福原幹太郎, 澤泰樹, 井上真聡, 田中陽一郎, 松村温仁, 松本なつみ, 奥間優, 丸山寛生, 奥西連, 久長新之介, 東方大樹, 森永碧, 川内康太郎, 井上雄介, 芦野太郎, 木村駿介

### ●車の特徴とチームの抱負

金属3dプリンターによって製作されたエキゾーストマニホールドが特徴的な車です。チーム全員で軽量化、低重心に取り組んだこの車でシングルナンバーを目指します！

### ●スポンサー

Aim, AVO/MoTeC JAPAN, IDAJ, FCデザイン, IPG Automotive, NEST INDUSTRY, アイシン, アルテアエンジニアリング, アルテック, イケヤフォーミュラ, 石原ラジエーター工業所, イグス, エヌ・エム・ビー販売, エフ・シー・シー, 川崎重工業, 九州工業大学 機械実習工場, キノクニエンタープライズ, 協永産業, 協和工業, 神戸製鋼所, 小倉運送, サリアン, 機業鉄工所, スター電器製造, 住友電装, ソフトウェアクレイドル, 太平洋精工, 高田工業所, 高橋工機, ティン, デンソー, ニフコ, 日本発条, 日立Astemo, 深井製作所, 富士精密, プラスミュー, プロト, ミヤキ, 明専会, ランテック, ヤスナガ, 和光ケミカル, 黒木工業所, 曾根湯布院機械, 旭化成建材, KKW, 羽生田鉄工所, 共和電業



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> Kawasaki ZX636E
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 636 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 58 kW (80 ps)/14000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2994.6 mm/1503.2 mm/1238.6 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 60 Nm (kgf)/7000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1720 mm/1300 mm/1300 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 104.4 kg/127.6 kg/232 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-Arm Push rod (Rr) Double unequal length A-Arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> Hoosier 16.0×7.5-10 R20	<b>DIFFERTIAL</b> FCC TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10inch Braid	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard willwood calipers (Rr) 2 outboard willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Aero device

# チーム紹介

Team Information

19

## Kurume Institute of Technology

Kurume institute of technology formula project

### ●メンバー

| CP | 峯田康平  
| FA | 東大輔, 池田秀, 梶山項羽市  
| MBR | 大本龍之丞, 松本昂大, 出口緋琉, 木原真哉, 永本凌, 立石峻大, 馬原農成, 永田泰大, 千北琉太郎, 荒牧龍之介, 古屋隼悦, 田口小次郎

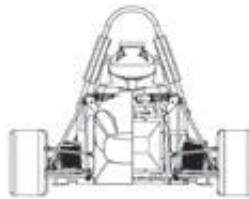


### ●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは昨年度の「シンプル&ベーシック」を引き継ぎつつ、旋回性能向上を目的とした「コーナリングマシン」としました。動的審査の完走、総合成績15位以内に入ることを目指します。

### ●スポンサー

スズキ, エッチ・ケー・エス, ソリッドワークス, ENKEI, ヤスナガ, B-FACTORY, 和光ケミカル, ホンダテクノフォート, 東京R&D, 高木鉄工所, 津留崎製作所, 瀬上溶接, 住友電装, 深井製作所, 西島板金工業, 上津レンタカー, NifCO, キノクニエンタープライズ, GOODRIDGE, KYOWA, 旅館たみ屋, MathWorks, 田原ボデー製作所, IPS PLIERS, ミヤコ自動車, 久留米工業大学, 久留米工業大学同窓会, 久留米工業大学ものづくりセンター, 久留米工業大学, 久留米工業大学同窓生御一同様, 久留米工業大学教職員の皆様, 久留米工業大学インテリジェントモビリティ研究所, 久留米工業大学加工プロジェクト



### Technical Specs

BODY COLOR Blue	ENGINE SUZUKI/RMX450
FRAME CONSTRUCTION steel spaceframe	DISPLACEMENT 450 cc
MATERIAL CFRP	MAX POWER 26 kW (36 ps) /7500
OVRALL L/W/H 3015 mm/1476 mm/1196 mm	TORQUE DESIGN 37 Nm (3.7 kgf) /6500 rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr) 1650 mm/1355 mm/1255 mm	INDUCTION TYPE Naturally
WEIGHT (Fr/Rr) 167 kg/75.15 kg/91.85 kg	FUEL TANK VOLUME 4.8 L
SUSPENSION (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE Chain Drive
TYRES (Fr/Rr) 16.0×6.0-10 R20B Hoosier	DIFFERTIAL Mechanical Limited Slip Differential (F.C.C)
WHEELS (Fr/Rr) enkei SF-01	BRAKE SYSTEM (Fr) 2 outboard (Rr) 2 outboard
	UNIQUE FEATURES

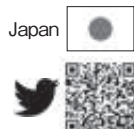
20

## Kobe University

Kobe University Formula Student Team FORTEK

### ●メンバー

| CP | 手塚隆太郎  
| FA | 浅野等, 横小路康義, 中辻秀憲, 中辻竜也  
| MBR | 渡辺直輝, 村田康貴, 三島玲花, 辻佑介, 露口陽輝, 井上愛理, 坂本虎太郎, 芝野乃花, 寺西智亮, 森田航, 荒田祐希, 池田智哉, 石倉拓真, 河田爽, 西永奈生, 本田蘭, 室谷匠, 金芳優佑, 北川寛人, 谷岡希優, 増田遥斗, 元家絃貴



### ●車の特徴とチームの抱負

今年の車両は、基本的な設計は前年度のものを引き継ぎつつ問題に上がった個所を修正して信頼性の向上を図りました。本年度の目標は総合9位です。

### ●スポンサー

IDAJ, 葵工機, 明石発動機工作所, アネブル, アルテアエンジニアリング, アルバック機工, 石原ラジエーター工業所, IPCO, 岩井木型製作所, Ins-R, EXEDY, FCC, 岡山国際サーキット, CARVEK, カワサキモータース株式会社, キノクニエンタープライズ, Cast, KYOWA, 神戸大学機械クラブ, 神戸大学工学振興会, 神戸大学工作技術センター, 神戸製鋼所, southco, 佐藤精機, X.A.M, 住友ゴム工業, 住友電工ハードメタル, 住友電装, 摂津金属工業所, Solid Works, タイヘン, ツルガ (ネジクル), DIC, D.I.D, THK, DMG森精機, DENSO, デンソーテン, ナイス, ナガセケムテックス, NagaseNeElex, 西尾レントオール, NICHIRIN, 日信工業, NIFCO, 日本インシュレーション, 日本エア・リキード合同会社, 日本発条, ニューズカンパニー, HI-LEX, 日立金属株式会社, FOMO JAPAN, 深井製作所, フジ化成工業, plusμ, MathWorks, 丸紅情報システムズ, MinebeaMitsumi, ヤマトプロテック, ロックペイント, 和光ケミカル



### Technical Specs

BODY COLOR Navy Blue	ENGINE Kawasaki ZX-6R
FRAME CONSTRUCTION steel spaceframe	DISPLACEMENT 636 cc
MATERIAL CRPP	MAX POWER 57 kW (77 ps) /11000 rpm
OVRALL L/W/H 2978 mm/1380 mm/1220 mm	TORQUE DESIGN 52 Nm (5.3 kgf) /8500 rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr) 1685 mm/1240 mm/1200 mm	INDUCTION TYPE Naturally
WEIGHT (Fr/Rr) 225 kg/99 kg/126 kg	FUEL TANK VOLUME 6.7 L
SUSPENSION (Fr) Double unequal length A-Arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-Arm Push rod	DRIVE TYPE Chain Drive
TYRES (Fr/Rr) 16.0/7.5-10 R20 Hoosier	DIFFERTIAL FCCTAC
WHEELS (Fr/Rr) 10 inch Keizer	BRAKE SYSTEM (Fr) 2 outboard Willwood calipers (Rr) 2 outboard Willwood calipers
	UNIQUE FEATURES Yellow Surge Tank

## Niigata University

NEXT. Formula Project

### メンバー

| CP | 滝澤陽斗  
| FA | 羽田卓史, 坂本秀一  
| MBR | 旭逸斗, 河崎虎景, 工藤成惣, 久保耀祐, 緑川聡, 山田拓未, 百武優一, 天竺桂悠太, 大谷祥毅, 西尾玲音, 岡庭海晟, 加藤大幹, 中村亮太, 野崎一真, 長谷川拓哉, 工藤吉峰, 渡部泰地, 灰野周一, 高橋大地, 館畑桂月, 土崎慎, 泉並桂, 永井日茉莉, 東野弘道

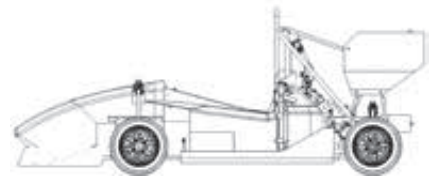
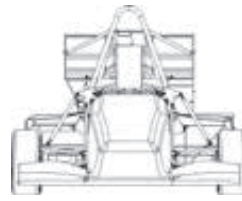


### 車の特徴とチームの抱負

昨年度マシンNU-22をベースに細かな改良を重ね、より高性能なマシンを目指しました。アップデートしたNU-23で動的審査における過去記録の更新に挑戦します。

### スポンサー

スズキ, THK, ビーエムシー, 和光ケミカル, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, AVO/MOTEC Japan, 小原歯車工業, キノクニエンタープライズ, イグス, エンケイ, キジマ, 協和工業, 住友電装, 大同工業, NOK, 小林製作所, サンライト, シンドー, エステーリンク, ニフコ, 日立Astemo, ムネカタ, 南雲製作所, 新潟大学工学部機械システム工学科, 新潟大学全学同窓会, 新潟大学工学部同窓会, 新潟大学工学部 工学文化教育センター



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black and Green	<b>ENGINE</b> SUZUKI GSX-R600 (L5)
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel tube space frame	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 51 kW (69.4 ps) / 10163 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2940 mm / 1200 mm / 1470 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 53 Nm (5.4 kgf) / 9402 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1690 mm / 1300 mm / 1290 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 221 kg / 101 kg / 120 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 6.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated coil spring and damper (Rr) Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated coil spring and damper	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0 x 6.0-10 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch ENKEI SF-01	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) NISSIN, Dual piston, 27 mm dia. (Rr) NISSIN, Dual piston, 27 mm dia.
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Equipped with wings

## Osaka University

Osaka Univ. Formula Racing Club

### メンバー

| CP | 黒石 隼  
| FA | 石原尚, 泉太悟  
| MBR | 豎山翔太, 田上貴太, 野口竜作, 東良航太, 河野純大, 高岡竜翔, 飯田海地, 中田修斗, 池田匠, 久木原優真, 田中航平, 西村壮真, 丸山力久, 新宮義規, 鈴木統也, 高田裕佳, 松元開, 松本優作, 山根駿, ソンジョンイル, ソンチョンス

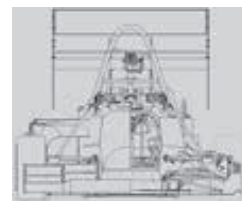


### 車の特徴とチームの抱負

「継往開来」をコンセプトに、先人の知見を借りながらも、更なる高見への挑戦を行うことで、車両の信頼と発展の両立を目指しました。昨年の悔しさをバネに、今年は車両性能を最大限引き出し、総合3位を目指します。

### スポンサー

R'S DESIGN, ISK, アイシン, IDAJ, 旭計器工業, アスク, アネスト岩田, イグス株式会社, イシダ, 日本ヴァイアグレイド, ウエダ, エイエルアイ, エービーシー商会, APC エアロスペシャルティ, 加地 (EXGEL), エヌ・エム・ビー販売, NITZ ギャムテクノロジー, 江沼チエン製作所, OZ, 岡村水道ポンプ工業所, オキソ, おたふく手袋, オルファ, カキモレーシング, 片木アルミニウム, カワサキモーターズ, 関西ペイント, 木内計測, キンパワーツール, キノクニエンタープライズ, CAST, 協和工業, 久保鉄工所, クボタ, 呉製作所, ソフトウェアクレイドル, 国営アルミ製作所, コトラ, 神戸製鋼所, 小松製作所, サイバネットシステム, サイアン, ザム・ジャパン, 澤久工業, 三協ラジエータ, 大阪大学フロンティア研究センター事務室, CKD, JVCケンウッド, 重松製作所, 信濃工業, 下西製作所, JAPAN 松江, 神鋼ノース, スクーテックジャパン, 鈴英, スズキ機工, スター電器製造, 住友ゴム, 住友電工ハードメタル, 住友電装, センサー・テクノロジー ジャパン, ソダ工業, ソリッドワークス・ジャパン, タイガー製作所, 大成プラス, 大同DMソリューション, ダイヘン, ユニオートプランニング, タイヨウ, 田中製作所, 中京化成工業, 津田駒工業, ティン, DIXEL, 合同会社DMM.com, デイトナ, デュボンスタイロ, テクノファーム, デリシオサ, DENSO, 童夢, 東レカーボンマジック, 徳永製作所, 戸田レーシング, トップラインプロダクト, 巴工業, トランプ, ニッカル商工, ニフコ, 日本磁石工業, 日本教材製作所, 日本圧力端子製造会社, 日本ウエルディング・ロッド, 日本ドライケミカル, 日本発条, ツルガ, 野島エンジニアリング, 白光, BBSジャパン, 日立Astemo, フォワードエンジニアリングジャパン, 富士精密, 二六製作所, プレニー技研, プロテクタ, ホーベック, ホクシン, MathWorks, ミクニ, ミスミ, 水田製作所, ミタテ工房, ミツ安製作所, ミツ星ベルト, 水戸工機, ミネベアミツミ, モアビジョン, 木商, モリ工業, モリエンジニアリング, ヤシマ化学工業, ヨコタデザイン, 横山機工, 米島フエルト産業, RECHARGE, レヴォルティス, レックス, ロックペイント, ロブテックス, ワークスベル, 和光ケミカル



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black & Lime Green	<b>ENGINE</b> ZX636G
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Carbon monocoque & Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 636 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 58.8 kW (80 ps) / 11500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2887 mm / 1440 mm / 1196 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 49.6 Nm (kgf) / 10500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1600 mm / 1250 mm / 1210 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 200 kg / 82.7 kg / 117.3 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 LC-0 Hoosier / 16.0/7.5-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Willwood calipers (Rr) 2 outboard Willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Electric Throttle Control, Auto-Blipping Clutchless Shifter



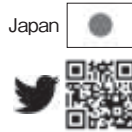
23

## Waseda University

Waseda Formula Project

### ●メンバー

| CP | 井上遼  
| FA | 佐藤真, 宮下朋之, 石井泉  
| MBR | 榎舎祐太, 小林恵輔, 清水剛世, 中西聡太郎, 西尾渉, 湯蓋優大, 岸本千宙, 佐藤尚貴, 千原文, 中井謙伸, 長田知己, 内田直希, 稲葉摩人, 大和田龍, 関慶太, 山口慧, 秋山凜咲, 小川洸生, 加藤貴晃, 山下悠, 明比達也, 市村卓也, 只野陽向太, 重見清香, 細井敬哲, 藤原光瑠, 丸山達也, 福尾颯太

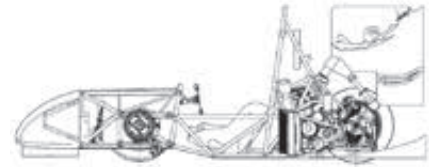
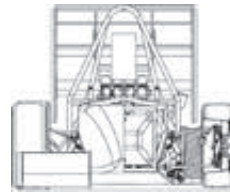


### ●車の特徴とチームの抱負

ショートホイールベースと金属3Dプリントを用いたアップライト等の足回りを継承し、今年度はウイングをカーボンで作成し軽量化を図りました。今年度のマシンコンセプトである「COMFORT」に沿い、ドライバーもエンジニアも扱いやすいマシンを作り上げます。今大会もファイナル6を獲得を目指し、昨年果たせなかったエンデュランス完走を達成します。

### ●スポンサー

スズキ, タマチ工業, クレスト, カヤバ, ジュニアモーターパーク Quick羽生, UDトラックス, 畑野自動車, マーレジャパン, コマツ, 早稲田機友会, 馬場製作所, 日本ユピカ, 日本ビストンリング, ユニホーム卸センター (ブリーズプロンズ), ソリッドワークス・ジャパン, 日本ドライケミカル, 米島フェルト産業, 葵製作所, アネブル, ヤマダ, 重松製作所, RushFactory, オーゼットジャパン, エヌ・エム・ビー販売, 石原ラジエータ工業所, 協永産業, IPG Automotive, プロト, エイチワン, キノクニエンタープライズ, 七福金属, ニシヤマ/大和製衛/日本風洞製作所, プロテクト, エフ・シー・シー (F.C.C), 鷺宮製作所, アルテアエンジニアリング, ランドマークテクノロジー, LINK JAPAN, コトラ, 住友電装, タニケミカル, サイマコーポレーション, 三研工業, サカイオーベックス, デュボンスタイロ, CAST, SimScale



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> dark red	<b>ENGINE</b> SUZUKI GSX R600 K8
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 39 kW (53 ps) /9250 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2970 mm/1330 mm/1180 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 46 Nm (4.7 kgf) /9250 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1540 mm/1140 mm/1090 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 240 kg/108 kg/132 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 6 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5/7.0-13 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZ Racing Alminum	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (brembo) (Rr) 2 outboard (brembo)
	<b>UNIQUE FEATURES</b> separate rear sub frame, Metal additive manufacturing Upright

24

## Toyota Technical Collge Nagoya

TTCN-F23

### ●メンバー

| CP | 窪田龍二  
| FA | 高橋一成  
| MBR | 久保田康平, 成瀬隼, 小塩優太, 上村悠大, 王毅峰, 野上剛一郎, 菌田繁, 森塚海斗, 花澤樹, 大杉優輝, 大家悠平, 宮前晴樹, 田阪洗樹, 西川拓, 朴宣厚, 谷井祐太, 中尾匠, 渡辺祐也, 植田光哉, 高橋英史, 立石瑛士, 今井雄大, 細野晋平, 小藤由貴, 橋本涼太, 河添三志郎, 望月翔貴, 小寺力

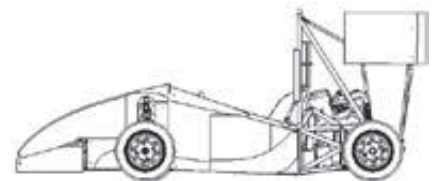
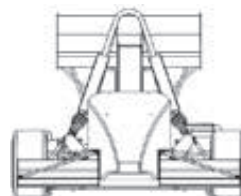


### ●車の特徴とチームの抱負

今年度は低重心・低重量・低ストレス・低リスクの「4低」を車両コンセプトとし、設計・製作を行いました。10インチ化を果たした車両で過去最高順位を目指します。

### ●スポンサー

ヤマハ発動機, ソリッドワークスジャパン, トヨタモビリティパーツ, 協和工業, 渡辺工業, サウスコジャパン, 和光ケミカル, 豊田合成, エフティテクノ, ホワイトハウス, 共立計販, 共和電業, エム・センス, 愛知トヨタ, NTP名古屋トヨペット, トヨタカラー名古屋, トヨタカラー愛知, ネットトヨタ中部, トヨタモビリティ中京, 三重トヨタ, ネットトヨタ三重, 三重トヨペット, 静岡トヨタ



### Technical Specs

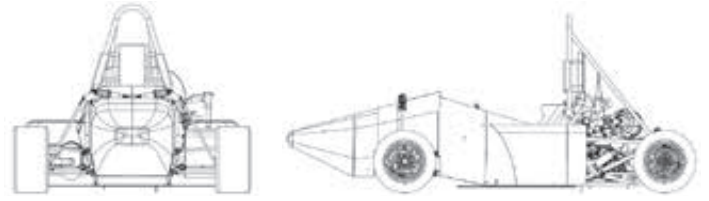
<b>BODY COLOR</b> White Red Blue	<b>ENGINE</b> M409E YAMAHA MT-07
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 688 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 48.6 kW (66.1 ps) /8000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2755 mm/1460 mm/1175 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 61.7 Nm (6.3 kgf) /6500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1590 mm/1250 mm/1200 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 247 kg/97 kg/150 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.2 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18×7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> Drexler LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch BRAID	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Willwood Calipers (Rr) 2 outboard Willwood Calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Osaka Institute of Technology

O.I.T.Racing Team REGALIA

### ●メンバー

| CP | 奥山勝太  
| FA | 桑原一成, 辻田大地, 岩田英樹  
| MBR | 遠藤亮哉, 荒川優右, 大竹匠, 前城拓海, 長尾美咲, 芳田充弘, 竹内駿, 森谷太一, 藤原雄生, 藤下誠基, 山根一将, 雑賀理矩



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black/Orange	<b>ENGINE</b> Kawasaki KX450JE
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 449 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 38.3 kW (52.1 ps) /7500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2800 mm/1453 mm/1174.7 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 42.1 Nm (4.3 kgf) /6800 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1720 mm/1240 mm/1240 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 175 kg/80.5 kg/94.5 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.3 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> FCC TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch OZ FSAE MG CAST 7×10 Wheel	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard willwood calipers (Rr) 2 outboard willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

### ●車の特徴とチームの抱負

REG16は、3ヵ年計画の最終年車両として、REG15のパッケージを受け継ぎ改良を行いました。サージタンクを搭載し、エンジン出力の改善を行いました。シングルゼッケン獲得を狙います。

### ●スポンサー

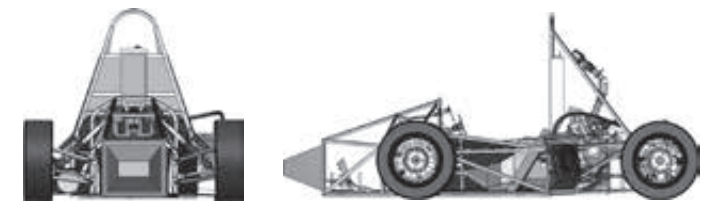
川崎重工業, イーコット, ソリッドワークス・ジャパン, ZION, Amazing Kart ISK, レーザーテック, 水田製作所, ノースヒルズ溶接工業, オーゼットジャパン, 日双工業, エクセディ, ゼネテック, アルテアエンジニアリング, 住友電装, VSN, トータルテクニカルソリューションズ, R'S DESIGN, 石原ラジエーター工業所, 協和工業, ワークスベル, コトラ, デンソー, トナミ電工, エフ.シー.シー, オクノグローバルテック, オーエスジー, 大阪フォーミング, 日立アステモ, ホンダテクノフォート, サムテック, イグス, 谷川電機産業, 日ポリ化工, ニフコ, 中島工業, 日本ヴァイグレイド, 久門紙器工業, プロジェクト・ミュー, 坂口製作所, 大阪パネ工業, 東洋電装, ジョブハッチ, CAST, 興研, 深井製作所, 日置電機, グループ・エム, エム・シー・エス

## Tokyo Metropolitan University

Formula TMU

### ●メンバー

| CP | 根上航聖  
| FA | 玉置元, 原口和也  
| MBR | 池邊直人, 持木浩太, 久万田峻, 植田優, 川口結子, 瀬戸口拓也, 藤本周真, 伊東慧, 金丸巧, 川村昌範, 國松誉, 宮川加那斗, 堀内龍, 若林大揮, 中原匠真, 皆川草太, 吉田迅杜, 濱田房俊, 一柳良



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> 70 ps/11000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2850 mm/1435 mm/1257 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 5.4 kgf/9000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1640 mm/1250 mm/1205 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 270 kg/120 kg/150 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 6.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double wishbone suspension, Direct acting (Rr) Double wishbone suspension, Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5×7.0-13 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C TRAC LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch RAYS TE37	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Nissin Calipers (Rr) 2 outboard Nissin Calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

### ●車の特徴とチームの抱負

コンセプトを「力動」と定め、車両剛性や冷却性能、ドライバビリティの向上を目指して開発をしました。全種目を力強く走り切り、総合得点400点を達成するためにチーム一丸となって大会に臨みます！

### ●スポンサー

本田技研工業, デンソー, ホンダドリーム八王子, 富士精密, ミスミグループ, サウスコ・ジャパン, ニフコ, レイズ, 日本ドライケミカル, IRS, 榎本機工, ファーストモールドディング, 佐々木工業, 東京アルアンドデー, ソリッドワークス・ジャパン, 市光工業, 協和工業, 協永産業, 大河内金属, パーソルクロステクノロジー, 株式会社プロト, ディーブステージ, NOK, 富士電機機器制御, 太平洋精工, ハイブリッジ, 住友電装, エフ・シー・シー, 国美コマース, Linkman, ハイレックスコーポレーション, 配線コム, キノクニエンタープライズ, RAC, 和光ケミカル, 江沼チエン製作所, 日立Astemo, ビーエムシー, 伊東NC工業

27

## Hookaido University

FormulaSAE Hokkaido Team

### メンバー

| CP | 細田雅人  
| FA | 小川英之, 田部豊, 柴田元  
| MBR | 高橋秋成, 貴井悠太郎, 河田飛悠吾, 濱村淳之介, 原田空翔, 勝野凌世, 小出照瑛, 木村宗貴, 横山達己, 佐藤虹太, 宮坂夏輝, 渡邊有, 大月高寛, 山岸凌大, 鳥居塚みはね, 布澤友徳, 大橋巧宗, 井出愛都, 大塚清順, 安田拓真, 森健人, 別役翼, 小山内蛭太, 宮崎聖也

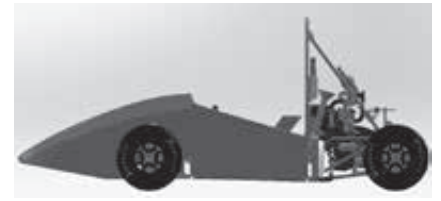


### 車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「整備性、操作性、製作性の向上」で、足回り部品や冷却系の見直し等を行いました。全種目の完走を確実にものにするべく、チーム一丸となって頑張ります！

### スポンサー

本田技研工業, トヨタカラー札幌, 帝北自動車, AIS北海道, MSF, 榎葉鉄工所, 北海道シャーリング, エフシーシー, レーザマックス北海道, DMG森精機Digital, ジーエーティー, アネブル, エンケイグループ, 日立Astemo, タイコエレクトロニクスジャパン, ミスミ, 深井製作所, ダイヘンテック/サポート, デンソー, IDAJ, 富士精密, トヨタレンタリース札幌, 旭化成建材, 協和工業, 深井製作所, いすゞ北海道試験場, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークスジャパン, 神戸製鋼所, 石川金属製作所, igus, ミネベアミツミ, 石原金属化工, 日本発条, NTN, ワークスベル, DMM.com.make, アルテアエンジニアリング, サウスコ・ジャパン, SHORAI JAPAN, 住友電装, プラビッシモ, 日本ワイアイグレイド, Math Works Japan, 三協ラヂエーター, サム・ジャパン, 太平洋フェリー, 新千歳モーターランド, ラフォーレ環境研究所, 東京アイデアル, D.I.D, エービーシー, 三菱マテリアル, 北海道職業能力開発大学校, 北海道工学系ワークショップ, FHT OB会



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> green and black	<b>ENGINE</b> PC40EHONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 50 ps/9500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2995 mm/1476 mm/1260 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 9.5 kgf/6500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1793 mm/1293 mm/1293 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 240 kg/108 kg/132 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18.0/6.0-10 R25B Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch ENKEI SF-01	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Hitachi Astemo calipers (Rr) 1 inboard Hitachi Astemo calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Two Pedals

28

## Honda Technical College Kansai

HTEC-W Formula Club

### メンバー

| CP | 舊谷航希  
| FA | 神通邦彦, 木村泰之  
| MBR | 福田凌雅, 海田祥汰, 石川優, 岡村拓実, 田中涼太, 松本大輝, 星原颯一, 阪上貴之, 稲田圭将, 池本敦哉, 市原海, 上川慶, 田中光輝, 小畑歩夢, 涌嶋琉衣, 井上翼, 三宅優永, 松本太, 及川康平, 上田翔太, 佐野優希

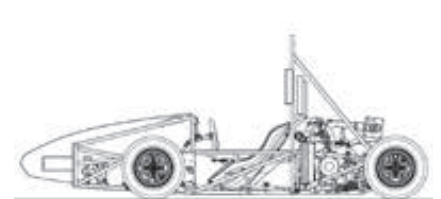


### 車の特徴とチームの抱負

車両は、昨年苦しんだ振動や騒音の問題によるリタイアを防ぐために4気筒エンジンに変更しました。クラブ部活になってから2回目の大会ですが、前回の反省を生かして少しでも成長できるよう努力していきます。

### スポンサー

本田技研工業, 日立Astemo, NTN, 川上製作所, エフシーシー, ホンダテクノフォート, ハイレックスコーポレーション, 八千代工業, アルテアエンジニアリング, オイレス工業, 山王テック, 深井製作所, IPG Automotive



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white	<b>ENGINE</b> PC37E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 50 kW (68 ps) / 10000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2951 mm/1436 mm/1196 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 60 Nm (6.1 kgf) / 6700 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1760 mm/1230 mm/1170 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 220 kg/105 kg/115 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 6.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm (Rr) Double unequal length A-arm	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18.0/6.0-10 LCO Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch watanabe	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 Pods floating (Rr) 4 Pods fixing
	<b>UNIQUE FEATURES</b>



## Tokyo University of Science

TUS Formula Racing



### メンバー

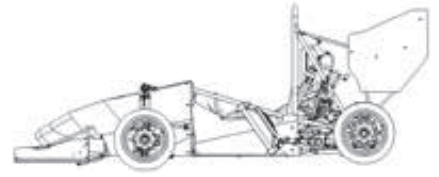
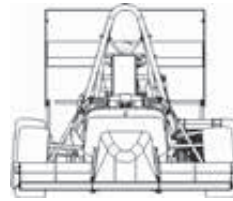
| CP | 宮本恭太  
| FA | 岡田裕, 早瀬仁則, 松崎亮介, 高橋昭如  
| MBR | 石川晴太, 村越健吾, 佐藤凜, 肖健, 柳澤歩, 田中祐里奈, 石黒隼人, 中江翔太郎, 江頭慧, 中井大翔, 加藤丈翔, 木村遼太, 平光俊作, 阿出川航, 阿部祐伽志, 井出直希, 潮航太, 小田脩平, 佐藤天哉, 高橋洸太郎, 水嶋海, 山岡由享, 高田隆希, 斎藤来輝

### 車の特徴とチームの抱負

今年マシンでは昨年度まで上手に活用することのできていなかったフルコンピューター ECU による制御を存分に活用し、上位入賞をチーム一丸となって目指していきます。

### スポンサー

本田技研工業, 昭立製作所, 栄鋼管, エヌ・エム・ビー販売, 日本発条, ニッパツ機工, セット・エフ・ジャパン, アネブル, サイアン, コンチネンタル・オートモーティブ, アルランドデー, 協和工業, ワークスベル, オーゼットジャパン, コスモ精密, 大成プラス, 株式会社旭スプリング製作所, オートマックス, ホンダテクノス, 井上鉄工所, セキダイ工業, 日本精工株式会社, 江沼チエン製作所, IKO 日本トムソン, 公進ケミカル, コバックス, フューチャーテクノロジー, 旭化成建材, Oxeon AB, エステーリンク, ポリブラ・エボニック, サンワトレーディング, 大竹製作所, 佐藤真空, ケー・ケー・ヴィー・コーポレーション, ハイレックスコーポレーション, 日立アステモ, レアーズ, プラスミュー, フジコーポレーション, 都ステンレス工業, NOK, 社深井製作所, シールドエアー, キャロッセ, ダイヤモンドエンジニアリング, 不二 WPC, HKS, HKS テクニカルファクトリー戸田店, スーパーオートバックス湘南平塚店, デンソー, ファソテック, 丸紅情報システムズ, 三恵技研工業, 近藤科学, エムエフマツモト, トップラインプロダクト, ニコル・レーシング, マレリ, 和光ケミカル, 日本オイルポンプ執行工業, 住友電装, 社センサータ・テクノロジーズ ジャパン, ベア, 富士精密, キノクニエンタープライズ, 水戸工機, ロブテックス, イグス, ニフコ, 日本プレート精工, 堀越精機, 新羽金属工業, ソリッドワークス・ジャパン, アンシス・ジャパン, アルテアエンジニアリング, IPG Automotive, IDAJ, 日産自動車, ジュニアモーターパーククイック羽生, シティカード, 日本自動車大学校 (NATS), 新東京サーキット, ユーロポード, 神戸製鋼所, 三和メッキ, 東京理科大学工作室, 東京理科大学こうよう会, 東京理科大学OB・OG, 東京理科大学校友会理窓会, 東京理科大学野口研究室, 自動車技術会



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b>	black and pink	<b>ENGINE</b>	PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b>	steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b>	599 cc
<b>MATERIAL</b>	CFRP	<b>MAX POWER</b>	39.4kW (53.6 ps)/10000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b>	3200 mm/1500 mm/1206 mm	<b>TORQUE DESIGN</b>	40.2 Nm (4.10 kgf)/7200 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b>	1750 mm/1300 mm/1300 mm	<b>INDUCTION TYPE</b>	Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b>	226 kg/94 kg/132 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b>	4.3 L
<b>SUSPENSION</b>	(Fr) Double unequal length arm Push rod (Rr) Double unequal length arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b>	Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b>	205/470R13 C16 Continental	<b>DIFFERTIAL</b>	LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b>	13 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b>	(Fr) Inboard Floating $\phi$ 190 t 5.0 Stainless steel Wave (Rr) Outboard Floating $\phi$ 220 t 5.0 Stainless steel Wave
		<b>UNIQUE FEATURES</b>	Full-computer ECU control of various things

## College of Industrial Technology, Nihon University

CIT-Racing Team



### メンバー

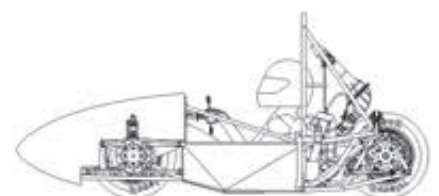
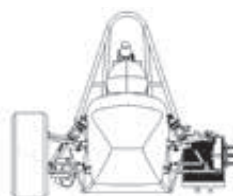
| CP | 小林陽太  
| FA | 風間恵介  
| MBR | 土屋宙輝, 馬場湧大, 岡田快士, 遠藤優太, 千葉橋平, 樋渡仁士, 土生柚佑, 高橋颯太, 田川雄基, 広川源之助, 生田裕大, 雪田楓斗, 山口義久, 岡崎真翔, 王燦翔, 梅澤蓮, 伊坂智輝, 塚原健太, 清松拓也, 渡部智仁

### 車の特徴とチームの抱負

私たちは、「The Zeke」をコンセプトに、軽量化による優れた運動性能と低燃費を実現する車両の開発を目指しました。今年度は全種目完走を目指し、チーム一丸となって取り組んでいきます！

### スポンサー

本田技研工業, ソリッドワークス, 日立Astemo, 神戸製鋼所, 三五, ストーブリ, WADA WELDING, Sakata Designers, デュボンスタイロ, 協和工業, 新東京サーキット, ナック・ケイ・エス, キノクニエンタープライズ, NOK, グループ・エム, アネブル, 重松製作所, 不二越, 江沼チエン製作所, サンエイ化学, トライボジャパン, ザム・ジャパン, オートデスク, IPG Automotive, タイヤフィッティングサービス, 日本ドライケミカル, 住友電装, BOSCH, オートランドテクノ, プロスタッフ, 日本精工, 東京R&D, 協永産業, 三和ニードルベアリング, オーゼットジャパン, NTN, ファーストモルディング, ハイレックスコーポレーション, トヨタレンタリース千葉, M-WORKS, エスユーエス, ザム・ジャパン, トライボジャパン (MOTY'S), Dropbox, MathWorks, イグス, エフ・シー・シー, ハードロック工業, ゼリオコーポレーション, ワールドウォーク, オートマックス, ウエストレーシングカーズ, Ins-R, ガクセイ協賛.com運営局, ファロージャパン, デンソー, サウスコ・ジャパン, 三協ラジエーター, 三和ニードルベアリング, 大成技研, ワークスベル, 堀越精機, 東北ラヂエーター, ミスミグループ本社, パール技研, アルファエネフオーメーション, パーソルクロステクノロジー, イトウ, マイナビEdge, FCデザイン, サイマコーポレーション, フラワーペイメント, ファソテック, スズキ機工, 深井製作所



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b>	red line on blue	<b>ENGINE</b>	PE07E HONDA CRF450RX
<b>FRAME CONSTRUCTION</b>	spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b>	449 cc
<b>MATERIAL</b>	steel	<b>MAX POWER</b>	49 kW (ps)/9000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b>	2572 mm/1210 mm/1160 mm	<b>TORQUE DESIGN</b>	4.2 Nm (kgf)/5500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b>	1580 mm/1210 mm/1210 mm	<b>INDUCTION TYPE</b>	Naturally aspirated
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b>	215 kg/103.2 kg/111.8 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b>	3.6 L
<b>SUSPENSION</b>	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b>	Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b>	13 inch OZ Racing 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b>	F.C.C. LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b>	13 inch OZ Racing 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	<b>BRAKE SYSTEM</b>	Nissin calipers (Fr) 2 outboard (Rr) 2 outboard
		<b>UNIQUE FEATURES</b>	

32

## Shibaura Institute of Technology

Shibaura Institute of Technology Formula Racing



### メンバー

| CP | 外山巧輝

| FA | 渡邊大, 斎藤寛泰

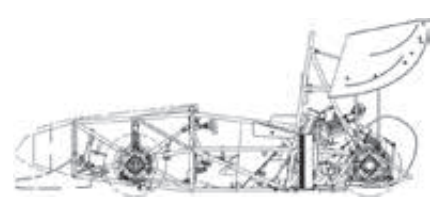
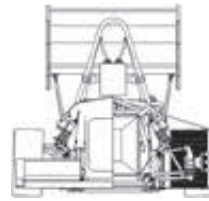
| MBR | 磯島旦, 長田実森, 福田真弘, 幕田航平, 末次健吾, 西山和樹, 大平晴翔, 黒光広生, 飯塚由, 森田智典, 岩瀬涼太, 高橋拓己, 中村晃太郎, 小倉彩芽, 五十畑敦史, 森本裕河, 岳本莉紗, 忠井栄作, 石川大之進, 西島拓希, 棚橋宏太, 寺谷真龍, 阿部侑大, 戸崎晃矢, 梅津浩介, 船井孔聖, 山口聡太, 宮阪健伸, 川平海理, 白崎稜, 網島諒, 中田真凜, 斎藤瑞季, 小林和幸, 稲村玲音

### 車の特徴とチームの抱負

私たちは「小型・低重心」を車両コンセプトに、俊敏性とコントロールのしやすさを両立したマシンを目指して設計、製作を行ってきました。大会ではチーム一丸となって好成绩の獲得を目指します。

### スポンサー

アーク, アイル, アネブル, アルテクノ, AVO/MoTeC JAPAN, エスアイテック, NOK, 江沼チエン製作所, エムエスリーソフトウェア, エンケイ, 金子製作所, 関東工業自動車大学校, キノクニエンタープライズ, 協和工業, Quon Technology, サイアン, 鷗宮製作所, ザム・ジャパン, 三協ラジエーター, 芝浦工業大学後援会, ジュニアモーターパーク クイック羽生, 住友電装, 積水化成成品工業, 大省工業, ティン, テセック, 東亜, 東京アールアンドデー, 東京チタニウム, 日進工具, 日鉄めっき鋼管, ニフコ, ハイレックスコーポレーション, ハマノ, 日立Asterno, 深井製作所, プロスタップ, ヘラマウント, ボッシュ, 本田技研工業, 松尾製作所, ミネベアミツミ, ワークスベル, 和光ケミカル



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black & Yellow	<b>ENGINE</b> PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP, Aluminum	<b>MAX POWER</b> 46.9 kW (63.8 ps) / 9800 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2768 mm / 1228 mm / 1180 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 50.0 Nm (5.1 kgf) / 7500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1570 mm / 1060 mm / 1060 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 202 kg / 86.9 kg / 115.1 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 LCO Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> DREXLER LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch Enkei SF-01	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Willwood calipers (Rr) 2 outboard Willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> MoTeC M84 Front and Rear Anti-roll bers

33

## Tokyo City University

Mi-Tech Racing



### メンバー

| CP | 本宮一稀

| FA | 三原雄司

| MBR | 箕田賢太郎, 宮島泰幸, 横田理音, 大槻拓真, 横森蒼司, 古溝竜都, 市村凌裕, 明東奏吾, 上條理久, 物部雅也, 阪口春樹, 原田晃介, 正木英吾, 益子翔貴, 物袋和輝, 羽立凱斗, 鈴木栄士, 米倉大生, 茂木直也, 木下斐唯稜, 松下陽翔, 佐々木隆成, 平田大悟, 関祥太郎, 熊谷風吾, 伊林大汰

### 車の特徴とチームの抱負

今年度コンセプトの「旋回性向上」を実現するため、軽量化やレスポンスの向上に取り組みました。2019年度車両のパッケージを受け継いだ本車両で今年こそ完走を達成し、目標である総合順位15位を達成します。

### スポンサー

AVO/MoTeC Japan, IDAJ, IPG Automotive, KYOWA エンジニアリングラボラトリー, NOK, SUBARU, アネブル, イグス, ウィングス, エッチケーエス, オートリーダース, オートリブ, オスコ産業, クイック羽生, コダマコーポレーション, コンチネンタル・オートモーティブ, サイバネットシステム, サウスコジャパン, スズキ, ソケットセンター, ソリッドワークス・ジャパン, タシロ, バイオラックス, ハイレックスコーポレーション, プラスミュー, ペアレーシングサービス, マイスタークラブ, ミノルインターナショナル, モンスターエナジー・ジャパン, ヤマダレーシングサービスワタナベ, 伊藤精密密接工業所, 加藤製作所, 丸山ラジエーター工作所, 機親会, 京業バンド, 協和工業, 住友電装, 小原歯車工業, 城南キー, 深井製作所, 積水化成成品工業, 中村鉄工, 東京アールアンドデー, 東京プラント, 東京工科大学自動車大学校世田谷校, 東洋電業, 内燃機関工学研究室, 南デザイン, 日軽金アクト, 日研製作所, 日産自動車, 日立Asterno, 日本軽金属, 日本発条, 不二WPC, 不二製作所, 富士精密, 平山自動車工業, 北村工業, 本田技研工業, 和光ケミカル, ランドマークテクノロジー, APJ, 横山機構, 市光工業, 浜部品工業



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> PC40E HONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel Spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Aluminium	<b>MAX POWER</b> 76 ps / 10000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2954 mm / 1550 mm / 1234 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 5.5 kgf / 9500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1700 mm / 1290 mm / 1290 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally Aspirated
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 260 kg / 117 kg / 143 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 7.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm Pull rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18.0 x 7.5-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> Tenrace+ FSAE	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Nissin calipers (Rr) 2 outboard willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Ritsumeikan University

Ritsumei Racing

### ●メンバー

| CP | 堀井恒希  
| FA | 乾広久, 上芝生裕, 山末英嗣  
| MBR | 西村佳真, 前田眞之介, 上島有貴, 西和磨, キタガワトウキ, 坂野滉馬, 中舩僚太, 工藤凜和, 滝村優起, 塩谷心望, 磯崎佳大, 荒地宏朗, 松本侑己, 宮島直輝, 永大輝, 奥野史也, 山本涼介

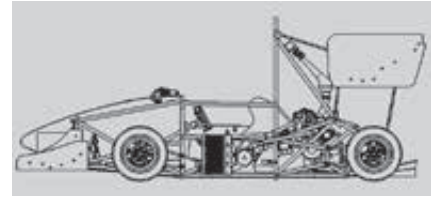
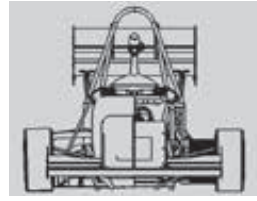


### ●車の特徴とチームの抱負

今年のマシンは10インチを成功させることを目標にしました  
チーム一丸となって頑張ります

### ●スポンサー

住友電装, Solid Works Japan, タマディック, 深井製作所, サンキン, サンコウ銅業, 津田常工業, 日本精工, がんさん, 梅村技研, 新日本創研, 三協製作所, デュボン・スタイロ, CAST, igus, ソフトウェアクレイドル, 石原ラジエーター工業所, トップラインプロダクト, スバルジャパン, エヌ・エム・ビー販売, エヌケーエヌ, 日本発条, 神戸製鋼所, アクセル, APJ, AUTO CRAFT Evolution, AVO/MoTeC Japan, バイク工房岩城, 江沼チエン製作所, 川崎重工, ミヤキ, トップラインプロダクト, 原製作所, 平和発条, エーティーエス, サンゲン, 徳島カム, IDAJ, オーファ, オカノプラスト, ノルトロックジャパン, ハイレックスコーポレーション, NOK, SOLIZE, 太平洋アルミ鋳造, MOTUL Japan, キノクニエンタープライズ



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> KAWASAKI ZX6R 2BL-ZX636G
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 636 cc
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX POWER</b> kW (ps)/rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> mm/mm/mm	<b>TORQUE DESIGN</b> Nm (kgf)/rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1700 mm/1250 mm/1250 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 220 kg/97 kg/123 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/7.5-10 LCO Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> ATS LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch OZ racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 out board Wilwood Calipers (Rr) 2 out board Wilwood Calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Fukui University of Technology

FUT Formula Project

### ●メンバー

| CP | 牧春海  
| FA | 土屋高志  
| MBR | 森永悠介, 東洋一郎, 柏木達葵, 北島知弥, 三田村拓哉, 今井悠人, 飯田稜, 北川卓弥, 出川萌華, 寅松大翔, 宮本宥雅, 中村有希



### ●車の特徴とチームの抱負

今年の車両は角パイプを多用し生産性を向上させるなどし、コロナ禍でのダメージにも負けず製作をしております。弊チームの目標は車検通過と全種目の完遂・完走を目指しています。

### ●スポンサー

本田技研工業, ティーエムシー, バーチャルメカニクス, ソリッドワークス・ジャパン, 宇野歯車工業, 福井工業大学



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b>	<b>ENGINE</b> PC37E HONDA CBR600RR
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> FRP	<b>MAX POWER</b> 69 ps/11500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2800 mm/1300 mm/1200 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 5.2 kgf/7500 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1850 mm/1150 mm/1210 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 99 kg/121 kg/220 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 10 inch BRAID 16×6.0-10 LCO Hoosie	<b>DIFFERTIAL</b>
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> BRAID STURACE 10" WHEELS	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Nissin calipers (Rr) 2 outboard Nissin calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>



# チーム紹介

Team Information

36

## Gunma University

Gunma University Formula Team

### ●メンバー

| CP | 新井綾馬  
| FA | 石間経章, 小山真司, 神尾ちひろ  
| MBR | 岡部隼大, 榎田玲麻, 佐々木悠太, 田村駿弥, 疋田悠真, 藤原杏平, 泉奏羽, 小嶋伯, 佐藤凜歩, 関口航平, 深堀幸仁, 金子慎之介, 佐藤琴平, 竹中亮, 永田晃大, 石川隼太郎, 小田朱莉, 村上大和, 櫻井万里弥, 堀越陸来

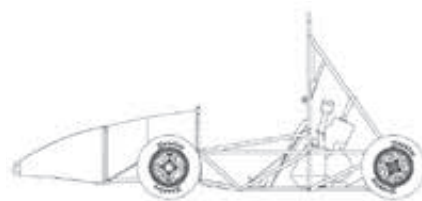
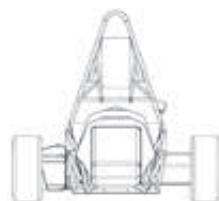


### ●車の特徴とチームの抱負

「軽トラに載るマシン」「優れた旋回性能を持つマシン」というコンセプトのもと、エンジンの安定化など、マシンの信頼性向上を目指した設計を行いました。チーム創立以来の車検一発合格 & 全種目完走を目指します！

### ●スポンサー

本田技研工業, 三立応用化工, 小倉クラッチ, 山田製作所, 鈴木機械, ジャオス, 矢島工業, 蔵前産業, ISK前橋店, エンケイ, RSR, 蛭間木工所, マエキ, みなかみ宝台樹リゾート, 関東精機, 共和産業, クイック羽生, SOLIDWORKS, 日立Astemo, エイチワン, キノクニエンタープライズ, 深井製作所, ミスミ, 下山製作所, 二渡合成, 日本精工, 三陽, 東京R&D, K&P Engineering



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> PE07 HONDA CRF450RX
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 450 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 22 kW (30 ps) /8500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2946 mm/1506 mm/1305 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 25 Nm (2.5 kgf) /8750 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1550 mm/1300 mm/1300 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Natural Aspiration
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 200 kg/90 kg/110 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Pull rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 18.0/6.0-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> differential lock
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch ENKEI SF-01	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (Rr) 1 onboard
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Can be carried by light truck

37

## The University of Kitakyushu

KF-works

### ●メンバー

| CP | 村瀬巧  
| FA | 吉山定見, 長弘基, 宮國健司  
| MBR | 池田一輝, 古庄彰, 岩崎翔太, 都留一成, 平岡拓樹, 木下佳久, 鎌山智史, 筒井祥太, 吉田力大, 西尾光也, 入学虎太郎, 岡本心真, 堀之内瑛代, 堀田武, 田中将栄, 上野智矢, 占部昭馬



### ●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトを「High Performance」とし、今年度車両「KF-09」ではフルモデルチェンジを実施した。今大会では全動的種目完走は勿論のこと、チームのオートクロス歴代最速記録の更新を目指す。

### ●スポンサー

カワサキモーターズ, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, 住友ゴム工業, ソフトウェアクレイドル, THK, トヨタレンタリース 福岡共立前店, ウエストレーシングカーズ, キノクニエンタープライズ, デュボン・スタイロ, 協和工業, 深井製作所, 和光ケミカル, 江沼チエン, 日立Astemo, オーゼットジャパン, 石原ラジエーター工業所, アルテアエンジニアリング, 住友電装, VSN, セネラルエンジニアリング, The Mathworks Inc, 日本発条, 北九州カートウェイ, 八幡自動車学校, 北九州市立大学国際環境工学部, 北九州市立大学機械システム工学科, 北九州市立大学国際環境工学部加工センター

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> White and Green, Aluminium Silver	<b>ENGINE</b> Kawasaki ER650AE (2017)
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 649 cc
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX POWER</b> 50 kW (68 ps) /7800 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2770 mm/1430 mm/1275 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 65 Nm (6.6 kgf) /6900 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1600 mm/1250 mm/1250 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 235 kg/101 kg/134 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 4.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 175/60R13 77H DUNLOP DIREZZA 03G (S5)	<b>DIFFERTIAL</b> LSD (F.C.C TRAC)
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Nissin caliper (Rr) 2 outboard Nissin caliper
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Two Pedals, Original Exhaust System

## Kindai University

Kindai Formula Project

### ●メンバー

| CP | 和氣優衣  
| FA | 梶原伸治  
| MBR | 木村敦, 高林駿, 深尾匠, 左右田光城, 内山由翔, 塩田大希, 松下祐侑, 岸本和也, 池田琢磨, 董錫騰, 水畑葵, 北島誠, 池端悠真, 中野譲太郎, 上田真希帆, 田中宏樹, 大西涼太郎, 佃遥斗, 北岡誠也, 澤田育弥



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> brack/yellow/red/blue	<b>ENGINE</b> ER650 Kawasaki
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 650 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass, Aluminum	<b>MAX POWER</b> kW (ps)/rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2730 mm/1548 mm/953 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> Nm (kgf)/rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1750 mm/1350 mm/1400 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 315 kg/204.8 kg/110.3 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 7.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Shaft Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5/7.0-13 R25B Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch RAYS, Volk TE37	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2pot floating calipers × 4 (Rr) 2pot floating calipers × 2
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Front Midship layout by S-FR Packaging. Variable Intake Funnel.

### ●車の特徴とチームの抱負

ビギナーからエキスパートまで誰もがドライビングプレジャーを味わえる車を追求し、今大会ではチームでは初となるS-FRパッケージングというフロントミッドシップのFRレイアウトの車の製作に挑戦しています。

### ●スポンサー

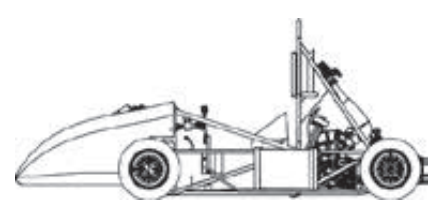
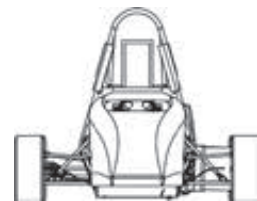
川崎重工業, エッチ・ケー・エス, 名阪スポーツランド, 日ポリ化工, 和光ケミカル, ソリッドワークス・ジャパン, 日立Astemo, レイズ, modis, レイシスソフトウェアサービス, パーソルクロステクノロジー, 大東ラジエータ, NTN

## Okayama University

Okayama University Formula Project

### ●メンバー

| CP | 山本祥哉  
| FA | 河原伸幸  
| MBR | 森健成, 村上武瑠, 小林健太郎, 三宅晴也, 藤井開, 湯原駿介, 尾西遥斗, 郎徳宇, 岡本陸, 中濱駿, 前原拓実, 山上雄大, 植田一輝, 太田悠斗, 古武大知, 小松俊慎, 服部光希, 清川想太, 塗谷翔平, 小西力夢, 辻琉翔, 中野純大, 安藤千隼, 石原義夫, 黒田蒼平, 武内義孝, 白井悠翔



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> green	<b>ENGINE</b> KX450
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 450 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 39 kW (ps)/10500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2772.5 mm/1525 mm/1052 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 42 Nm (kgf)/7000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1630 mm/1350 mm/1350 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 200 kg/90 kg/110 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 3.5 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0×6.0 R20Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (Rr) 2 outboard
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

### ●車の特徴とチームの抱負

今年度車両は、昨年度車両からの軽量化、信頼性の向上を目指して設計しました。動的種目完走を目指しチーム一丸となって頑張ります。

### ●スポンサー

内山工業, 岡山国際サーキット, カワサキモータース, RAC, RS-R, 日立Astemo, 石原ラジエータ工業所, イグス, 日本精工, エフ・シー・シー, オーエスジー, 日鉄物産メカニカル銅管, OptimumG, オリックスレンタカー, キノクニエンタープライズ, Lob-CASTinc, 協和工業, ケイマックススピード, 山陽レジン工業, 住友ゴム工業, ソリッドワークス, 東京測器研究所, 新興工業, 住友電装, 東日製作所, 東洋コルク, タイハツ工業, マリンフロード, 深井製作所, 日本発条, モリタアンドカンパニー, ラ・ストラダ, ライト電業, プラスミュウ, ロックペイント, 安田工業, 三協鋳造

# チーム紹介

Team Information

40

## Kanazawa Institute of Technology

Kanazawa Institute of Technology Yumekobo  
Formula Car Project



### メンバー

| CP | 良知聖淳

| FA | 権谷基

| MBR | 新玉将之, 笹井悠平, 宮沢友歌, 澤田大夢, 矢野杏磨, 山田夏生, 加茂大弥, 高原康平, 高橋脩生, 中村琉人, 倉上昂, 川崎一稀, 古田玄希, 三浦久季, 名畑晴琉, 仁木陽, 山岸柊太, 近嵐紹隆, 山本啓太, 蒔田拓未, 関谷俊喜

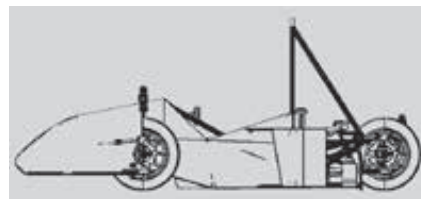
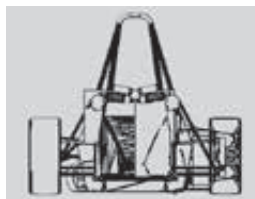
### 車の特徴とチームの抱負

今大会に投入するRS23は「ミニマル」というコンセプトのもとエンデュランスの完走に必要な最低限の性能を追求したマシンです。

昨年果たせなかったマシンの完成、動の出場を目標に今大会に臨みます。

### スポンサー

金沢工業大学夢考房, ウエダ, NTN, F.C.C., 協和工業, 石原ラジエーター工業所, スズキ, 住友電装, 大同工業, TAN-EI-SYA, TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY, トラップ, ミスミ, 日立Astemo, 深井製作所, 和光ケミカル, 岡島バイブ製作所, 日本発条, キノクニエンタープライズ, 丸開鉄工, 明宝ユニフォーム, ティーエムシー, ザム・ジャパン, 小松銅機, ウエストレーシングカーズ, プラスμ, ニフコ, CAST, 大和銅管工業, レゾニック・ジャパン, 茶谷鉄工所, ガレージ・ゴンイチ



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>ENGINE</b> SUZUKI GSX-R600 L5
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel sapceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 599 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-grass, aluminium	<b>MAX POWER</b> 55.1 kW (74.8 ps) /9800 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3092 mm/1405 mm/1182 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 56 Nm (5, 7 kgf) /9600 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1680 mm/1200 mm/1200 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 224 kg/105.28 kg/118.72 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 6.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double wishbone suspension, Push rod, Stabilizer with variable mechanism (Rr) Double wishbone suspension, Push rod, Stabilizer with variable mechanism	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5x7.0-13 R25B Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13inch TWS Mg Wheel	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Wilwood calipers (Rr) 2 outboard Wilwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Oil pan cut (50 mm height)

41

## Tottori University

Tottori University Formula Project



### メンバー

| CP | 渡部遥也

| FA | 河村直樹

| MBR | 谷口俊介, 渡邊改, 大戎優樹, 稲井寛人, 岩坂歩, 本郷良太, 井出葵, 梅崎航壮, 池田涼馬, 川井建人, 東脇光翼, 大井一輝, 引田翔, 間島千紗都, 寺澤伊織, 三宅直樹, 渡部大智, 寺山継介, 山田瑛介

### 車の特徴とチームの抱負

我々の車体のフレームは3年前に制作されたもので、今大会の車検に合格すれば4年ぶりの快挙となります。4年分の想いをのせて動的審査完走を目指します。

### スポンサー

ヤマハ発動機, プロテリアル, 鳥取大学工学部附属ものづくり教育実践センター, アズテック, 和光ケミカル, アルエス・アール, 日本発条, 日立アステモ, THK, 関ものづくり研究所, ヤマネ機械, エフ・シー・シー, ウエストレーシングカーズ, 鳥取砂丘 砂の美術館, バイクメーカーサービス, イナバ自動車学校, PLUS, ソリッドワークス・ジャパン, 協和工業, 銀座Mitaクリニック, ミライエ, ジェイワン名古屋デザイナーズ, イノセント



NO DATA

### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white and blue	<b>ENGINE</b> YAMAHA YZ450FX B19A (2017model)
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel Tubular space frame	<b>DISPLACEMENT</b> 449 cc
<b>MATERIAL</b> steel	<b>MAX POWER</b> 29.42 kW (40 ps) /9000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2460 mm/1497 mm/1216 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 3 kgf/7000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1675 mm/1280 mm/1280 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Natural Aspirated
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 225 kg/100 kg/125 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 8.1 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double wishbone, unepual length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented (Rr) Double wishbone, unepual length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented	<b>DRIVE TYPE</b> chain drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5/7.0-13/r20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13inci	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) NISSIN, Dual outboard calipers, 27 mm dia. Solid (Rr) NISSIN, Dual outboard calipers, 27 mm dia. Solide
	<b>UNIQUE FEATURES</b>



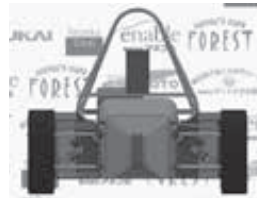
## Nishinippon Institute of Technology

NIT Formula

### ●メンバー

| CP | 杉野正一郎  
| FA | 眞田篤  
| MBR | 高田友将,北川創一朗

Japan



### ●車の特徴とチームの抱負

軽自動車のエンジンやドライブシステムを流用し、製作コストと工数を削減しています。私たちのチームはまだ大会での走行を達成したことがありませんが、皆様の前での走行を目指して頑張ります。

### ●スポンサー

ドライバースカフェ フォレスト,RACING GARAGE ENOMOTO,アートメタル産興,深井製作所,Teizoku Gikai, アネブル

### Technical Specs

**BODY COLOR**  
pastel blue

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
Fiber-glass, Plastic Honeycomb

**OVRALL L/W/H**  
2500 mm/1450 mm/1200 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1700 mm/1250 mm/1250 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
270 kg/125 kg/145 kg

**SUSPENSION**  
OHLINS CB400SF  
(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
DUNLOP 03G

**WHEELS (Fr/Rr)**  
14 inch

**ENGINE**  
K6A SUZUKI TA-MC22S

**DISPLACEMENT**  
658 cc

**MAX POWER**  
47 kW (64 ps) /6500 rpm

**TORQUE DESIGN**  
106 Nm (10.8 kgf) /3500 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Turbo

**FUEL TANK VOLUME**  
5 L

**DRIVE TYPE**  
Shaft Drive

**DIFFERTIAL**  
Genuine Product for SUZUKI WAGON R

**BRAKE SYSTEM**  
Genuine Product for SUZUKI WAGON R  
(Fr) Genuine Product for SUZUKI WAGON R  
(Rr) Genuine Product for SUZUKI WAGON R

**UNIQUE FEATURES**  
K-Car Engine unit

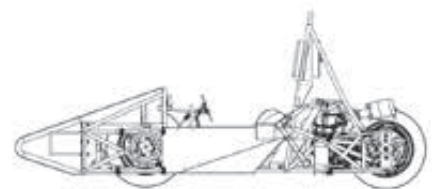
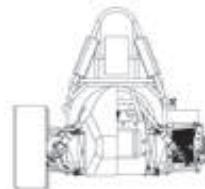
## Hiroshima Institute of Technology

HIT Formula Project

### ●メンバー

| CP | 宮田恭輔  
| FA | 吉田憲司  
| MBR | 松本理希,池田朝陽,砂原章一,本田晴樹,實久敬郁,川藤雄一郎,辻風馬,嶋本知隼,坂根海七渡,大下晴矢,丸山泰知,山脇颯太,横野登哉,加藤大和,西村拓真,大谷修也,中塚悠,合原大貴

Japan



### ●車の特徴とチームの抱負

今年度は、前年度までのCRシリーズの設計を継承しつつ、信頼性・ドライバビリティ・整備性の向上をマシン開発コンセプトに掲げ、新型マシン「HFR-01」を開発しました。新型マシンで全種目完走目指して頑張ります。

### ●スポンサー

広島工業大学,川崎重工業,FCデザイン,井原精機,上金物,スポーツランドタマダ,宮田スチール工業,ミスミ,イグス,ソリッドワークスジャパン,アルトナー,協和工業

### Technical Specs

**BODY COLOR**  
Black

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
GFRP

**OVRALL L/W/H**  
2674 mm/1275 mm/1148 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1565 mm/1085 mm/1060 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
196 kg/88.2 kg/107.8 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-arm Direct damper  
(Rr) Double unequal length A-arm Direct damper

**TYRES (Fr/Rr)**  
20.5/7.0/13 Hoosier R25B

**WHEELS (Fr/Rr)**  
13 inch WATANABE Wheel

**ENGINE**  
KAWASAKI KX450J

**DISPLACEMENT**  
449 cc

**MAX POWER**  
29.4 kW (40 ps) /9000 rpm

**TORQUE DESIGN**  
39.2 Nm (4.0 kgf) /7000 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Naturally

**FUEL TANK VOLUME**  
3.8 L

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
No Diff

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 onboard Nissin calipers  
(Rr) 1 inboard Nissin calipers

**UNIQUE FEATURES**  
Short Wheel Base

# チーム紹介

Team Information

44

## Meisei University

STAR2023

### メンバー

| CP | 林駿佑  
| FA | 川原万人, 小山昌志, 宮本岳史  
| MBR | 指田祐貴, 森田啓介, 田中平蔵, 石川駆, 岩瀬蒼太, 小山内晃太, 村田悠輔, 星佑汰, 井岡篤也, 小泉駿介, 疋田琉海, 佐々木惟吹, 粟生田右京, 金子小太郎, 出浦陽大, 青木あさひ

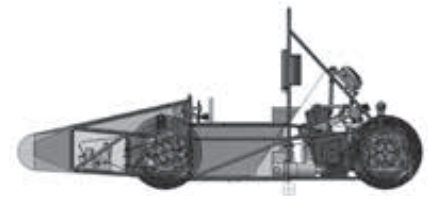


### 車の特徴とチームの抱負

我々の目標は今年の大会でIC部門の順位で25位以上を獲得することです。そのためすべてのイベントにおいて完走することを目標にしています。サスペンションのスプリングレートをバネ上共振周波数から算出しています。

### スポンサー

ヤマハ発動機, ジーテック, 佐々木工業, 太陽メカテック, 三協スプリング製作所, SOLIZE Products, 深井製作所, イグス株式会社ベアリングプロダクト, ゴム・ジャパン, アールエーシー, アネブル, 小島製作所, スチロ化学工業, サイサン, 坂西製機, WEST RACING CARS CO, エフ・シー・シー, 情報技研, オーヴァーレーシングプロジェクト, VSN, セネラルエンジニアリング, ストープリ, SUS, NTTデータエンジニアリングシステムズ, トータルテクニカルソリューションズ



### Technical Specs

BODY COLOR	white	ENGINE	M416E YAMAHA
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	DISPLACEMENT	688 cc
MATERIAL	STKM11A	MAX POWER	53 kW (73 ps) /9000 rpm
OVRALL L/W/H	2935 mm/1336 mm/1317 mm	TORQUE DESIGN	67 Nm (6.9 kgf) /6500 rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1600 mm/1200 mm/1200 mm	INDUCTION TYPE	Naturally
WEIGHT (Fr/Rr)	360 kg/100 kg/260 kg	FUEL TANK VOLUME	3.56 L
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE	Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)	Yokohama, A005, 13"-160/55	DIFFERTIAL	Salisbury
WHEELS (Fr/Rr)	Yokohama, A005, 13"-160/55	BRAKE SYSTEM	(Fr) 4 outboard Brembo, 20.6950.21/P32G (Rr) 2 outboard Brembo, 20.6950.21/P32G
		UNIQUE FEATURES	Monoshock System, Machining Diffbox

46

## Shonan Institute of Technology

SIT formula project

### メンバー

| CP | 前田仁史  
| FA | 小島一恭  
| MBR |



### 車の特徴とチームの抱負

製作しやすく扱いやすい車を目指しました。  
動的審査出場と完走を目指します。

### スポンサー

本田技研工業, プライザ

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

BODY COLOR		ENGINE	PE07E
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	DISPLACEMENT	450 cc
MATERIAL		MAX POWER	kW (ps) /rpm
OVRALL L/W/H	mm/mm/mm	TORQUE DESIGN	Nm (kgf) /rpm
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	mm/mm/mm	INDUCTION TYPE	Naturally
WEIGHT (Fr/Rr)	kg/kg/kg	FUEL TANK VOLUME	L
SUSPENSION	(Fr) (Rr)	DRIVE TYPE	Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)		DIFFERTIAL	
WHEELS (Fr/Rr)		BRAKE SYSTEM	(Fr) (Rr)
		UNIQUE FEATURES	

## Osaka Metropolitan University

Nakamozu Racing

### ●メンバー

| CP | 長尾優斗  
| FA | 瀬川大資, 片岡秀文  
| MBR | 袴田陽介, 黒田こころ, 田中悠斗, 松岡恭平, 山口晃平, 藤井あみ, 木村賢汰, 久安漣, 石井秀之介, 高尾陸斗, 久留宮菜生, 清水風汰, 田井昂, 大澤奎太, 吉村京一郎

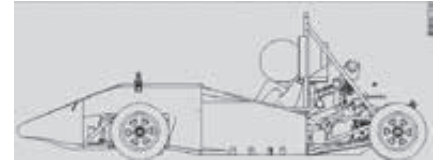
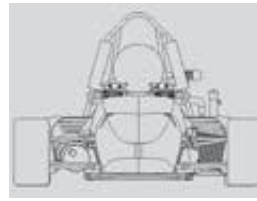


### ●車の特徴とチームの抱負

2019年に2度目の車両持ち込みを果たしましたがブレーキ審査で不合格でした。2022年大会は欠場しチームの立て直しを図りました。3度目の車両持ち込みとなる本大会では全種目完走を目指します。

### ●スポンサー

新城製作所, 三星製作所, 田中ステンレス, 住吉鋼管, タマックス, ソダ工業, エクセディ, ウェルドツール, エフ・シー・シー, ソリッドワークスジャパン, MathWorks, ソフトウェアクレイドル, 日本ヴイアイクレイド, アエンジニアリング, NTN, 日信工業, 日本発条, 武藤工業, 協和工業, エヌ・エム・ビー, 富士精密, タカタ, ウエストレーシングカーズ, 住友電装, プロト, 深井製作所, サム・ジャパン, オーゼットジャパン, AVON TYRES, ミスミ, イグス, プラスミュー, チェリオ, 大阪特殊バックリング製作所, 小泉製作所



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white	<b>ENGINE</b> Kawasaki ER650
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 649 cc
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX POWER</b> 69 ps/8500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2923 mm/1500 mm/1052 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 6.5 kgf/7000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1790 mm/1300 mm/1245 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Naturally
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 239.5 kg/110 kg/129.5 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.4 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> AVON 16.0×7.0-10	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C. TRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch 7J-15.5 woodbell	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard Willwood calipers (Rr) 2 outboard Willwood calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## Sojo University

Sojo project F

### ●メンバー

| CP | 押領司優虎  
| FA | 生田幸徳, 内田浩二  
| MBR | 時松恵大, 廣瀬航太, 田中宏樹, 中島誠, 林龍明, 高山侑葵, 赤星裕利, 森丈真, 高橋倫貴, 高島芸宗, 井上倅, 泉隆斗, 高山幸聖, 谷川友空音, 平田高士, 平田真己, 歌文浩, 鎌田恵伍, 陸江南



### ●車の特徴とチームの抱負

軽量化したことにより加速性能を向上と、コーナリングスピードを上げ、旋回性能の向上を図った。

### ●スポンサー

本田技研工業 ソリッドワークスジャパン, VSN, 協和工業, エ・シー・シー, 戸畑製作所, 不二ライトメタルタイムズカーレンタル近見店, 熊本アイ・ビー産業, ホンダテクフォート, 深井製作所, ゼネラルエンジニアリング, キノクニエンタープライズ, サイバネットシステム, 日信工業, 石原ラジエーター工業所, 住友電装, 池松機工



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> black	<b>ENGINE</b> PC40EHONDA
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>DISPLACEMENT</b> 600 cc
<b>MATERIAL</b> STKM-11A, Steel round Tube; 28.6 mm dia×2.3, 28.6 mm dia×1.6, 25.4 mm dia×1.2	<b>MAX POWER</b> 57 kW (ps)/12000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2970 mm/1491 mm/1148 mm	<b>TORQUE DESIGN</b> 52 Nm (kgf)/10000 rpm
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1600 mm/1270 mm/1270 mm	<b>INDUCTION TYPE</b> Natural Aspiration
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 124.2 kg/145.8 kg/270 kg	<b>FUEL TANK VOLUME</b> 5.0 L
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper (Rr) Double unequal length A-arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.CTRACK LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) solid, castiron, Hub mounted, 220 mm dia (Rr) solid, castiron, Hub mounted, 220 mm dia
	<b>UNIQUE FEATURES</b>



# チーム紹介

Team Information

49

## Tohoku Gakuin University

TGU FORMULA TEAM

### ●メンバー

| CP | 佐藤健心

| FA | 城戸章宏

| MBR | 阿部壮汰, 後藤大輝, 境大志, 庄司旭, 皆川紗蘭, 小田大介

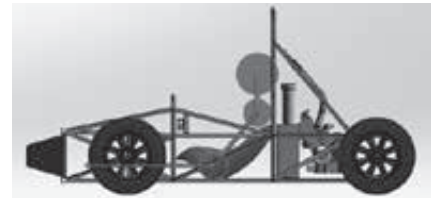


### ●車の特徴とチームの抱負

マシンの安全性を追求して、各部壊れにくい設計にこだわりました。今年が大会参戦初年度であるため、無事に車検を通して完走できるように頑張ります。

### ●スポンサー

HONDA, Astemo, Solid Works



### Technical Specs

**BODY COLOR**  
electric blue

**FRAME CONSTRUCTION**  
Steel Space Frame

**MATERIAL**  
STKM11A

**OVRALL L/W/H**  
2844 mm/1350 mm/1100 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1610 mm/1350 mm/1350 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
252.0 kg/110.9 kg/141.1 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) double wishbone, push rod  
(Rr) double wishbone, push rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
185/60R13 80 V Toyo Tires PROXES R888R

**WHEELS (Fr/Rr)**  
8 spokes, Alminum

**ENGINE**  
PC40E HONDA

**DISPLACEMENT**  
600 cc

**MAX POWER**  
89 kW (121 ps)/14000 rpm

**TORQUE DESIGN**  
64 Nm (6.5 kgf)/11500 rpm

**INDUCTION TYPE**  
natural

**FUEL TANK VOLUME**  
6.0 L

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive FCC

**DIFFERTIAL**  
N/A

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 outboard Team Original UNIQUE FEATURES  
(Rr) 2 outboard Team Original UNIQUE FEATURES

**UNIQUE FEATURES**

50

## Kanazawa University

Kanazawa Univ. Formula R&D

### ●メンバー

| CP | 小池光範

| FA | 榎本啓士

| MBR | 音川瑞貴, 小杉昂, 浅見光琉, 飯田侃, 孫浩迅, 堀江泰雅, 望月駿介, 稲垣聡一郎, 金田虎汰郎, 北山智也, 坂戸志帆, 祝部大旗, 俵矢俊太郎, 茅野雅也, 出口由人, 藤井宏一郎, 望月祐作



### ●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトである“Mobility to Defy Inertia”を達成するために、シャシーの剛性を高めました。大会経験のないメンバーのみで今大会に挑むこととなりますが、しっかりと準備を重ねて完走を目指します。

### ●スポンサー

アールエス・アール, アルテクノ, 石金精機, 石原金属化工, イグス, SP忠男, NTN, 江沼チエン製作所, エル・シー, 大野ゴム工業, 岡島パイプ製作所, 金沢工業会, 金沢大学, 金沢大学技術支援センター, キノクニエンタープライズ, CAST, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, 神戸製鋼所, コマツNTC, 小松銅機, ジーエーティー, ジョブハッチ, スズキ, スズキ部品秋田, 鈴木工芸社, スリーエムジャパン, タカササーキット, 高松機械工業株式会社, 茶谷鉄工所, ツゲプラス, THK, テクノマックス, デュボンスタイロ, 東實株式会社, 東日製作所, 轟産業, ナカニシ, ナック・ケイ・エス, 日新レジン, 日本ヴィアイグレイド, 日本キスラー, 日本グラスファイバー工業, 日本精工, ハネウェルジャパン, 阪神ネジ, ヒガシヤマ, 日立Astemo, 日向製作所, 深井製作所, 不二越, 富士シャフト, プレニー技研, プロト, MY CARS, 丸勝, 丸八, 森田工業, ヤマト, ロックファスナー, ロックペイント, 横山商会, 和光ケミカル



### Technical Specs

**BODY COLOR**  
blue and black

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel pipe spaceframe

**MATERIAL**  
Fiber-glass

**OVRALL L/W/H**  
2907 mm/1470 mm/1183 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1600 mm/1250 mm/1250 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
175 kg/79 kg/96 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Pull rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
18.0/6.0-10 R25B Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
10 inch

**ENGINE**  
RMX450Z (SUZUKI)

**DISPLACEMENT**  
450 cc

**MAX POWER**  
33.1 kW (45 ps)/9000 rpm

**TORQUE DESIGN**  
43 Nm (4.4 kgf)/6500 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Naturally

**FUEL TANK VOLUME**  
4 L

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
LSD

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 outboard  
(Rr) 2 outboard

**UNIQUE FEATURES**  
GFRP wing

## Prince of Songkla University

LookPraBida

Thailand



### ●メンバー

| CP | AsreeWaroh  
 | FA | WacharinKaewapichai, Mrs.ThanitaLoywirat, Teerajetchamrunw  
 | MBR | PiyaSuwanla-ong, KanyaratSaro, SatchukornJansritong, ChaiwatSittib  
 ut, ChatchawanTanchotikul, TeekathatSukhavisit, PatipolOthongkam, PanidaTho  
 ngnoi, PornananNillaart, KraiphumKaewkamkruea, NatthawutRaksapon, Tanado  
 nRungprai, SutatibBunraksa, PuritasSuwanprom, AreesunRungkitprasert, AlifYe  
 edama, ChotikaSujaritpukdee, KantapitMeetam, VittawongJailuk, PasinSeajong,  
 ChananyaOn-thong, ChalisaPuwaphat

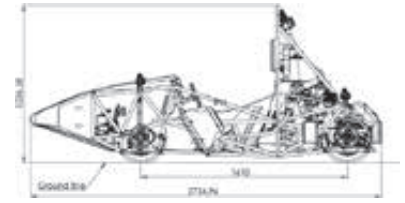
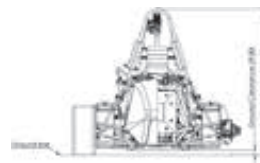


### ●車の特徴とチームの抱負

The design of the car focused on weight reduction, increased horsepower and lateral mechanical grip. If analyzed down to lap time sensitivity, it was found that the most influential variable in reducing lap time by 10% was the mass of the car, followed by Horsepower, followed by Lateral mechanical grip. By the way, our team expects to be ranked 1 in 10 of the competition.

### ●スポンサー

Faculty of Engineering, ENG.PSU ALUMNI, Prince of Songkla University, MAKOTO-SAN, next hop, Modulo produced by Honda Access, SKF, CLPI, Tozzhin, Kawasaki, ETH Remap, igus, Milwaukee, Songkhla Speedway, KISSsoft, NTN, rapidHARNES, ASAHI, CH. JARERNKANCHANG, Hatyai Car Trainer, LIQUI MOLY, NEXZTER, PSP, Monogram, Wuerth, PPD Racing, Henkel, KL, BOSCH, wdi



### Technical Specs

**BODY COLOR**  
blue & black

**FRAME CONSTRUCTION**  
Tubular space frame

**MATERIAL**  
STKM 13B carbon steel tube

**OVRALL L/W/H**  
2735 mm/1427 mm/1226 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1610 mm/1236 mm/1236 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
216.9 kg/89.1 kg/127.8 kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-Arm  
(Rr) Double unequal length A-Arm

**TYRES (Fr/Rr)**  
16.0×6.0 - 10 inch LCO Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
10 inch OZ Racing

**ENGINE**  
KAWASAKI Z650

**DISPLACEMENT**  
680 cc

**MAX POWER**  
53 kW (72 ps) /8050 rpm

**TORQUE DESIGN**  
68 Nm (6.9 kgf) /6800 rpm

**INDUCTION TYPE**  
Naturally

**FUEL TANK VOLUME**  
4.4 L

**DRIVE TYPE**  
EK chain 520

**DIFFERTIAL**  
Spool

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) Outboard Hub mount, OD 179 mm, S50C  
(Rr) Outboard Hub mount, OD 179 mm, S50C

**UNIQUE FEATURES**  
Electric Throttle Control System, Tire Infrared Temperature Sensor (self-development), Pneumatic Gear Shift Dual radiator, Dual Muffler

## Khulna University of Engineering & Technology

KILO FLIGHT

Bangladesh



### ●メンバー

| CP | MdRahatuzzamanRoni  
 | FA | MohammadMashud, MohammadMashud, Md.Mohiuddin  
 | MBR | Md.JahidHasan, MusabbirAlMomit, Rokonurzzaman, NiazurRahim, Ab  
 dullaAlAhSun, JoyProkashDas, RezaENurSaif, MosharofHossain, SuvojitBaidya,  
 IshrakIbnZahid, SopnilAhmed, TanvirAhmedFahim, MDMUBTASINMONDOLNI  
 LOY, MdSamiulIslam, TituNath, IshratNajamAnamika, ArdaArefinNir, SalehAkram  
 Naife, MdToslim, SultanShaharea, SadmanSadik, TanjimShahriarShoumik, RafiA  
 hammad, MDNafiuUllas, MD.SunzidulIslam, AvijitDasPritom, MDAtikurRahmanS  
 aykat, Md.NabiurRahman, AmlanBiswas, ShahinurHasnatRahat, MDSamrajRah  
 man, AyazAlAbrar



### ●車の特徴とチームの抱負

### ●スポンサー

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

NO DATA

NO DATA

53

## Harbin Institute of Technology at Weihai

GW HIT Racing Team

China 



### メンバー

| CP | YuxuanSong

| FA | JianfengWang,NaYang,YongkaiJia

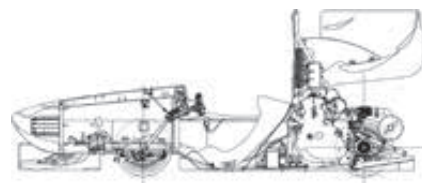
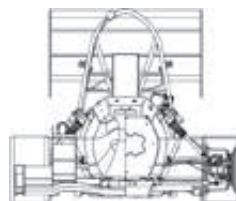
| MBR | KeweiQian,ZiyunGao,ZhengyangWang,JunjieTang,JingWei,YaoweiWu,ChengjiaYan,YixinShi,YangYang,YiranZhang,DezhiRen,YangLin,YujieZhao,WenjingLiu,XiChen,YimingZuo,LeyangLi,ChunWang,XiaoweiZhang,YuanjingGuo,DongzeWu,MiaoZhou,HongtaiWang,YueyangGuo,JinchengWang,QuanlinZeng

### 車の特徴とチームの抱負

This car inherits the design concept of lightweight and refinement, and strives for steady progress on the basis of mature design to achieve a balance between the performance and stability of the racing car. We hope to showcase the best level of this car in this FSAEJ competition. And we also glad to exchange and learn from automotive engineers from all over the world and make progress together.

### スポンサー

Weihai Guangwei Group Co.,Ltd.,Weichai Power Co.,Ltd.,HIOKI,WHEC,Guangzhou Asensing Technology Co.,Ltd.,Keller Environmental Equipment (Shanghai) Co.,Ltd.,COINROBOTICS, Hesai Technology Co.,Ltd.,BLT,Huahai Technologies,Super,melasta,Dezhou Carbon Fiber Composite Materials Co.,Ltd.,Changzhou Gaoyuan Advanced Materials Technology Co.,Ltd.,AOR,Taishan Fiberglass Inc.Huber+Suhner,Wells Advanced Materials,chroma,Tianjin Liandong Machinery Co.Ltd.,Jntitanti,Simulation SHOW,Tianchang Yuhao Instrument Equipment Co.,Ltd.,Ningbo Imake Industry & Trade Co.,Ltd.,Briggs & Stratton,Altair,YATO,ShanDong RongHe International Circuit,SNBC,motorex,Zhuhai CosMX Battery Co.,Ltd.,ELEKTRISOLA Dr. Gerd Schildbach GmbH,Shenzhen Jialichuang Technology Development Co.,Ltd.,iquotient-robotics,MOZA,Changlu



### Technical Specs

#### BODY COLOR

Blue & Bright Yellow

#### FRAME CONSTRUCTION

Monocoque

#### MATERIAL

CFRP

#### OVRALL L/W/H

2953 mm/1421 mm/1183 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1580 mm/1180 mm/1160 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

200 kg/94 kg/106 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double unequal length A-arm Push rod

(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

#### TYRES (Fr/Rr)

16.0/7.5-10 LC-0 Hoosier

#### WHEELS (Fr/Rr)

10 inch Self-made

#### ENGINE

KTM 690 Duke R2015

#### DISPLACEMENT

693 cc

#### MAX POWER

45 kW (61 ps)/7000 rpm

#### TORQUE DESIGN

65 Nm (6.6 kgf)/3000-5500 rpm

#### INDUCTION TYPE

Naturally

#### FUEL TANK VOLUME

4.2 L

#### DRIVE TYPE

Chain Drive

#### DIFFERTIAL

Drexler LSD

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard

(Rr) 2 outboard

#### UNIQUE FEATURES

Full-Body Carbon-Fiber Monocoque/Integrated Carbon-Fiber Steering Wheel/Electronic Shifter/Customized Remote Monitor and Data Hub/Ergonomics under Reverse Modeling

54

## Universitas Negeri Yogyakarta

Garuda UNY Team

Indonesia 



### メンバー

| CP | KesitBayuPurnomo

| FA | Sutiman

| MBR |

### 車の特徴とチームの抱負

### スポンサー

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

NO DATA

NO DATA



## Universitas Sebelas Maret

Bengawan Formula Student Team UNS

Indonesia



### ● メンバー

| CP | TegarAryoseno  
 | FA | Ubaidillah, AgungTriWijayanta  
 | MBR | RezaAbdulRahman, YusrilHafidhMuzakki, HendrawanPurnomoaji, BunayaAkhyarIbrahim, YosafatWidodoPutrautama, BagusChandraAriPambudi, JidhanAbdillah, SultanMaulana, BernardinoRealinoFerrarianoDelonSasongko, SaldiRamdani, AriefRezaAndraSaputra, AdikaMajaAlifUtama, RizqiInsanImannuaji, SatrioBagasPrimawardhana, MuhammadRizkiAlifulana, Daffa'RaihanFirdaus, AhsanAnugrahElbar, DhanyesWahyuArdyrizky, AldoDafino, SatriaAuliansyah, PramatyasidqiAuliaSarwanto, NaufalPutraPradana

### ● 車の特徴とチームの抱負

### ● スポンサー

NO DATA

NO DATA

NO DATA

Technical Specs

NO DATA

## Kasetsart University

Dongtaan Racing Team

Thailand



### ● メンバー

| CP | PariyesJiamjariyatham  
 | FA | PrapotKunthong  
 | MBR |

### ● 車の特徴とチームの抱負

### ● スポンサー

NO DATA

NO DATA

NO DATA

Technical Specs

NO DATA

# チーム紹介

Team Information

E1

## Shizuoka Institute of Science and Technology

SIST Formula Project EV



### メンバー

| CP | 今場大弥

| FA | 野崎孝志

| MBR | 岩品拓海, 亀岡千尋, 麻野間大悟, 古賀涼介, 五十嵐洋太, 夏目玲旺, 大塩歩夢, 石田遥飛, 今井啓心, 栗栖考平, 池谷太陽, 金井晴田, 柴田良介, 奥村聡斗, 安達佳祐

### 車の特徴とチームの抱負

今年度は車両コンセプトを「手足のように操れる車」として、低重心、高い操舵性能、軽快な加速性能を満たす車両を目指しました。今までのチームの弱点を分析し、対策することで、チーム歴代最高順位となる8位以上入賞を目指します。

### スポンサー

静岡理科大学, スズキ, ベルキャリアール, 東海理機, 紀伊國屋書店, 富士通エフサス, 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン, Yamada Power Unit, テクニカルサポート, ミスミ, デイトナ, 木村鋳造所, THK, トヨタモビリティパーツ, 日圧総業, オエティカジャパン, エヌ・エム・ピー販売, 太平洋精工, 大同工業, 樺葉鉄工所, 川崎工業, PLUS, ウメトク, サイトハウンド, アルテック, プレニー技研, CAST, ザム・ジャパン, 深井製作所, 協和工業, イグス, ソリッドワークス・ジャパン, MSCソフトウェア, キノクニエンタープライズ, 住友電装, フジコーポレーション, ウエストレーシングカーズ, アイ・アール・エス, センサータ, ユニバンス, ベルソニカ, ISK 浜名, 柴田車輛, NSKワーナー, マイナビEdge, HPI, 袋井市役所, 日立Astemo, 鳥居自動車



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Leyton Blue & Black	<b>MTOR TYPE</b> 3 Phase Surface Permanent Magnet motor
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 80 kW (108.77 ps)/3300 rpm
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX TORQUE</b> 230 Nm (23.45 kgf)/3300 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3037 mm/1466 mm/1112 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 403.2 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1700 mm/1250 mm/1250 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> LiCoO2
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 250 kg/112.5 kg/137.5 kg	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 7.1 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Chain Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 R20 Hooser	<b>DIFFERTIAL</b> LSD (DREXLER)
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10inch Keizer	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (MV AGUSTA) (Rr) 2 outboard (MV AGUSTA)
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

E2

## University of YamanashiEV

Yamanashi Formula R&D



### メンバー

| CP | 中野旭

| FA | 丹沢勉, 猿渡直洋

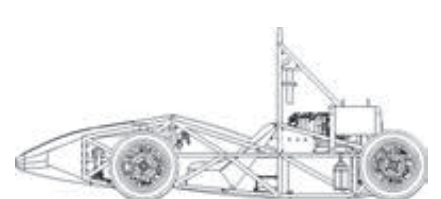
| MBR | 佐々木秀, 村田香月, 望月拓史, 青木順啓, 塚本大貴, 青木丈迪, 鈴木泰聖, グエンコンフィ, 玉井志穂, 小林丈留, 塩澤龍一, 浦野岳人, 佐藤優樹, 納本拓実, 秋葉一慶, 河原田春史, 鈴木裕斗, 白井稔, 中村勇堅, 多鹿弦, 坂本悠大, 秋山公助

### 車の特徴とチームの抱負

弊チームは本年度初めてEVクラスでの参加となります。DENSO製のモータ、インバータを搭載した車両で、EVでの大会初走行を目指します。

### スポンサー

デンソー, 共創, スズキ, FREE STYLE, REV, イズミインターナショナル, エンドレスハウザー山梨, オーゼットジャパン, おがた歯科医院, 笠井歯科医院, 金子歯車工業, エッチ・ケー・エス, エフ・シー・シー, オートボックスセブン, キャロッセ, ササキ, ティエムシー, ハイレックスコーポレーション, ハヤテ・コンサルタンツ, かいしゃ, ホンダテクノフォート, アナログ・デバイス, 矢崎総業株式会社, センサー・テクノロジーズジャパン, プロトラッド, イケヤフォーミュラ, 鷲宮製作所, 樺葉鉄工所, 中央技研, 協和工業, ポリテクセンター山梨, クリフ, サンキン, スポーツランド山梨, ソリッドワークスジャパン, トーヨーコーケン, 東京アルアンドデー, モーターイズム編集部, 日立Astemo, 日本発条, 藤精機, T.M.WORKS, マテックス, 昭栄精機, ニコレーシング, 中家製作所, セブナグループ, 山梨工業会, 山梨大学OB各位, 山梨大学教授様方, 山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センター, 中星工業, 土橋製作所



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Blue	<b>MTOR TYPE</b> Three-Phase AC Synchronous
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 37 kW (50.3 ps)/6500 rpm
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX TORQUE</b> 60 Nm (6.12 kgf)/0 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3050 mm/1485 mm/1280 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 400 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1850 mm/1280 mm/1280 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 265 kg/106 kg/159 kg	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 4.368 kWh
<b>SUSPENSION</b> 205/70/R13 Hoosier (Fr) Push rod type Double Wishbone (Rr) Push rod type Double Wishbone	<b>DRIVE TYPE</b> Shaft Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 205/70/R13 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZ Racing	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard calipers (Rr) 2 outboard calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

## The University of Tokyo

The University of Tokyo Formula Factory

### メンバー

| CP | 本澤悠介

| FA | 矢口雄大, 草加浩平, 藤森伸壮

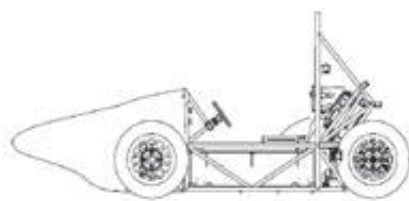
| MBR | 加藤准也, 五十子周太, 細見優騎, 世良田裕貴, 鈴木裕, 松岡泰雅, 戸井啓允, 陳博源, 遠藤知, 橋本宏熙, 小泉創世, 米田隼, 小杉耀刻, 志村優仁, 北村光流, 桑野竜乃介, 星野佳嗣, 樋場秀作, 嶋宏樹, 横田葉音, 古内拓輝, 八杉航平, 坂野綾帥, 名和大智, 國井奏, 宇野豪, 北島有悟, 小野甲太郎, 新原光太郎, 清水瞭, 高橋佑介, 山本瑠衣, 平田泰之

### 車の特徴とチームの抱負

EV転向初年度なのでまずは車検を通過し完走させることを第一に考えながら、ツインモータを導入するなど将来に繋がるパッケージでEVに挑戦します。開発に全力で取り組める環境に感謝し、大会に臨みます。

### スポンサー

水戸工業, CQ出版, dSPACE Japan, GSユアサ, IPG AUTOMOTIVE, NOK, SpaceAIR, THK, アイシン, アクサルタコーティングシステムズ, アナログデバイス, アルマジロ, イサムエアゾール工業, 石川インキ, エンジニア, オートデック, 金沢車輛, キノコエンジニアリング, 共創, クイック羽生, ケイテック, コトラ, 小松製作所, サウス・ジャパン, 三協ラジエーター, 重松製作所, 住友電装, センサータ・テクノロジーズ ジャパン, 太平洋精工, 高砂製作所, ティン, ディクセル, テクトロニクス&フルーク, デュボン・スタイロ, デンソー, 東鋼, 日本精機, 日本精工, 日立Astemo, 深井製作所, 福田板金, フジクラ, 富士精密, プロテリアル, プロトロード, マテックス, 矢崎総業, ローランド・ディー・ジー., 和光ケミカル, 生産技術研究所変形加工工学研究室, ものづくり部門, F.C.C., IDAJ, RK Japan, 互省製作所, ザム・ジャパン, 信濃工業, ファーストモールドディング, ミスミ, カワサキモータース, スズキ, Mathworks, OZ Japan, UDトラックス, 関東工業自動車大学校, ネットトヨタ富山, 豊国学園, マルミツ



### Technical Specs

#### BODY COLOR

blue green

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

CFRP

#### OVRALL L/W/H

2873 mm/1454 mm/1281 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1650 mm/1250 mm/1200 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

300 kg/135 kg/165 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double unequal length A-arm Pull rod  
(Rr) Rigid axle Push rod

#### TYRES (Fr/Rr)

20.5/7.0-13 R20 Hoosier

#### WHEELS (Fr/Rr)

13 inch OZ Racing

#### MTOR TYPE

Permanent magnet synchronous

#### MAX POWER

37 kW × 2 (50.3 ps × 2) / 6400 rpm

#### MAX TORQUE

60 Nm (6.12 kgf) / 0-5000 rpm

#### MAX SYSTEM VOLTAGE

403.2 V

#### ERECTRODE MATERIALS

Lithium nickel manganese cobalt oxides

#### COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY

3.65 kWh

#### DRIVE TYPE

Planetary Gear

#### DIFFERTIAL

N/A

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard Hitachi Astemo  
(Rr) 2 outboard Hitachi Astemo

#### UNIQUE FEATURES

Twin Motor

## Nagoya University

Nagoya University Formula Team FEM

### メンバー

| CP | 澤田侑典

| FA | 山本真義

| MBR | 山本悠奨, 吉川雄大, 福岡平士朗, 森本悠卯奈, 末永和也, 上野誠太, 丹羽啓太, 藤井一弥, 門上弘樹, 岩井貴駿, 金田季之, 橋橋拓夢, 河野楓雅, 星野光輝, 田中健太郎, 柴田海斗, 石附悠, 齋田拓実, 櫻井春友, Candelaria Caleb Johann Fernandez, 成田士馬, 山本照天, 桐山仁佑, 比嘉亮磨, 磯部有哉, 亀田龍平, 雪竹遼馬, 市川雄基, 杉本晴紀, 猪俣晴紀, 服部慎, 池口祥太, 野田和希, 浅野貴史, 一木賢志, 大場裕登, 田丸琉似, 鳥井友博, 藤原空, 山本悠真, 砂長昭宏, 山口和馬, 赤松駿, 宇井陸人, 俵木大輝, 大田秀真, 山田大翔, Luke Antonov, Davin Chandra, 葉展楓, 柿内啓輔, 山崎陸叶, 入山陽仁, 曾我剛, 小澤舜介, 栗田祐希, 長野圭造, 山岡蒼司

### 車の特徴とチームの抱負

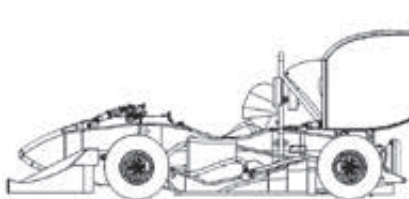
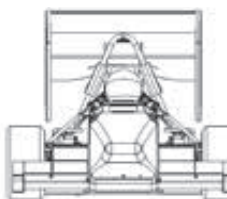
私たちは「EV初の総合優勝」を目指しています！

昨年は車検不通過により四輪独立カーボンモノコックの性能を活かせませんでした。

今年は優勝して日本一の車両であることを証明します。

### スポンサー

メイード, トヨタカスタマイジング&ディベロップメント, アイシン愛知産業, BOEING, Buzz agency, キャリアオ技研, ELECTROIMPACT, HOT, 日本積層造形, 日本インシュレーション, ミタテ工業, プロテリアル, SCT, 八十島プロシード, ACTIVE, AMK, ANSYS, ARRK, AW-E, BILLION, CAS T, dspace, ENEPAQ, HIBIKI, IJKO, JFG, JEMA, Jimdo, Mathworks, MOTUL Japan, JST, Next, NISSAN, Ozracing, PMC, RAMPF, SBGsystems, SHORAI, SolidWorks, SSモールド, TopLine, VERSUS, 瑞臨, VI-Grade, Worldwalk, ZEAL by TS-SUMIYAMA, アイセロ, 莫工機, アスベクト, アナログデバイス, アネスト岩田, アレスグループ, イグス, 岩井木型製作所, エレクトリックパワー, カーベック, 加藤製作所, キャステック, キョウセイ交通大学, コーケン, 小柳出電気商会, サカイオーベックス, サトープレス, 山田, サンステラ, シーシーアイ株式会社, ジェイテクト, 新日本創研, スーパーレジン工業, 水貝製作所, センサータ・テクノロジーズ, ジャパン, 太陽建機, レンタル, 大同DMソリューション, ツゲプラセ, デイトナ, テクニカル, テクノソリューションズ, 東レカーボンマジック, トヨタテクニカルデベロップメント, 中島特殊鋼, ニッカル商工, 日星電気, ノリタケカンパニーリミテド, 高世興業, ヒロセ電機, フォーティス, フジケン, プロテック, プロトロード, ベア, ポリプラスチックス, ホワイハウス, マキタ, ミスミ, ムトウエンジニアリング, メンター, ヤマカワ, ヤマハモーターパワープロダクツ, ユニクラフト, レゾニック, ローランドディー・ジー., をくた慶技研, 旭化成建材, 旭千代田工業, 岡島パイプアドヴァンステック, 瀧都製作所, 富士精密, 丸和機械, 岩倉溶接工業, 岐阜キヤー工業, 共和電業, 協和工業, 古河電工, 古藤工業, 呉工業, 幸田サーキット, YRP, 桐山, 高砂製作所, 佐藤木型製作所, 三光製作所, 芝ライン, 住友電装, 神戸製鋼所, 石原ラジエーター, 石野サーキット, 先進モビリティ学, 太陽ケールテック, 太平洋電気産業, 大山エンジニアリング, 大豊工業, 中川木型製作所, 中澤鋳造所, 東日製作所, 藤田操子工業, 藤本サービス, 日信工業, 日東工業, ニッポー, 日本キスラー, 日本バーカライジング, 日本軽金属, 日本精工, 日本発条, 矢崎総業, 精器商会



### Technical Specs

#### BODY COLOR

black

#### FRAME CONSTRUCTION

Composite Monocoque + Pipe frame

#### MATERIAL

CFRP + Honeycomb, steel pipe

#### OVRALL L/W/H

2785 mm/1225 mm/1190 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1530 mm/1225 mm/1225 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

220 kg/105.6 kg/114.4 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double A-Arm, Push rod, Coil-spring and Oil-damper, ARB  
(Rr) Double A-Arm, Push rod, Coil-spring and Oil-damper, ARB

#### TYRES (Fr/Rr)

18.0 × 7.5-10, R25B/R20, Hoosier

#### WHEELS (Fr/Rr)

10inch, 7inch wide O.Z Racing, Magnesium

#### MTOR TYPE

3 Phase AC Synchronous motor

#### MAX POWER

35.2 kW (47.8 ps) / 16000 rpm

#### MAX TORQUE

21 Nm (2.1 kgf) / 0 rpm

#### MAX SYSTEM VOLTAGE

596.4 V

#### ERECTRODE MATERIALS

Li-Po

#### COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY

5.254 kWh

#### DRIVE TYPE

All Wheel Drive

#### DIFFERTIAL

N/A

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard  
(Rr) 2 outboard

#### UNIQUE FEATURES

Four Wheel Drive



# チーム紹介

Team Information

E5

## Nagoya Institute of Technology

Nagoya Institute of Technology formula project



### メンバー

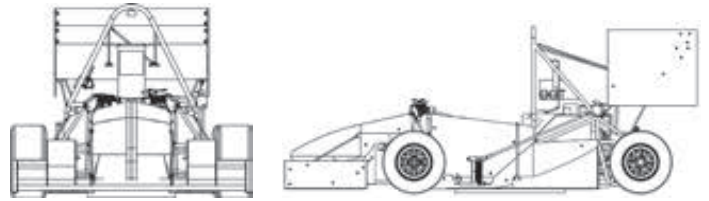
| CP | 小林恵成  
| FA | 北村憲彦  
| MBR | 鈴木喜彦, 松山寛子, 三輪麗王, 石井大翔, 佐野圭亮, 小関宗太郎, 近藤樹生, 越後海斗, 吉田健悟, 松井優太郎, 森川勇翔, 川合翼, 伊藤一志, 丸山和人, 福山青志, 正路将之, 井上由翔, 荒井蓮, 稲井裕一, 黒谷琉人, 佐野匠紀, 林祐稀, 間島莊, 西内陸, 大野木晴理

### 車の特徴とチームの抱負

弊チーム初のEV [N.I.T-21]は「uNITE 3F ~ Fast Familiar Future ~」のコンセプトの元、高い運動性、ドライバーとの親和性、将来性を兼ねそろえたマシンを目指した車両を開発しました。初年度での全種目完走を目指します！

### スポンサー

IPOS, 青山製作所, アネブル, アルテクノ, アルテック, イグス, 伊藤彰産業, 伊藤レーシングサービス, 岩倉ラヂエター商会, エイ・エム・シー, ATグループ, HPCシステムズ, エクシード, S.I.コントロールズ, エッチ・ケー・エス, エヌ・エム・ビー販売, NOK, NOKグループ, エヌティーテクノ, epilino, エフ・シー・シー, FCデザイン, エムエスシーソフトウェア, 大河内金属, オージーエヌ, 大塚製作所, 岡島パイプ製作所, カーベック, 加福製作所, 岐阜ギヤー工業, 共創, 協和工業, 共和電業, 呉工業, クロステック, コネクトジャパン, サードウェーブ, サカイオーベックス, サクラ工業, サノアック, ZEAL by TS-SUMIYAMA, SIX VOICE, ジェイテクト, サンコウ銅業, 信濃機販, ジャパンセンターリース, シングルハート, 伸光ケーシング, 神鋼ノース, シンフォニアテクノロジー, シンボリ, 杉浦製作所, スズヒロフォークリフト, スマートインプリメント, 住友電装, 積水化成成品工業, SMT, ソリッドワークス・ジャパン, 大同メタル工業, 大豊工業, 平プロモート, タマディック, チームルマン, ツゲブラセス, THK, dSPACE Japan, デイトナ, TIP composite 大阪事業所, 松本事業所, TEIN, ティラド, デンソー, 東海理化, 東京チタニウム, 東日製作所, トータルテックニカルソリューションズ, 東明エンジニアリング, ナカタ, 中日本精工, 中家製作所, 名古屋特殊鋼, 日信工業, 日本ヴィアイグレイド, 日本精機, 日本精工, ノックス電子, 野場電工, バイオニア風力機, ハイレックスコーポレーション, HILLTOP, 福田交易, プライザ, プレニー技研, PLUS, プロテクタ, プロト, ホーベック, ホワイトハウス, マスワークス, マテックス, 丸和機械, ミクニ, 美浜サーキット, クニモト, 美濃工業, 名東歯車, メイデー, モーター・トータル・サービス, 山一ハガネ, ヤマハ発動機, ユニバンス, 吉井資工業, ヨネブラ金型, Re:cosme, レーザテック, ワークスベル, 和光ケミカル, 巴会, 名古屋工業会



### Technical Specs

BODY COLOR	black	MTOR TYPE	IPMSM
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	MAX POWER	50 kW
MATERIAL	CFRP	MAX TORQUE	70 Nm
OVRALL L/W/H	2998.6 mm/1500 mm/1212 mm	MAX SYSTEM VOLTAGE	300 V
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1650 mm/1300 mm/1250 mm	ERECTRODE MATERIALS	Li-ion
WEIGHT (Fr/Rr)	286 kg/129 kg/157 kg	COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY	10.9 kWh
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE	Planetary Gear and Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)	18x7.5-10 R20 Hoosier	DIFFERTIAL	LSD (DREXLER)
WHEELS (Fr/Rr)	10 inch Keizer	BRAKE SYSTEM	(Fr) 2 outboard Wilwood Calipers (Rr) 2 outboard Wilwood Calipers
		UNIQUE FEATURES	Power Unit Change

E6

## University of Fukui

University of Fukui Formula Racing Club



### メンバー

| CP | 渡辺太陽  
| FA | 伊藤雅一  
| MBR |

### 車の特徴とチームの抱負

### スポンサー

デンソー, アナログデバイス, スズキ, 日立Astemo, SHORAI JAPAN, オーゼットジャパン, 茶谷鉄工所, AVO/MoTeC JAPAN, MathWorks, NOK, アルテアエンジニアリング, イグス, 宇野歯車工業, エイティーエス, エヌ・エム・ビー販売, オエティカジャパン, 江沼チエン製作所, 神戸製鋼所, 三五, 青山製作所, アネブル, オートショップ福井, カーネーション, キノクニエンタープライズ, センサー・テクノロジー ジャパン, ティエムシー, ハイレックスコーポレーション, ホクシン, 協永産業, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, ジャパンポリマーク, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 大同DMソリューション, タカササーキット, トヨタカラー福井, ナック・ケイ・エス, 日本発条, ヒロセ電機, 福井商工会議所, アキラックス, ツボカワ工業, 矢崎総業, 吉岡寺, ジーエス・ユアサ コーポレーション, タニダ, ニフコ, ワークスベル, 共和電業, 丸文通商, 福井大学先端科学技術育成センター, デュック福井, ノブレッセ, 福井県立科学技術高等学校, 鷺宮製作所, トヨタレンタリース福井, MOTUL Japan, 日本ヴィアイグレイド, フジキン, 富士精密

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

NO DATA

## Shizuoka University

Shizuoka University Motors

### ●メンバー

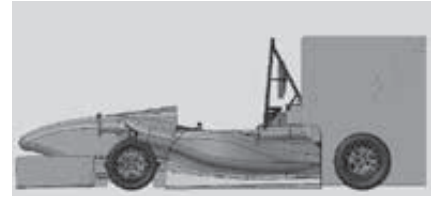
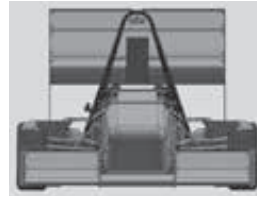
| CP | 山本聖真  
| FA | 福田充宏, 平城眞太郎  
| MBR | 岩原優希, 川井拓海, 小嵐拓馬, 村木魁吏, 荒屋敷玲樹, 田開創太, 寺沢耀生, 堀口颯空, 高村和己, 小北泰弘, 朝倉龍斗, 酒向なつき, 田村優樹, 上田純生, 塚本凌平, 高橋優輝, 野田健将, 山田達也, 稲葉洋, 海野貴裕, 小林建太, 森野裕太, 穴井皓, 鈴木瑞生, 近藤凜太郎, 阿部海帆, 岡本三千代, 吉田萌乃, 山形紘平, 福田蓮, 小見山隼稀, 林依吹, 上原光貴, 松田成永, 金本陸玖, 中川昂, 吉崎陽紀, 城田花夏, 佐々木桃那, 松崎心花, 安西彩恵, 水野陽太, 荒家陽斗, 杉浦豪, 與山陽夏, 雨宮唯大, 越後七音, 後藤純希, 廣政翔俐, 小笠原紘太, 松崎蒼士, 長谷川大, 鳥谷弦司, 浦山和, 久保和輝, 久保和輝, 鈴木快, 黒田亮太, 國友亮汰, 田中桃々音, 村木優太, 兒玉淳弥, 秋吉麗華, 清水大翔, 志釜洗平, 三上颯久, 平尾優翔, 海老原大輝

### ●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプト「発揮」とし、EVコンバート初年度により制約の多かった昨年度と打って変わり、加速・減速・旋回性能の向上を図りました。大会での我々の「走り」にご期待ください!

### ●スポンサー

ヤマハ発動機, アイエイアイ, アイゼン, IDAJ, AmazingKart ISK浜名湖店, 阿里山, アルテアエンジニアリング, アンシス・ジャパン, イグス, HPI, イケヤフォーミュラ, エコム, エステック, エフ・シー・シー, エヌ・エム・ビー販売, NOK, エヌアルエス, Electric Power, エヌティーツール, エンケイ, エンジュウ, 金子歯車工業, 木村鑄造所, 協和工業, 共和電業, 国本工業, 神津製作所, 桜井製作所, サンショウ, ジーアクト, ジー・ゾーン, 試作中村板金, 静岡大学次世代ものづくり人材育成センター, ジヤトコ, 榎葉鉄工所, 新日本特機, 新日本ホール, 杉浦金属, ススキ, 住友電装, センサー・テクノロジー・ジャパン, ソミック石川, ソリッドワークス・ジャパン, タイコエレクトロニクスジャパン, 太平洋精工, 大和化成工業, チームルマン, dSPACE Japan, ティエムシー, 帝人, デイトナ, digiCraft, 東海理機, 東芝デバイス&ストレージ, 東日製作所, 東北ラヂエーター, 童夢, トータルテクニカルソリューションズ, ニッポンレンタカー, ニフコ, 日本精機, 日本プラスト, 浜名湖電装, 浜名部品工業, ハマニ化成, 日立Astemo, ファソテック, 深井製作所, フジコーポレーション, プロトラッド, 兵神装備, ホンダテクノフォート, マキタ, 増田鉄工所, MathWorks, マテックス, マルイチ, ミスミ, メイドー, 矢崎総業, ユニバンス, ローランド ディー・ジー., 和光ケミカル



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Orange & Blue & Black	<b>MTOR TYPE</b> IPMSM, YAMAHA 50 kW proto, 1 unit
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 50 kW (68 ps)
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX TORQUE</b> 70 Nm (7.1 kgf)
<b>OVRALL L/W/H</b> 3225 mm/1580 mm/1239 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 403 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1850 mm/1429 mm/1425 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-Po
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 259 kg/98 kg/161 kg	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 7.8 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Shaft Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 R20 Hoosier/18.0/6.0-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> FCCTRAC
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch ENKEI	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard AP racing calipers (Rr) 2 outboard AP racing calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Full Aero Device, Unsprung Mount

## Kanagawa Institute of Technolgy

KAIT Racing

### ●メンバー

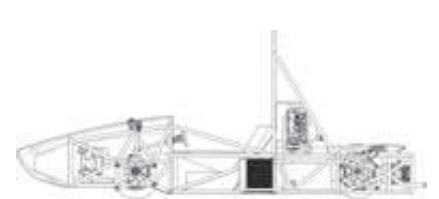
| CP | 菊岡佑真  
| FA | 山門誠, 狩野芳郎  
| MBR | 山崎純, 間島陽希, 小濱友樹, 石塚慶, 源平伊吹, 越田敢太, ペティアユルリックドルネルグ石井, 緒方蒼天, 白松洋樹, 中川綺資, 木村ルカス, 原凌瑛, 野島直哉, 近野龍希

### ●車の特徴とチームの抱負

「スラローム最速」というコンセプトのもと昨年度車両から車両レイアウトの変更やサスペンションジオメトリーの検討を行い運動性能の高い車両を目指しました。動的種目全種目完走を目標に大会に挑みます。

### ●スポンサー

DENSO, ヘンミ計算尺, 共創, 西山工機, 戸田レーシング, Sensata Japan, GAT, ZF, デュボン 帝人アドバンスドベーパー, Enable, FCC, 日立Astemo, Matex, PROTRAD, Bender, 深井製作所, プロテリアル, 協和工業, ミネベアミツミ, 東栄電化工業, リテルヒューズ, テセック, ワークスベル, 新星



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white	<b>MTOR TYPE</b> Three-phase AC synchronous
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 37 kW (50.3 ps)/6200 rpm
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX TORQUE</b> 60 Nm (6.1 kgf)/5200 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3040 mm/1370 mm/1220 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 448 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1650 mm/1200 mm/1200 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 230 kg/92 kg/138 kg	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 4.48 kWh/10Ah
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double wishbone A-arm Push rod (Rr) Double wishbone A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Gear Drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0/6.0-10 R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> F.C.C. LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch KAISER	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (Rr) 2 outboard
	<b>UNIQUE FEATURES</b> RR Layout


# チーム紹介

Team Information

E9

## NISSAN AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE KYOTO

Natck-F

Japan 



### メンバー

| CP | 喜多遥希  
| FA | 大村哲嗣  
| MBR | 磨谷和樹, 田中綺音, 江川翔太郎, 伊野僚佑, 山口拓馬, 新垣友穂, 沼田龍五, ファムダクトンニュ, 筒井将憲

### 車の特徴とチームの抱負

私たちはチーム史上初めての大会全種目突破を目標にメンバー全員で一丸となって頑張っています。車両は多くのパーツをキャリアオーバーしていますが弱点を解消し、確実に進化しています。

### スポンサー

日産自動車, ヒーロー電機, TONE, ソリッドワークス・ジャパン, HILL TOP, エムエスシーソフトウェア, 摂津金属工業所, オカダエンジニアリング, エフ・シー・シー, 住友電装, 三恵工業, 日本ドライケミカル, ニコル・レーシング, オーゼットジャパン, ティエムシー, ウエストレーシングカーズ, Math Woks Japan, アンシス・ジャパン, アンシス・ジャパン, プロトラッド, プロト, PROTEC, 浪速鉄工, ミスミグループ, アンフェノールジャパン, イング, 金子歯車工業, センサータ・テクノロジーズジャパン, 協和工業, 三菱マテリアル, 共創



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>MTOR TYPE</b> 3Phase AC Synchronous motor 1 motor onboard
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Steel Spaceframe	<b>MAX POWER</b> 80 kW (108 ps) /rpm
<b>MATERIAL</b> GFRP	<b>MAX TORQUE</b> 254 Nm (688 kgf) /0-3000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2825 mm/1562 mm/1178 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 398 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1828 mm/1356 mm/1300 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 352.5 kg/137 kg/215.5 kg	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 7.814 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Gear drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> Hoiser20.0×7.5-13R25B	<b>DIFFERTIAL</b> ShaftTorsen F.C.C LSD
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> OZ Racing 13inch 7J	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 4piston AP Racing Calipers (Rr) 2piston AP Racing Calipers
	<b>UNIQUE FEATURES</b>

E10

## Toyohashi University of Technology

TUT FORMULA

Japan 



### メンバー

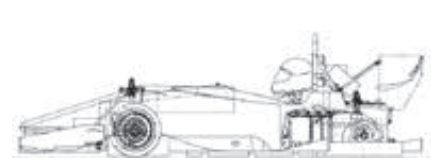
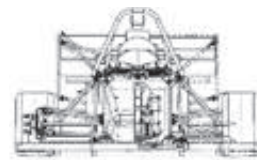
| CP | 板垣光晟  
| FA | 安井利明, 野田俊彦, 川島朋裕  
| MBR | 福本遼太郎, 佐藤修平, 安田吉輝, 山中理史, 平林嘉孝, 小関啓史, 市場武流, 利根川涼, 永井龍雲, 棚橋歩, 近藤圭悟, 篠崎遼太, 福谷和信, 秋本柊友, 松下宗暉, 山内亜弥佳, 上基春, 井指翔悟, 仲間崇雅, 宮坂南希, HOANGXUANHANG, 近藤寛尚, 刀谷吉徳, 前田隼希, 伊藤翼

### 車の特徴とチームの抱負

今年のTUT FORMULAのマシコンコンセプトは「低伸弾道」だ。  
低伸弾道とは銃器や火砲の弾道が直線に近い軌道を描く様子を表した言葉である。我々の軽量かつ低重心を是とする設計思想を表現するためのコンセプトとして設定した。  
大会のアクセラ、スキッドパッドにおいて1位を取るポテンシャルを持つ車輛を製作する。

### スポンサー

メイデー, 太平洋精工, アイセロ, 三菱ケミカル, 曙製作所, 高木木型, 玉津浦木型, 大同DMソリューション, 日本インシュレーション, サイマコーポレーション, ボブブリベット・ファスナー, OSG, 住友電装, ヒロセ電気, 和光ケミカル, トビー工業, ガレージタカハシ, ワークスベル, K2W Precision, SHORAI JAPAN, ティン, 昭和飛行機工業, Sensata Technologies, ソリッドワークスジャパン, Calspan, 武蔵精密工業, 三協ラジエータ, インサート, 小川製作所, オオタ精密, アナログ・デバイスズ, 日本圧着端子製造, Shenzhen Kypom Battery Technology, SBG Systems, Lotus Cars, Bender GmbH & Co. KG, 中 泉 溶 接, HONDA, ネクスト, SPORTS KART ISK 浜名湖店, IME, Car Media REVOLT-IS, デュボン帝人アドバンスドペーパー株式会社, 太陽ケーブルテック株式会社



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> Black	<b>MTOR TYPE</b> Permanent magnet synchronous
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> Composite Monocoque	<b>MAX POWER</b> 80 kW (ps) /8000 rpm
<b>MATERIAL</b> Carbon Fibre Reinforced Plastic, Aluminum Honeycomb	<b>MAX TORQUE</b> 100 Nm (kgf) /6500 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3206 mm/1588 mm/965 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 450 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1850 mm/1350 mm/1300 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 260 kg/117 kg/143 kg with 60 kg Driver	<b>COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY</b> 6.4 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double Unequal Length A-arm pull rod (Rr) Double Unequal Length A-arm pull rod	<b>DRIVE TYPE</b> gear drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16・10 inch R20 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> N/A
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 7-10 inch Keizer Aluminum Wheel	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) Floated Stainless Steel Rotor (Rr) Floated Stainless Steel Rotor
	<b>UNIQUE FEATURES</b>



## Aich Institute of Technology

AIT Student Formula Team

### ●メンバー

| CP | 小川敬寛  
| FA | 武田亘平, 西島義明, 太田英伸  
| MBR | 藤原匡力, NishijimaYoshiaki, OhtaHidenobu, 山賀隆矢, 今塚美佑, 小野田祐大, 石田匠, 石黒綾香, 福元達也, 山田尚幸



### ●車の特徴とチームの抱負

昨年度は車両が完成せず悔しい思いをしたが、今年度は車両を完成させ、動的種目全種目完走します。また、チームコンセプトである、“3K”（小型・軽量・高信頼）を徹底的に追求し、EV部門5位以内を目指します。

### ●スポンサー

デンソー, アイシン, EPエンジニアリング, 三五, ライフエッグ, 日本設計工業, 交邦磨棒鋼センター, トータルテクニカルソリューションズ, アルトナー, マイナビedge, 日本ガスケット, Modis, Jネットレンタカー, 石野サーキット, 富士精密, 太平洋精工, ウエストレーシングカーズ, NKN, 鍋屋バイテック, GRM Consulting, 岡島パイプ, Solidworks Japan, オーエスジー, ハイタップ, エフ・シー・シー, XAMジャパン, サード, ベトロプラン, 日立Astemo, 大阪バネ工業, アクティブ, 市光工業, クレイドル, THK, 協和工業, マテックス, ShoraiJapan, アネブル, Next, 江場酸素工業, エンバイヤ自動車, O.Z, ゴイク電池, 共創, 渡辺工業, アクセル, タマチ工業, 前田技研, ムーンクラフト, 住友電装, ネクスト, ナカダクラフト, 前嶋工業, ホワイテハウス, 矢崎, イグス, エイアイテック, TCL, アズテック, ティン, 東洋高周波, 梅野産業, 和泉商行



### Technical Specs

#### BODY COLOR

White

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

CFRP

#### OVRALL L/W/H

2809 mm/687 mm/1260 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1698 mm/1200 mm 1200/mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

250 kg/112.5 kg/137.5 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double Unequal Length A-Arm.Push Rod Actuated Spring/Dunper  
(Rr) Double Unequal Length A-Arm.Push Rod Actuated Spring/Dunper

#### TYRES (Fr/Rr)

20.5×7.0/13 Hoosier R25B

#### WHEELS (Fr/Rr)

13 inch OZ Racing Magunesium Wheel

#### MTOR TYPE

DENSO/Motor for Student Formula/Three-phase PMSM

#### MAX POWER

37 kW (ps) /rpm

#### MAX TORQUE

60 Nm (kgf) /rpm

#### MAX SYSTEM VOLTAGE

378 V

#### ERECTRODE MATERIALS

Li-ion

#### COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY

3.42 kWh

#### DRIVE TYPE

Chain Drive

#### DIFFERTIAL

Shaft Torsen F.C.C LSD

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard Nissin calipers  
(Rr) 2 outboard Nissin calipers

#### UNIQUE FEATURES

## Tohoku University

Tohoku University Formula Team

### ●メンバー

| CP | 築拓真  
| FA | 中村健二, 大野和則, 田中俊一郎, 小島匠太郎  
| MBR | 澤野翔矢, 小林祐大, 青柳快, 門間大翔, 遠竹駿大, 岩本大輝, 井上大智, 庭野修平, 奥平達裕, 高田さやか, 赤井大介, 小川功祐, 飯村碧仁, 福田宇彬, 東条理来

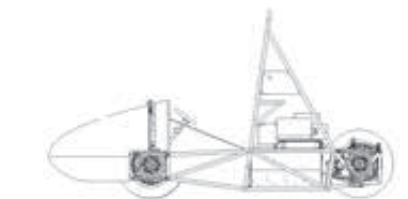


### ●車の特徴とチームの抱負

今年度は確実な動的審査への参加を目指して、走行実績のある21年度の車両を踏襲したマシン、TF20B改23と共に大会に臨みます。消滅しかけたチームが再始動をして前に進んでいる姿を見せます。

### ●スポンサー

中村研究室, 東北大学未来科学技術共同研究センター, マイクロシステム融合研究開発センター, 中瀬氏, MotoGarage WINDS, 本田技研工業, 宮城トヨタ自動車, トヨタレンタリース宮城, トヨタ自動車東日本, ダッソーシステムズ, ボーイング, プロテリアル, 村上商会, 東北特殊鋼, ミスミグループ本社, 深井製作所, 日立Astemo, プラスミュー, 日本精工, NTN, 矢崎総業, センサー・テクノロジー ジャパン, 住友電装, ホルモン焼肉★ガッツ! ちゃん上杉店, ウチダ, サトーパーツ, プロトラッド, マスワークス, オーゼットジャパン, アナログ・デバイス, 太平洋精工, 重松製作所, 理研オプテック, 日本製紙クレシア, ミドリ安全, オルファ



### Technical Specs

#### BODY COLOR

black, purple

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

Fiber-glass

#### OVRALL L/W/H

2722 mm/1460 mm/1430 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1650 mm/1320 mm/1320 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

358 kg/143 kg/214 kg

#### SUSPENSION

(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

#### TYRES (Fr/Rr)

7.0-13 Hoosier R25B

#### WHEELS (Fr/Rr)

13 inch OZ racing Alminum 20.5

#### MTOR TYPE

Permanent magnet synchronous

#### MAX POWER

54 kW

#### MAX TORQUE

146 Nm

#### MAX SYSTEM VOLTAGE

262.4 V

#### ERECTRODE MATERIALS

Li-ion

#### COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY

7.3 kWh

#### DRIVE TYPE

Planetary Gear

#### DIFFERTIAL

N/A

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard  
(Rr) 2 outboard Hitachi Astemo calipers

#### UNIQUE FEATURES

Twin Motor Unit/Torque vectoring system

# チーム紹介

Team Information

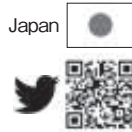
E13

## Institute of Technologists

MONORacing EV

### メンバー

| CP | 森田涼平  
| FA | 原薫,三井実  
| MBR | 小林蒼,鈴木郁宣,小林駿佑,小山晴風,白鳥正樹,山中優希,武井孝成,高橋輝流,塚本隼,井上佳祐,松本佳大,森本聖吾,横屋虹汰,目黒雄久,屋田拓海,遠藤博登,金子直生



### 車の特徴とチームの抱負

今年はEVコンバートから3年、車検通過を目標とし活動を行っている。競技車両は数少ないTwin Motorを搭載しており、バッテリー容量は、車検通過を優先するために、3kWhと容量を減らしアキュムコンテナを小型化している。

### スポンサー

本田技研工業,ソリッドワークス・ジャパン,ジュニアモーターパーククイック羽生,オートデスク Fusion360, 深井製作所,ウエストレーシングカーズ,サクラム,ステンレスアート共栄,江原酸素,ティエムシー,ミスミ,アネブル,鷲宮製作所,フォーラムエンジニアリング,プロトロード,バンダー,センサー・テクノロジー ジャパン,富士電機,FRPヤマモト,共創,矢崎総業,Analog Devices,MONORacingOB会,自動車技術会,ものづくり大学技能工芸学部情報メカトロニクス学科

NO DATA

NO DATA

### Technical Specs

BODY COLOR	Black	MTOR TYPE	Permanent Magnet Synchronous
FRAME CONSTRUCTION	steel spaceframe	MAX POWER	27 kW (37 ps)
MATERIAL	Fiber-glass	MAX TORQUE	73 Nm (7.4 kgf)
OVRALL L/W/H	2504 mm/1635 mm/1201 mm	MAX SYSTEM VOLTAGE	302.4 V
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1835 mm/1447 mm/1437 mm	ERECTRODE MATERIALS	Li-ion
WEIGHT (Fr/Rr)	330 kg/115 kg/215 kg	COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY	3.0 kWh
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Pull rod (Rr) Double unequal length A-arm Pull rod	DRIVE TYPE	Direct Drive
TYRES (Fr/Rr)	F 6.0/16.0-10 LCO Hoosier R 6.0/18.0-10 LCO Hoosier	DIFFERTIAL	N/A
WHEELS (Fr/Rr)	10 inch RS-WATANABE	BRAKE SYSTEM	(Fr) 2 outboard Wilwood calipers (Rr) 2 outboard Wilwood calipers
		UNIQUE FEATURES	Twin Motor Unit

E14

## Sophia University/ Aoyama Gakuin University

Eagle Racing

### メンバー

| CP | 小川結生  
| FA | 鈴木隆  
| MBR | 塚原嘉輝,府川大晟,安田脩人,近藤亮,加藤楓土,那須颯人,岡田維摩,松本恒信,有川慧,水口大暉,高木千吏,清瀧太一,合田理人,岡本順正,伊東和希



### 車の特徴とチームの抱負

国内唯一のアルミフルモノコックを採用。エンジン時代から継続している軽量かつ低重心のノウハウをEVでも生かしている。チーム史上初のEV動的審査進出を目指す。

### スポンサー

DENSO,ティン,レーザーマックス,ナルコ郡山,MATEX,共創,矢崎総業,積水化成工業,福田木型製作所,Schroth Racing,ANSYS,センサー・テクノロジー ジャパン,PCB Way,プロトロード,ミヤキ,旭スプリング,ミヤコ自動車,日本VI-grade,MISUMI,IDA,J,岩倉溶接工業所,エーシー・エム,ダウ化工,TeXtreme,CD-adapco,ボッシュ,興津螺旋,上智大学テクノセンター,SimScale,三協薬品,Persol,上智大学熱工学研究室,上智大学精密工学グループ,上智大学材料科学グループ,青山学院大学材料力学研究室



### Technical Specs

BODY COLOR	Black/Red	MTOR TYPE	Three-phase AC synchronous type
FRAME CONSTRUCTION	monocoque	MAX POWER	37 kW (ps)/6500 rpm
MATERIAL	aluminum	MAX TORQUE	60 Nm (kgf)/5200rpm
OVRALL L/W/H	2939.34 mm/1407.3 mm/1106.71 mm	MAX SYSTEM VOLTAGE	403.2 V
WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)	1700 mm/mm/mm	ERECTRODE MATERIALS	Li-ion
WEIGHT (Fr/Rr)	210 kg/50 kg/160 kg	COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY	4.032 kWh
SUSPENSION	(Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	DRIVE TYPE	Chain Drive
TYRES (Fr/Rr)	Hoosier	DIFFERTIAL	LSD
WHEELS (Fr/Rr)	10 inch OZ Racing	BRAKE SYSTEM	(Fr) (Rr)
		UNIQUE FEATURES	Aluminum Monocoque

## Tokyo University of Technology

Project EV

## ●メンバー

| CP | 石井和慶

| FA | 高木茂行

| MBR | 中村悠真, 大川人聖, 阿部凌大, 小林翔, 畠山裕也, 石川裕一, 山崎響暉, 高村漱大, 友部太一, 殿埜颯斗, 須田陽輝, 天野瑠人, 鬼塚拓也, 吉田蔵之介, 森田丈, 稲川佑亮, 白須翔, 小林敬大, 内田恭太郎, 山田遥翔

Japan



## ●車の特徴とチームの抱負

車の特徴として加速力重視を掲げています。昨年度完成できなかった車体を完成させ、今年こそは動的審査の出場を胸に頑張ります。

## ●スポンサー

アネブル, 共創, 双新電子, テセック, DENSO, ヒロセ電機, PLUSμ, Bender, 矢崎総業



## Technical Specs

**BODY COLOR**  
blue and White

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
Fiber-glass

**OVRALL L/W/H**  
2737 mm/1621 mm/1397 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1600 mm/1439 mm/1306 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
kg/kg/kg

**SUSPENSION**  
(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
20.5/7.0-13 R25B Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
13 inch Aero Race Wheels

**MTOR TYPE**  
3-phase AC synchronous motor

**MAX POWER**  
20 kW (27.1924ps)/3183 rpm

**MAX TORQUE**  
60 Nm/3183 rpm

**MAX SYSTEM VOLTAGE**  
400 V

**ERECTRODE MATERIALS**  
Li-ion

**COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY**  
4 kWh

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
LSD

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr)  
(Rr)

**UNIQUE FEATURES**

## Shizuoka Professional College Of Automobile Technology

SAT'S Formula Team

## ●メンバー

| CP | 岩間大輝

| FA | 三井久常, 渡邊広翼

| MBR | 小長谷陸斗, 齋藤優弥, 川崎黎嵐, 野中洸輔, 横山健太郎, 松下慧斗, 渡邊圭太, 植田雄也, 松井啓祐, 金子昂生, 武藤広弥, 鈴木佑斗

Japan

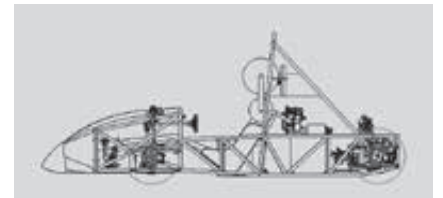
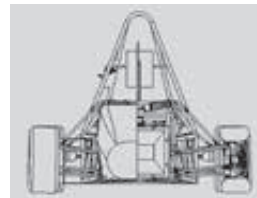


## ●車の特徴とチームの抱負

車両名「SReV23」のマシンコンセプトは“New Normal”（新常态）です。ICVで培った技術を生かし、2022年からEV車両開発をスタートしました。2023年の目標はEV車検合格です。

## ●スポンサー

デンソー, dSPACE, 共創, アナログ・デバイス, トヨタモビリティパーツ, 太平洋精工, ソリッドワークス・ジャパン, テーエムシー, ウェストレーシングカーズ, センサー・ジャパン, イケヤフォーミュラ, エンケイ, FCC, エステーリンク, 矢崎総業, サンキン, 大石鉄工所, 静岡工科大学自動車大学校後援会



## Technical Specs

**BODY COLOR**  
Gray

**FRAME CONSTRUCTION**  
steel spaceframe

**MATERIAL**  
Fiber-glass

**OVRALL L/W/H**  
3038 mm/1510 mm/1253 mm

**WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)**  
1890 mm/1340 mm/1252 mm

**WEIGHT (Fr/Rr)**  
280 kg/126 kg/154 kg

**SUSPENSION**  
RS-R  
(Fr) Double unequal length A-arm Push rod  
(Rr) Double unequal length A-arm Push rod

**TYRES (Fr/Rr)**  
18.0/6.0-10 LC-0 Hoosier

**WHEELS (Fr/Rr)**  
10 inch ENKEI

**MTOR TYPE**  
3 phase AC synchronous type/DENSO

**MAX POWER**  
37 kW

**MAX TORQUE**  
60 Nm

**MAX SYSTEM VOLTAGE**  
400 V

**ERECTRODE MATERIALS**  
Li-ion

**COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY**  
7.3 kWh

**DRIVE TYPE**  
Chain Drive

**DIFFERTIAL**  
FCC TRAC

**BRAKE SYSTEM**  
(Fr) 2 outboard Brembo calipers  
(Rr) 2 outboard Brembo calipers

**UNIQUE FEATURES**  
N/A



# チーム紹介

Team Information

E18

## National Institute of Technology, ICHINOSEKI College/ Iwate University

Students of Iwate Formula Team



### メンバー

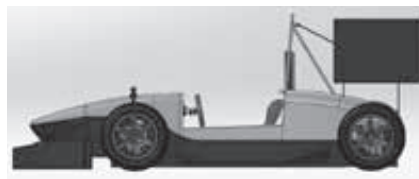
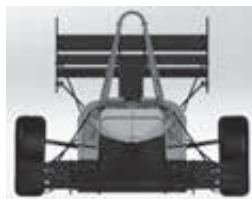
| CP | 小野寺優真  
| FA | 井上翔  
| MBR |

### 車の特徴とチームの抱負

「いつでも、どこでも」をコンセプトに、新たにペダル・シートの移動機構、エアロデバイスを導入した車両で2年ぶりに大会に参戦します。高専生主体で構成されたチームメンバーで若さを武器に戦います。

### スポンサー

本田技研工業,村上商会,イワフジ工業,ヒロセ電機,日本端子,プライムアースEVエナジー,ピーアンドエーテクノロジー,長島製作所,盛岡いすゞモーター,アイシン・ソフトウェア,ツガワ,日立Astemo,佐原,住友電装,深井製作所,新菱オート,柴田車輛,岩手製鉄,SHOEI,RAYS,日本ピストンリング,市光工業,ティエムシー,ミクニ盛岡営業所,ミスミグループ本社,いわて生活協同組合,住友電気工業,一関工業高等専門学校,岩手大学



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> White/Eerie Black	<b>MTOR TYPE</b> Permanent magnet synchronous motor
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 27 kW
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX TORQUE</b> 73 Nm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3165 mm/1547 mm/1236 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 273 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1850 mm/1350 mm/1350 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> kg/kg/kg	<b>COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY</b> 6.825 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> motor
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5×7.0-13 ROAD RACING Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> DIFFERTIAL
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13×6J 38 RAYS TE37	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) single-pressure, 2-pot caliper (Rr) single-pressure, 2-pot caliper
	<b>UNIQUE FEATURES</b> Pedal/seat movement mechanism

E19

## Yokohama National UniversityEV

Yokohama National Univ. Formula Project



### メンバー

| CP | 青山慶太郎  
| FA | 佐藤恭一  
| MBR | 小林誠一郎,坂本駿介,若林凜空,勝永恭平,津田充輝,鈴木瑛介,井上一輝,梶原俊希,唐島ひなた,村上友太,山本一矢

### 車の特徴とチームの抱負

EV部門参戦初年度であるYNFPの目標を車検通過とエンデュランス完走とした。3年後の総合優勝を見据えて、EVの理解と技術の習熟及びコロナ禍により後退した車両製作に関する知識・技術の再起の目的としている。

### スポンサー

浜野製作所,Astemo,協和工業,キノコニエンタープライズ,MOTUL(テクノイル・ジャポンK. K.),HASE空力実験室,日本ドライケミカル,ボッシュ,センサータ・テクノロジー ジャパン,矢崎総業,Bender,プロトラッド,図研,日本精機,オウルテック,プレス工業,フォルシアジャパン,小松製作所,横浜国立大学名教就美会,シンコー,トヨタ東京自動車大学校,コトラ,バーソルクロステクノロジー,丸山ラジエーター工作所,ジュニアモーターパーククイック羽生,GMB,本田技研工業,ソリッドワークス・ジャパン,ゼット・エフ・ジャパン,デンソー,日本発条,タシロ,タイヤフィッター 横浜都筑店,神奈川厚板,上代工業,神戸製鋼所,NTN,新星機工,アンシス・ジャパン,大成プラス,サンワトレーディング,横浜高周波工業,開明製作所,NSK,近藤製作所,イグス,富士精密,滑川軽鋼,ミスミグループ,ブクロスロード小山,深井製作所,東日製作所,共創,住友電装,ジイーエーディー,スクーテックジャパン,日産自動車,呉工業,マキタ,HKS,東洋電業



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> wine red	<b>MAX POWER</b> 27 kW ( ps ) / rpm
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX TORQUE</b> 73 Nm ( kgf ) / rpm
<b>MATERIAL</b> Fiber-glass	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 302 V
<b>OVRALL L/W/H</b> 2954 mm/1550 mm/1051 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1600 mm/1353 mm/1384 mm	<b>COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY</b> 76 kWh
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 267.3 kg/128.3 kg/139.0 kg	<b>DRIVE TYPE</b> direct shaft drive
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring and damper. Adjustable anti-roll bar. (Rr) Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring and damper. Adjustable anti-roll bar.	<b>DIFFERTIAL</b> no
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 20.5/7.0-13 Hoosier	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) Rotors : Floating, 187 mm dia, 4 mm thick, SUS304 / Master Cylinder : 15.9 mm bore front / Calipers : 31.75 mm dia, two opposing piston, fixed mtg / Brake Pad : Semi-Metallic model (Rr) Rotors : Floating, 187 mm dia, 4 mm thick, SUS304 / Master Cylinder : 15.9 mm bore front / Calipers : 31.75 mm dia, two opposing piston, fixed mtg / Brake Pad : Semi-Metallic model
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 13 inch OZRacing F1	<b>UNIQUE FEATURES</b> twin motor unit
<b>MTOR TYPE</b> three-phase AC synchronous motor	

## E20

### National Institute of Technology, Asahikawa CollegeEV

Asahikawa KOSEN Formula Team

Japan 



#### ●メンバー

| CP | 林諒亮  
| FA | 杉本剛,平智幸,堀川紀孝  
| MBR | 惣田和馬,福井光穂

#### ●車の特徴とチームの抱負

#### ●スポンサー

NO DATA

NO DATA

NO DATA

#### Technical Specs

NO DATA

## E21

### INSTITUT TEKNOLOGI SEPULUH NOPEMBEREV

ANARGYA ITS EV TEAM

Indonesia 



#### ●メンバー

| CP | RafifHerdianNoor  
| FA | AliefWikarta  
| MBR | LazuardiRaihan, ArielJonathan, RizalHaidarrazan, MuhammadRayhan Rafy, MuhammadZulfiHudaAl-haq, M. FarelPutraRiyanto, MuhammadFarrasNabi I Athaya, MuhammadNizaarMusyaffa, Moh. RafiBimaAdiSaputra, FebrianDwiSaputra, SitiAminatulMuawanah, SalsabillaMuntarillaJolie, DhaifanWiraLaksono, MedlynKarinManalu, AndreRheznandya, MichaelJPSiregar, MuhammadFajriAjipturaSantosa, RafiAhmadFadilah, Syifa'urRahmanHidayatPutra, ZahraOktaviana, MuhammmadFaridAsyiam, YuukaSato, SabrinaQolbuPradipta

#### ●車の特徴とチームの抱負

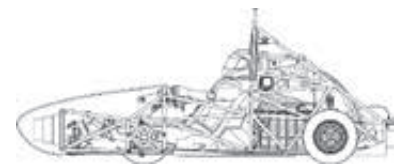
The second iteration of Indonesian students' engineering, the "Mark 2", is designed to be simple, reliable, and easy to manufacture.

We designed the car to have minimal drag, and also agile, quick, and durable for skidpad, acceleration, and endurance events.

We hope our efforts in the past 2 years come to fruition. As a 2nd-time EV class competitor from Indonesia, we hope to place top 10 in EV class.

#### ●スポンサー

Direktorat Kemahasiswaan ITS, IKOMA ITS, Rapid Harness, PT. Asian Bearindo Sejahtera, PT. Tridiku Teknokarya Indonesia, PT. Bukit Makmur Mandiri Utama, Indonesia Steel Tube Works (ISTW), Spectrum Printing, Erigo Store, Chemposite Store, PT Prima Layanan Niaga Suku Cadang (PLN SC), Bender GmbH & Co. KG, PCBWay, PT Semen Indonesia (Persero) Tbk (SIG), PT PLN Nusantara Power, Husky-CNOOC Madura Limited, PT Pertamina Drilling Services Indonesia, PT Krakatau Posco, PT PLN (Persero), PT Pembangunan Perumahan (Persero) Tbk, Mouser Electronics, Inc. PT Aplikanusa Lintasarta, PT Saka Energi Indonesia (PGN Saka), PT Igus. PT Wiksa Daya Pratama, PT BRAJA ELEKTRIK MOTOR, Ultima Desain Otomotif



#### Technical Specs

##### BODY COLOR

Black and Green

##### FRAME CONSTRUCTION

Steel Spaceframe

##### MATERIAL

Carbon Fiber

##### OVRALL L/W/H

3077 mm/1516 mm/1299 mm

##### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1560 mm/1300 mm/1260 mm

##### WEIGHT (Fr/Rr)

298.4 kg/130.2 kg/168.2 kg

##### SUSPENSION

(Fr) Unequal non-parallel A-Arms, Pullrod actuated, Coil springs and dampers  
(Rr) Unequal non-parallel A-Arms, Pushrod actuated, Coil springs and dampers

##### TYRES (Fr/Rr)

19.5×6.5-10, R25B, Hoosier

##### WHEELS (Fr/Rr)

10 inches, Forged, 1"inch offset

##### MTOR TYPE

BLDC

##### MAX POWER

30 kW (40.7 ps) /- rpm

##### MAX TORQUE

75 Nm (kgf) /- rpm

##### MAX SYSTEM VOLTAGE

259.2 V

##### ERECTRODE MATERIALS

LiFeP04

##### COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY

7.464 kWh

##### DRIVE TYPE

Chain Drive (428)

##### DIFFERTIAL

Mitsubishi Triton LSD

##### BRAKE SYSTEM

(Fr) AP Racing CP2623, Bore Ø 15.875 mm, Stroke 27.94 mm

(Rr) AP Racing CP2623, Bore Ø 15.875 mm, Stroke 27.94 mm

##### UNIQUE FEATURES

Telemetry System

# チーム紹介

Team Information

E22

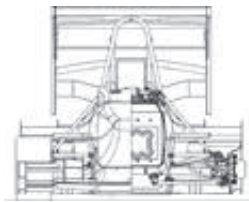
## Tongji University EV

DIAN Racing

### メンバー

| CP | SongJiasheng  
| FA | ZhangTong,ZhangZhiming,WangJingjin  
| MBR | WenCaiyan,LiYanxuan,ZhangYuyang,ZhangYiqi,LyuZejian,MinJing,TangJiawen,LuYixia,YuanMingzhe,XiaTian,ShenYingjie,HuangZihao,ZhaoYuanzheng,ZhangHaobo,ChenJunxiong,LiYufeng,ZhangYanzhao,ZhaoHongyu,LiuChangjie,WuHan,ShaoYulong,YuanYichao,XuZehan,LinZiquan,ZhuZiyuan,HeGuangzheng,LiuYucheng,LiuZijian,ZhouXinle,GuoJunchao,WangMengyuan,DuXinli,SunJianli,ZhuYichao

China



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white, black, red	<b>MTOR TYPE</b> DYNASYN synchronousservo motor
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> monocoque	<b>MAX POWER</b> 36 kW (48.3 ps)/16000 rpm
<b>MATERIAL</b> Carbon fiber	<b>MAX TORQUE</b> 21 Nm (2.14 kgf)/16000 rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 2918 mm/1416 mm/1192 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 596.4 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1530 mm/1200 mm/1200 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> LiCoO2
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 190 kg/91.2 kg/98.8 kg	<b>COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY</b> 6.62 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) Double unequal length A-arm Push rod (Rr) Double unequal length A-arm Push rod	<b>DRIVE TYPE</b> Hub planetary gearbox
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> 16.0×7.5-10 LC-0 Hoosier	<b>DIFFERTIAL</b> E-LS-D
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> 10 inch Sandeming carbon fiber rim	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 2 outboard (Rr) 2 outboard
	<b>UNIQUE FEATURES</b> monocoque, four-wheel drive, torque vectoring, roll-pitch decoupled suspension, metal 3D printing, Accumulator with bonded cell modules, Self-developed and sophisticatedly integrated PCBAs

### 車の特徴とチームの抱負

The four-wheel drive DRe23 racing car with high-performance aerodynamics and electronic control system, whose parts are made of advanced manufacturing processes such as carbon fiber and metal 3D printing. With the most enthusiastic and ambitious team members, DIAN Racing aims to showcase the cutting-edge technology and design.

### スポンサー

Porsche,Volkswagen,BLT,MAGELEC Propulsion LTD & Omni Gear,Schaeffler,LEMO,MEKO,MO USER ELECTRONICS,Evonik,Chroma,infineon,brose,AMS,Panduit,ContinentalAG,Bossard,TO PPF,MAGNA,AnalogDevices (ADI),HIOKI,Melasta,CUITHIMATE RACING,ROHM,ISABELLENH UTTE,MAXIEYE,DAISCH,Pro'sKit,Wells Advanced Materials,LIONSTEK,AJ,SATA,HRC,STMic roelectronics,Vector,Synology,3Dconnexion,VISHAY INTERTECHNOLOGY,AXALTA,kistler,SMT ,kvaser,enclustra,VI - grade,mentor,ZF,Dupont NOMEX Kevlar,tesa,huber suhner,WAGO,FUAN,DELO,ACE,Junyuan,ebmpapst,HAITAO,UVEX,Coleitec,mubea,UnionTech,Sensata Technologies,Alubi,QCD,LEADGO,IMK,ODU,SIOM,Ebusbar,EBYTE,NIO,Mathwork,C3,VICOR,SINOCHEM INTERNATIONAL,LEM,MORNSUN

E26

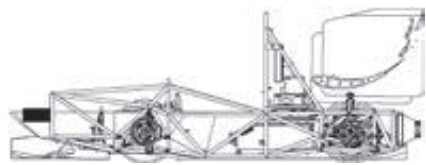
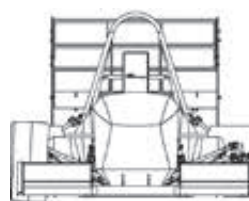
## National Cheng Kung University

NCKU Formula Racing

### メンバー

| CP | Chang,Chieh-Shun  
| FA | Chiu,Tz-Cheng  
| MBR | Wang,Tzu-Chi,Wei,Yu-Chun,Wu,Yu-Sen,Lai,Kuang-ting,Lu,Po-Yi,Lin,Yen-Ta,Li,Bo-Lin,Li,Shih-Yu,Chuang,Yi-Yun,Hsu,Su-Yun,Wang,Jui-Chen,Chien,Chih-Chia,Lin,SamuelSheng,Liu,Wei-Ting,Hwang,Hsin-Zoe,Hsu,Chih-Jung,Wu,Wei-Lun,Kao,Ting-Jung,Liu,Ai-Lin,Ho,Chun-Liang,Wu,Yu-Ting,Li,Min-Syuan,Lu,Shao-Jung,Wang,Yin-Hsi,Chi,Kuang-Chih,Chang,Darren,Loh,Wen-Kong,Juang,Ming-Han,Chiu,Ching-Wen,Lai,Yi-Ting,Hsieh,Fu-Lin,Wang,De-Kang

Taiwan



### Technical Specs

<b>BODY COLOR</b> white, red, black	<b>MTOR TYPE</b> EMRAX 208 High Voltage LC
<b>FRAME CONSTRUCTION</b> steel spaceframe	<b>MAX POWER</b> 80 kW (107 ps)/rpm
<b>MATERIAL</b> CFRP	<b>MAX TORQUE</b> 136 Nm (kgf)/rpm
<b>OVRALL L/W/H</b> 3028 mm/1480 mm/1190 mm	<b>MAX SYSTEM VOLTAGE</b> 432 V
<b>WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)</b> 1530 mm/1247.4 mm/1268.2 mm	<b>ERECTRODE MATERIALS</b> Li-ion
<b>WEIGHT (Fr/Rr)</b> 269 kg/129 kg/140 kg	<b>COMBINED ACCUMULATOR CAPACITY</b> 7.44 kWh
<b>SUSPENSION</b> (Fr) double wish bone with pull rod (Rr) double wish bone with push rod	<b>DRIVE TYPE</b> dual 428 chain drive
<b>TYRES (Fr/Rr)</b> Hoosier R25B 20.5×7.0 13"	<b>DIFFERTIAL</b> N/A
<b>WHEELS (Fr/Rr)</b> OZ Racing 13"	<b>BRAKE SYSTEM</b> (Fr) 220 diam. disc brake, Frando caliper (Rr) 200 diam. disc brake, Frando caliper
	<b>UNIQUE FEATURES</b> 2 motor drive system, each motor drive one rear wheel

### 車の特徴とチームの抱負

After 3 years without participating in oversea competition, this year we work very hard to make our car both competitive and reliable in the minimum design changes from last year's car. We're looking forward to examine our hard work, and we expect to finish all event successfully.

### スポンサー

Autodesk,嚴慶齡工業發展基金會,天河基金會,南寶樹脂,能元科技,Mouser,SKF,迎盛,Coroflex,3M,Loctite,萬在工業,弘達模型,明曜,銀河製版,工業發展研究技術院,Movella,igus,HRS,RS,Pro's Kit,邦飛凌科技,統成蜂巢,Frando,欣欣龍精密工業,達聯,Triple S,RK,KSS,3Dconnexion,大格化工,福懋興業,承茂,Chroma,台達電子,巨原,宏峰,RES,Schroth,NCY,兆水科技,東台精機,國立成功大學,國立體育大學,駿利新材料,KW,天鋼,萬得富



## National Taiwan University of Science and Technology EV

Taiwan Tech Racing

Taiwan



### メンバー

| CP | Yi-HongLiao

| FA | Ming-JyhChen

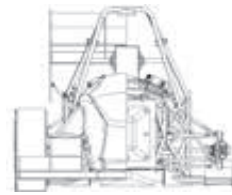
| MBR | ZongYuLai,CHO,HSIEN-CHE,YU-DONGCHEN,Ming-ChiehLiu,RinnTetsu-senn,CHUNHOCHEN,ChunI-Lu,ChihWeiPeng,YuHaoPan,SuYi-Hsiang,JIJH-HAO-WU,ChihPingChang,LinYih-Cherng,QianXiangZeng,YUWE Nwang,JIA-HONGKE,YuTseChou,ChenPoHua,linhongxin,YU-JINGCHUAN G,ChenYuJen,LinKaiChien,LO,SUNG-CHIEH

### 車の特徴とチームの抱負

This car is our prototype. We tested and verified many ideas on this car, such as the water-cooling accumulator and the aerodynamic system of the whole car. We are a start-up team and this is our first car. This is our LEPARD O1!

### スポンサー

Yulon Motor裕隆集團,SGT銳和國際,Frando車力屋,Trillion power奕兆綠能,Amita Technologies有量科技,Pitotech皮托科技,CADMEN虎門科技,CMC中華汽車,MSI微星科技,TECHWAY朝程工業,TOWARD拓緯實業,FORMOSA TAFFETA福懋興業,Galaxy Project銀河製版,CENS冠品電業,CINCON幸康電子,Chroma ATE致茂電子,Pro'sKit寶工興業,Taiway台惟工業,EPOLAB CHEMICAL大格化工,Chienhsiang建祥國際,RACINGBROS銳欣國際,FCC台灣富士離合器,Fuzhuan富專鋼鐵,RAEMCO彰茂企業,EVERMORE昶茂貿易,TaiwanHandTools台灣所立克,Altium Designer,ZIRCOTEC, TOP TIME, SolidWorks



### Technical Specs

#### BODY COLOR

red & black carbon

#### FRAME CONSTRUCTION

steel spaceframe

#### MATERIAL

CFRP

#### OVRALL L/W/H

3146.2 mm/1250 mm/1162.7 mm

#### WHEEL BASE/TRACK (Fr/Rr)

1650 mm/1250 mm/1250 mm

#### WEIGHT (Fr/Rr)

310 kg/151.9 kg/158.1 kg

#### SUSPENSION

Double-wishbone Push rod

(Fr) Double unequal length A-arm Pull rod

(Rr) Double unequal length A-arm Pull rod

#### TYRES (Fr/Rr)

Hoosier 43168/44150 20.0×7.0-13

#### WHEELS (Fr/Rr)

13 inch Student Compomotive Magnesium  
4 H Wheel

#### MTOR TYPE

PMSM (brushless) /EMRAX 228/single unit

#### MAX POWER

75 kW (ps) /5000 rpm

#### MAX TORQUE

134 Nm (kgf) /5000 rpm

#### MAX SYSTEM VOLTAGE

590 V

#### ERECTRODE MATERIALS

Li-po

#### COMBINED ACCUMLATOR CAPACITY

7.25 kWh

#### DRIVE TYPE

Chain Drive

#### DIFFERTIAL

LSD

#### BRAKE SYSTEM

(Fr) 2 outboard Frando calipers

(Rr) 2 outboard Frando calipers

#### UNIQUE FEATURES

Accumulator with water cooling system

## YouTube紹介



### 1 学生フォーミュラとは



<https://www.youtube.com/watch?v=10A53MRa71E>



### 2 静的審査とは



<https://www.youtube.com/watch?v=duAOeHTIqok>



# 大会スポンサー一覧

Sponsors

## ■ SSクラス

トヨタ自動車

## ■ Sクラス

日産自動車  
本田技研工業  
SUBARU  
スズキ  
マツダ  
三菱自動車工業  
プロテリアル  
NOK

## ■ Aクラス

コマツ  
ボッシュ  
タマディック  
日立Astemo  
MathWorks Japan  
アイシン  
アネブル  
いすゞ自動車  
エッチ・ケー・エス  
片山チエン  
カヤバ  
カワサキモータース  
古山精機  
鷺宮製作所  
ダイハツ工業  
デンソー  
東芝デバイス&ストレージ  
童夢  
トライボジャパン  
日産オートモーティブテクノロジー  
日本精工  
パナソニックオートモーティブシステムズ  
プライムプラネットエナジー&ソリューションズ  
ホンダテクノフォート  
ヤマハ発動機  
ローム

## ■ Bクラス

大和化成工業  
プレス工業  
図研  
ディクセル  
協和工業  
日野自動車  
プライムアースEVエナジー  
マーレジャパン  
AB Dynamics  
BBSジャパン  
CSA不動産  
dSPACE Japan  
ENEOS  
IPG Automotive  
TIP composite  
TOYO TIRE  
アディエント  
アドヴィックス  
アルテアエンジニアリング  
安全自動車  
イグス  
市光工業  
エイチワン  
エクセディ  
榎本機工  
エンケイ  
オイルス工業  
オートテックジャパン  
オートリブ  
小野測器  
キグナス石油

共和電業  
小糸製作所  
神戸製鋼所  
サトーパーツ  
三五  
山王テック  
ジヤトコ  
ジヤトコエンジニアリング  
スチロ化学工業  
住友電装  
積水化成成品工業  
ソニーセミコンダクタソリューションズ  
タダノ  
テイ・エス テック  
ティエムシー  
東亜  
東京アールアンドデーグループ  
東レ・カーボンマジック  
トヨタ自動車東日本  
トヨタ車体  
トヨタ紡織  
日産車体  
ニフコ  
日本自動車研究所  
日本自動車部品工業会  
ニッパツ  
バンザイ  
ベルソニカ  
ボルグワーナー・モルルスシステムズ・ジャパン  
マツダE&T  
ミクニ  
三ツ星ベルト  
矢崎総業  
矢島工業  
ヤナセ  
ヨロズ

## ■ Cクラス

豊田自動織機  
NSKワーナー  
ブリッド  
APL Automotive Japan  
CDS  
DMG森精機  
GSユアサ  
TPR  
アイキテック  
愛三工業  
愛知機械工業  
アンシス・ジャパン  
いすゞ中央研究所  
イワフジ工業  
ウメトク  
岡谷鋼機  
オリジン  
カナデン  
川崎工業  
木村鋳造所  
クボタ  
国営アルミ製作所  
サムテック  
サンスター技研  
芝浦機械  
榛葉鉄工所  
住友ゴム工業  
タイコ エレクトロニクス ジャパン  
ディープステージ  
テセック  
デンソーテックノ  
東海理化  
トータルテクニカルソリューションズ  
徳力本店  
豊田合成  
トヨタモビリティパーツ 静岡支社

日軽金アクト  
日清紡ブレーキ  
ニッパツ機工  
日本トムソン  
日本グラスファイバー工業  
日本ミシュランタイヤ  
日野ヒューテック  
深井製作所  
ブリヂストン  
ヘンミ計算尺  
堀場製作所  
松井製作所  
松井製作所ウラワ産業事業部  
マテックス  
ムーンクラフト  
モビテック  
ヤシカ車体  
ヤマハモーターエンジニアリング  
ヤマハモーターハイドロリックシステム  
ヤンマーホールディングス  
ユタカ技研  
レアーズ

## ■ Dクラス

ASTI  
SGLカーボンジャパン  
SOKEN  
STAR CRAFT  
WADAWELDING  
アイシン高丘  
いすゞエンジニアリング  
エヌアイシ・オートテック  
大野ゴム工業  
岐阜車体工業  
国本工業  
サンキン  
シーシーアイ  
新日本ホール工業  
スカイ  
鈴与グループ  
セキソー  
センサータ・テクノロジーズジャパン  
大同メタル工業  
大豊工業  
ダイワ・エム・ティ  
高砂製作所  
ダッド  
槌屋  
東日製作所  
常磐  
トリニティ工業  
西川ゴム工業  
ニチリン  
日本精機  
日本特殊陶業  
浜松日産自動車  
袋井商工会議所  
兵神装備  
マツモトセイコー  
三菱自動車エンジニアリング  
ミヤコ自動車工業  
横浜ゴム

## ■ Eクラス

法多山物だんご企業組合

## ■ 協力

大塚製薬  
小野測器  
静岡県小笠山総合運動公園  
中東遠総合医療センター  
日本大学理工学部  
プロトラッド  
落雷抑制システムズ

(2023年7月現在)



# 小笠山総合運動公園 Ogasayama Sports Park



- ① 一般来場用の駐車場はP4駐車場です。その他の駐車場はチームやスタッフなど関係者用に使用します。
- ② P4～P8～P10間にシャトルバスを運行します。  
(ピットオープンからピットクローズの間に約15分間隔で運行予定)
- ③ 最終日9月2日(土)7:30～18:30に愛野駅からエコパP10駐車場までのシャトルバスを運行します。

Dynamic Area  
Dバスが必要なエリア



**観覧禁止エリア**  
 ※ P0横スタート地点付近で観覧する場合の←部分の通行は許可するが、立ち止まってるの観覧はNG